

令和6年度太宰府まちづくり市民意識調査  
報 告 書

太 宰 府 市



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象者数	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) 回収状況	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
<b>第2章 調査結果の分析</b>	<b>7</b>
<b>第1節 回答者の属性</b>	<b>7</b>
1. 性別（問1）	7
2. 年齢（問2）	8
3. 世帯構成（問3）	9
4. 職業（問4）	10
5. 小学校区（問5）	11
6. 居住年数（問6）	12
7. 転入、居住を決めた理由（問7）	13
<b>第2節 住みやすさについて</b>	<b>15</b>
1. 本市の住みやすさ（問8）	15
2. 住みやすい理由（問9）	16
3. 住みにくい理由（問10）	18
4. 継続居住意向（問11）	20
<b>第3節 本市の行政運営について</b>	<b>21</b>
1. 市政への関心度（問12）	21
2. 市政への信頼度（問13）	22
3. 効果的な行政運営に対する評価（問14）	23
4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度（問15）	24
5. まちづくりビジョンの認知度（問16）	25
6. 本市が行っている施策について	26
(1) 施策の重要度（31施策）（問17）	26
(2) 施策の満足度（31施策）（問17）	31
(3) 重要度と満足度の相関関係	36
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	37
(5) 令和5年度の重要度と満足度の相関関係との比較	38
7. 太宰府市自治基本条例の認知度（問18）	40

<b>第4節 日頃の暮らし、行動について</b>	<b>41</b>
1. 子育てのしやすさ (問 19)	41
2. 生きがいの実感 (問 20)	42
3. 高齢者福祉サービスの充実度 (問 21)	43
4. 障がい福祉サービスの充実度 (問 22)	44
5. 公共施設の弱者への配慮 (問 23)	45
6. 民間施設の弱者への配慮 (問 24)	46
7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況 (問 25)	47
8. 地域福祉の推進状況 (問 26)	48
9. 健康状態 (問 27)	49
10. 健康増進の取り組み状況 (問 28)	50
11. 健康診査の受診状況 (問 29)	51
12. 災害に対する日頃の備え (問 30)	52
13. 防犯面の安心度 (問 31)	54
14. 人権侵害の経験の有無 (問 32)	55
15. 人権侵害の経験の内容 (問 33)	56
16. 市内での人権の尊重 (問 34)	58
17. 固定的な役割分担に対する考え方 (問 35)	59
18. DVを受けた経験がある場合の相談経験 (問 36)	60
19. 生涯学習活動の取り組み状況 (問 37)	61
20. 運動・スポーツの取り組み頻度 (問 38)	62
21. 文化芸術活動の取り組み状況 (問 39)	63
22. 地域の環境マナーの順守状況 (問 40)	64
23. 地域の美化運動への参加状況 (問 41)	65
24. 市内の自然の豊かさ (問 42)	66
25. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所 (問 43)	67
26. 生ごみ堆肥化の取り組み状況 (問 44)	68
27. 省エネルギー・省資源の活動状況 (問 45)	69
28. 環境に関する学習会等の参加状況 (問 46)	70
29. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価 (問 47)	71
30. 居住地区のまちなみに対する評価 (問 48)	72
31. 住環境の快適さに対する評価 (問 49)	73
32. 商業施設等の利便性に対する評価 (問 50)	74
33. インターネットサービスの利便性に対する評価 (問 51)	75
34. 市内のバスの利便性に対する評価 (問 52)	76
35. コミュニティバスの利用頻度 (問 53)	77
36. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価 (問 54)	78
37. 市内の鉄道の利便性に対する評価 (問 55)	79
38. 市内の道路の円滑性に対する評価 (問 56)	80

39. 外出時の移動手段（問 57）	81
40. 日頃の買い物場所（問 58）	82
41. 歴史・文化遺産に対する評価（問 59）	83
42. 本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度（問 60）	84
43. 観光客の来訪に対する評価（問 61）	85
44. 本市の観光に必要なこと（問 62）	86
45. 姉妹都市、友好都市締結の認知度（問 63）	88
46. 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況（問 64）	90
47. ボランティア活動への参加状況（問 65）	91
48. 市民と行政との情報共有（問 66）	92
49. 本市が発信している情報を得ている媒体（問 67）	93
50. 行政情報の接触状況（問 68）	94
51. 市議会が発信している情報を得ている媒体（問 69）	96
52. 市議会情報の接触状況（問 70）	97

附属資料＜使用した調査票＞ \_\_\_\_\_ 101



# 第1章 調査の概要



# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

市民の声を市政に活かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

## 2. 調査の性格

### (1) 調査地域

太宰府市全域

### (2) 調査対象

太宰府市内に居住する18歳以上の市民

### (3) 調査対象者数

2,000人

### (4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出法

### (5) 調査方法

郵送による発送  
郵送及びWebによる回答  
(お礼兼督促状1回郵送)

### (6) 調査期間

配布：令和7年2月10日(月)  
投函締切：令和7年2月24日(月)  
(ただし、3月4日(火)到着分まで有効とした)

### (7) 回収状況

有効回収数：1,093件(回収率54.7%)

## 3. 調査項目

回答者の属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	世帯構成	
	問4	職業	
	問5	小学校区	
	問6	居住年数	
	問7	本市に転入、居住を決めた理由	
住みやすさについて	問8	本市の住みやすさ	
	問9	住みやすい理由	
	問10	住みにくい理由	
	問11	継続居住意向	
本市の行政運営について	問12	市政への関心度	
	問13	市政への信頼度	
	問14	効果的な行政運営に対する評価	
	問15	市職員の対応・姿勢に対する満足度	
	問16	まちづくりビジョンの認知度	
	問17A	施策の重要度（31施策）	
	問17B	施策の満足度（31施策）	
	問18	太宰府市自治基本条例の認知度	
日頃の暮らし、行動について	問19	子育てのしやすさ	
	問20	生きがいの実感	
	問21	高齢者福祉サービスの充実度	
	問22	障がい福祉サービスの充実度	
	問23	公共施設の弱者への配慮	
	問24	民間施設の弱者への配慮	
	問25	交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況	
	問26	地域福祉の推進状況	
	問27	健康状態	
	問28	健康増進の取り組み状況	
	問29	健康診査の受診状況	
	問30	災害に対する日頃の備え	
	問31	防犯面の安心度	
	問32	人権侵害の経験の有無	
	問33	人権侵害の経験の内容	
	問34	市内での人権の尊重	
	問35	固定的な役割分担に対する考え方	
	問36	DVを受けた経験がある場合の相談経験	
	問37	生涯学習活動の取り組み状況	
	問38	運動・スポーツの取り組み頻度	
	問39	文化芸術活動の取り組み状況	
	問40	地域の環境マナーの順守状況	
	問41	地域の美化活動への参加状況	
	問42	市内の自然の豊かさ	
	問43	野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所	
	問44	生ごみ堆肥化の取り組み状況	
	問45	省エネルギー・省資源の活動状況	
	問46	環境に関する学習会等の参加状況	
	問47	市内の歴史的景観の美しさに対する評価	
	問48	居住地区のまちなみに対する評価	
	問49	住環境の快適さに対する評価	
	問50	商業施設等の利便性に対する評価	
	問51	インターネットサービスの利便性に対する評価	
	問52	市内のバスの利便性に対する評価	
	問53	コミュニティバスの利用頻度	
	問54	コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価	
	問55	市内の鉄道の利便性に対する評価	
	問56	市内の道路の円滑性に対する評価	
	問57	外出時の移動手段	
	問58	日頃の買い物場所	
	問59	歴史・文化遺産に対する評価	
	問60	本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度	
	問61	観光客の来訪に対する評価	
	問62	本市の観光に必要なこと	
	問63	姉妹都市、友好都市締結の認知度	
	問64	自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況	
	問65	ボランティア活動への参加状況	
	問66	市民と行政との情報共有	
	問67	本市が発信している情報を得ている媒体	
	問68A	「広報だざいふ」の閲読状況	
	問68B	「太宰府市ホームページ」の閲覧状況	
	問69	市議会が発信している情報を得ている媒体	
	問70A	「太宰府市議会だより」の閲読状況	
	問70B	「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況	
	自由意見		

#### 4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。  
N=標本全数  
n=該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中ではR2年度調査、R3年度調査、R4年度調査、R5年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。
- (7) 表中「20歳代」は、18歳・19歳を含む。



## 第2章 調査結果の分析



## 第2章 調査結果の分析

### 第1節 回答者の属性

#### 1. 性別(問1)

- 回答者の性別は「男性」が42.5%、「女性」が55.2%となっている。

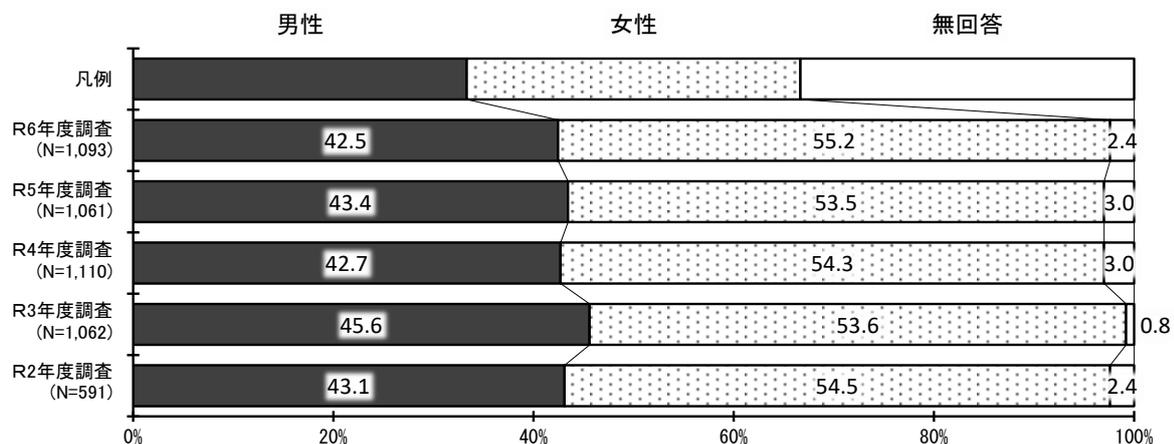
回答者の性別は、「男性」が42.5%、「女性」が55.2%で、女性の方が12.7ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「女性」の方が高い傾向が続いており、5か年の調査で女性の割合が最も高くなっている。

年代別にみると、すべての年齢層で「女性」の方が「男性」より高く、70歳代以上を除いた年代では5割を超えており、20歳代「女性」は7割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区以外で「女性」の割合が高く、太宰府西小学校区では男女がほぼ同率となっている。

#### 問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。(〇は1つ)



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		1,093	42.5	55.2	2.4
年代別	20歳代	74	29.7	70.3	-
	30歳代	126	40.5	59.5	-
	40歳代	187	43.3	54.5	2.1
	50歳代	228	45.2	52.2	2.6
	60歳代	193	39.4	59.6	1.0
	70歳代以上	282	46.5	48.9	4.6
	無回答	3	-	66.7	33.3
	小学校区別	太宰府小学校区	152	34.2	63.2
太宰府東小学校区		123	37.4	61.0	1.6
太宰府南小学校区		92	40.2	54.3	5.4
水城小学校区		187	48.1	51.9	-
水城西小学校区		137	40.1	56.9	2.9
太宰府西小学校区		165	47.9	47.3	4.8
国分小学校区		152	40.8	59.2	-
わからない		77	51.9	46.8	1.3
無回答		8	37.5	37.5	25.0

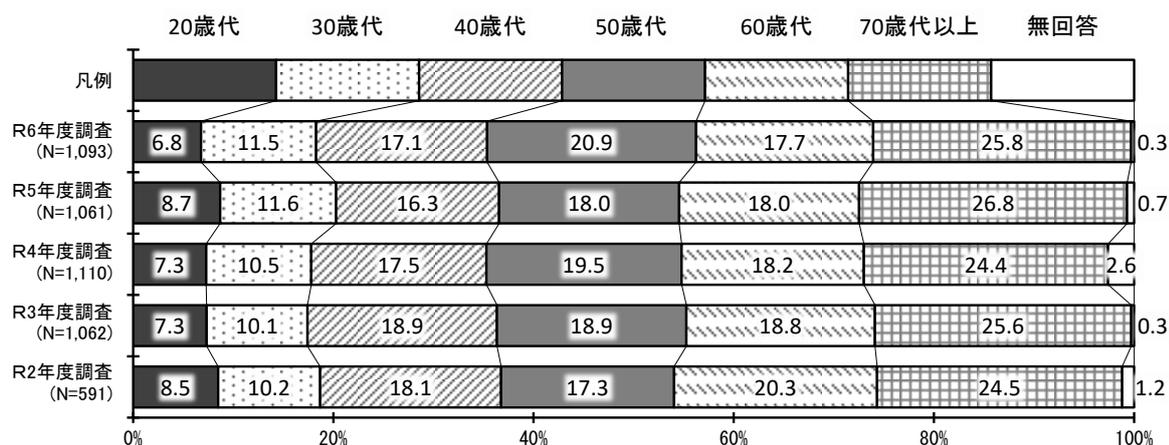
## 2. 年齢(問2)

- 回答者の年齢は70歳代以上が最も多くなっている。

回答者の年齢は、「70歳代以上」(25.8%)が最も高く、次いで「50歳代」(20.9%)と「60歳代」(17.7%)の順となっている。

小学校区別にみると、「40歳代」以上の割合が高くなっており、「40歳代」が太宰府南小学校区(30.4%)、「50歳代」が水城小学校区(21.9%)と水城西小学校区(25.5%)、「60歳代」が太宰府小学校区(28.9%)、「70歳代以上」が太宰府東小学校区(37.4%)と太宰府西小学校区(31.5%)と国分小学校区(25.0%)、とそれぞれで高くなっている。

### 問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(〇は1つ)



		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		1,093	74	126	187	228	193	282	3
		100.0	6.8	11.5	17.1	20.9	17.7	25.8	0.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	5.9	7.2	11.8	20.4	28.9	25.0	0.7
	太宰府東小学校区	123	8.1	7.3	16.3	16.3	14.6	37.4	-
	太宰府南小学校区	92	7.6	12.0	30.4	16.3	7.6	26.1	-
	水城小学校区	187	4.3	17.1	21.4	21.9	14.4	20.9	-
	水城西小学校区	137	10.2	12.4	16.1	25.5	16.8	19.0	-
	太宰府西小学校区	165	6.1	11.5	18.8	18.2	13.9	31.5	-
	国分小学校区	152	7.2	8.6	11.2	23.0	24.3	25.0	0.7
	わからない	77	6.5	18.2	14.3	27.3	15.6	18.2	-
無回答	8	-	-	-	-	25.0	62.5	12.5	

### 3. 世帯構成(問3)

- 「2世代世帯（親と子）」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、50歳代以下では「2世代世帯（親と子）」の割合が高い。

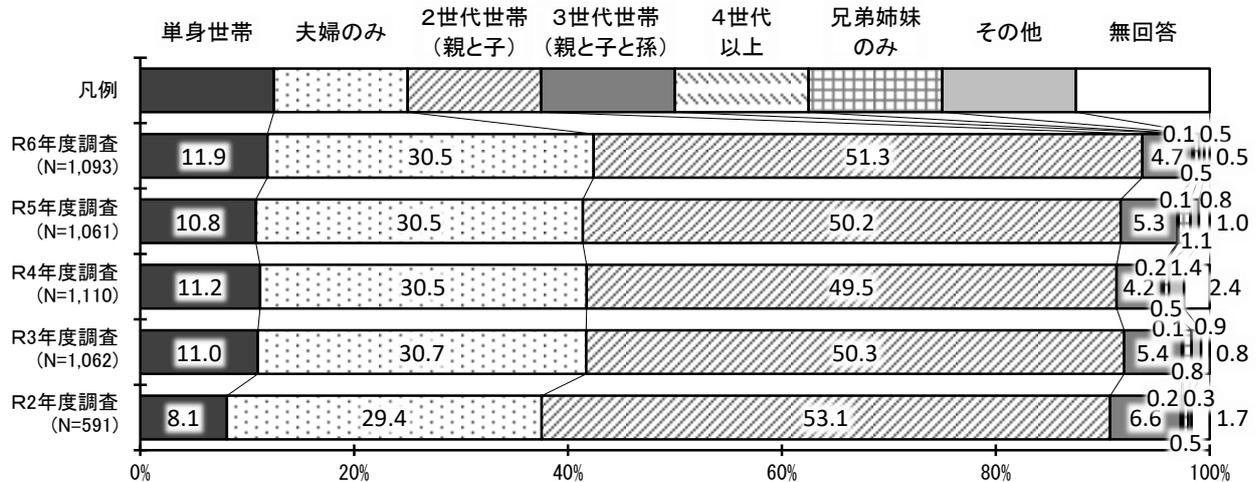
回答者の世帯構成は、「2世代世帯（親と子）」（51.3%）が最も高く、次いで「夫婦のみ」（30.5%）、「単身世帯」（11.9%）の順となっている。

性別にみると、男女とも「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

年代別にみると、50歳代以下では、「2世代世帯（親と子）」が最も高く、60歳代以上では「夫婦のみ」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

#### 問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。（○は1つ）



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	2世代世帯(親と子)	3世代世帯(親と子と孫)	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		1,093	130	333	561	51	1	5	6	6
性別	男性	464	9.9	33.4	51.1	3.0	0.2	0.6	0.9	0.9
	女性	603	12.9	28.2	52.1	6.0	-	0.3	0.3	0.2
	無回答	26	23.1	30.8	38.5	3.8	-	-	-	3.8
年代別	20歳代	74	5.4	4.1	77.0	10.8	1.4	-	-	1.4
	30歳代	126	7.9	7.9	78.6	4.8	-	0.8	-	-
	40歳代	187	6.4	11.8	77.5	3.7	-	-	0.5	-
	50歳代	228	12.3	29.8	53.1	3.9	-	0.4	0.4	-
	60歳代	193	14.5	44.6	34.2	4.7	-	0.5	0.5	1.0
	70歳代以上	282	17.0	50.7	25.5	4.3	-	0.7	1.1	0.7
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	16.4	33.6	42.1	4.6	-	2.0	1.3	-
	太宰府東小学校区	123	6.5	35.0	51.2	6.5	0.8	-	-	-
	太宰府南小学校区	92	9.8	22.8	62.0	5.4	-	-	-	-
	水城小学校区	187	10.7	25.7	55.6	5.3	-	-	1.1	1.6
	水城西小学校区	137	6.6	27.0	62.0	3.6	-	-	-	0.7
	太宰府西小学校区	165	7.9	30.9	56.4	3.6	-	0.6	-	0.6
	国分小学校区	152	10.5	30.9	52.0	5.3	-	-	1.3	-
	わからない	77	37.7	41.6	16.9	2.6	-	1.3	-	-
	無回答	8	12.5	37.5	37.5	-	-	-	-	12.5

### 4. 職業(問4)

● 職業は「会社員」(30.7%)が最も高く、次いで「無職」(20.4%)、「パート・アルバイトなど」(19.5%)が主である。

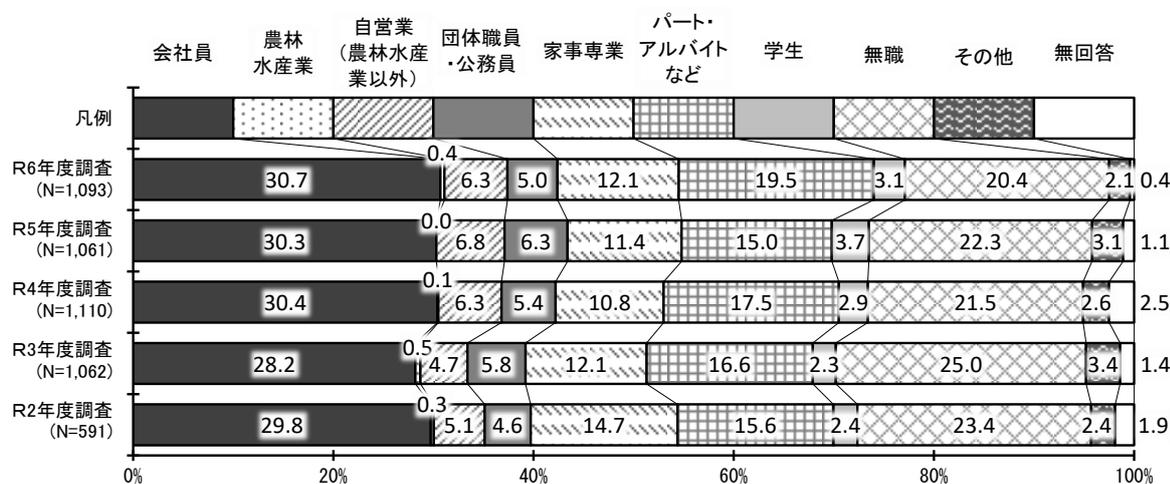
回答者の職業は、「会社員」(30.7%)が最も高く、次いで「無職」(20.4%)、「パート・アルバイトなど」(19.5%)、の順となっている。

過去の調査結果と比べると、5か年の調査で「会社員」と「無職」の割合が高い傾向は変わらない。

性別にみると、男性は「会社員」(45.3%)が最も高くなっている。一方、女性は「パート・アルバイトなど」(29.0%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区以外では「会社員」の割合が高く、太宰府小学校区では「パート・アルバイトなど」(23.7%)が高くなっている。また、太宰府東小学校区では「無職」(23.6%)の割合が「会社員」と同率となっている。

#### 問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(〇は1つ)



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		1,093	336	4	69	55	132	213	34	223	23	4
		100.0	30.7	0.4	6.3	5.0	12.1	19.5	3.1	20.4	2.1	0.4
性別	男性	464	45.3	0.6	8.6	7.1	0.9	6.9	2.6	25.6	2.2	0.2
	女性	603	20.2	0.2	4.5	3.6	20.4	29.0	3.6	16.4	1.7	0.3
	無回答	26	15.4	-	7.7	-	19.2	23.1	-	19.2	11.5	3.8
性別・年代別	男性:20歳代	22	22.7	-	4.5	9.1	-	4.5	54.5	4.5	-	-
	男性:30歳代	51	66.7	-	2.0	21.6	-	2.0	-	5.9	2.0	-
	男性:40歳代	81	71.6	-	8.6	11.1	-	4.9	-	2.5	1.2	-
	男性:50歳代	103	68.0	1.0	11.7	7.8	1.0	3.9	-	4.9	1.9	-
	男性:60歳代	76	40.8	-	7.9	1.3	1.3	14.5	-	31.6	2.6	-
	男性:70歳代以上	131	9.2	1.5	9.9	1.5	1.5	8.4	-	64.1	3.1	0.8
	女性:20歳代	52	38.5	-	-	5.8	3.8	5.8	42.3	3.8	-	-
	女性:30歳代	75	44.0	-	6.7	5.3	13.3	26.7	-	4.0	-	-
	女性:40歳代	102	24.5	-	2.9	8.8	15.7	38.2	-	6.9	2.9	-
	女性:50歳代	119	24.4	-	6.7	3.4	8.4	47.1	-	7.6	1.7	0.8
女性:60歳代	115	7.0	-	4.3	1.7	25.2	36.5	-	21.7	2.6	0.9	
女性:70歳代以上	138	5.1	0.7	4.3	-	40.6	10.9	-	37.0	1.4	-	
無回答	28	14.3	-	7.1	-	17.9	21.4	-	25.0	10.7	3.6	
小学校区別	太宰府小学校区	152	21.1	-	9.9	3.9	14.5	23.7	3.3	23.0	0.7	-
	太宰府東小学校区	123	23.6	-	8.1	5.7	16.3	13.8	4.9	23.6	4.1	-
	太宰府南小学校区	92	30.4	-	7.6	7.6	13.0	21.7	1.1	17.4	1.1	-
	水城小学校区	187	42.8	0.5	4.3	8.0	4.8	19.3	1.6	16.6	1.6	0.5
	水城西小学校区	137	31.4	-	3.6	4.4	13.9	23.4	4.4	16.8	2.2	-
	太宰府西小学校区	165	26.7	1.2	4.2	5.5	13.9	16.4	4.2	23.6	3.0	1.2
	国分小学校区	152	30.3	0.7	7.2	2.0	13.2	16.4	3.9	23.7	2.6	-
	わからない	77	44.2	-	6.5	2.6	6.5	24.7	-	14.3	1.3	-
	無回答	8	-	-	12.5	-	25.0	12.5	-	37.5	-	12.5

### 5. 小学校区(問5)

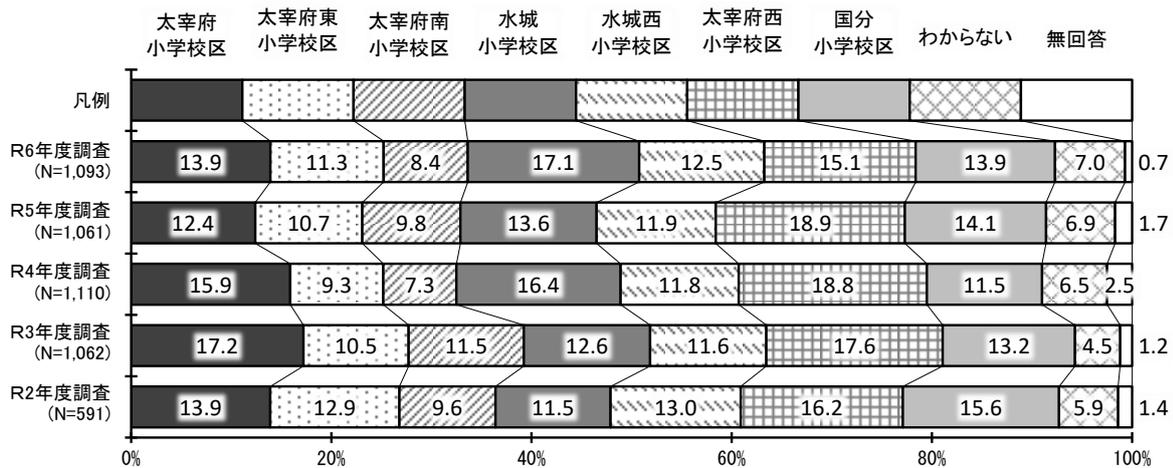
● 住んでいる小学校区は「水城小学校区」(17.1%)と「太宰府西小学校区」(15.1%)が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「水城小学校区」(17.1%)が最も高く、次いで「太宰府西小学校区」(15.1%)、「太宰府小学校区」「国分小学校区」(同率の13.9%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「水城小学校区」が最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代は「水城西小学校区」、30歳代から50歳代では「水城小学校区」、60歳代では「太宰府小学校区」、70歳代以上では「太宰府西小学校区」が最も高くなっている。

#### 問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。(○は1つ)



		標本数	小太宰府区	小太宰府東区	小太宰府南区	小水城校区	小水城西校区	小太宰府西区	小国分校区	わからない	無回答
全体		1,093	152	123	92	187	137	165	152	77	8
		100.0	13.9	11.3	8.4	17.1	12.5	15.1	13.9	7.0	0.7
性別	男性	464	11.2	9.9	8.0	19.4	11.9	17.0	13.4	8.6	0.6
	女性	603	15.9	12.4	8.3	16.1	12.9	12.9	14.9	6.0	0.5
	無回答	26	15.4	7.7	19.2	-	15.4	30.8	-	3.8	7.7
年代別	20歳代	74	12.2	13.5	9.5	10.8	18.9	13.5	14.9	6.8	-
	30歳代	126	8.7	7.1	8.7	25.4	13.5	15.1	10.3	11.1	-
	40歳代	187	9.6	10.7	15.0	21.4	11.8	16.6	9.1	5.9	-
	50歳代	228	13.6	8.8	6.6	18.0	15.4	13.2	15.4	9.2	-
	60歳代	193	22.8	9.3	3.6	14.0	11.9	11.9	19.2	6.2	1.0
	70歳代以上	282	13.5	16.3	8.5	13.8	9.2	18.4	13.5	5.0	1.8
無回答	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	

## 6. 居住年数(問6)

● 居住年数が「25年以上」が4割を超えている。

回答者の居住年数は「25年以上」(43.5%)が最も高く4割を超えている。

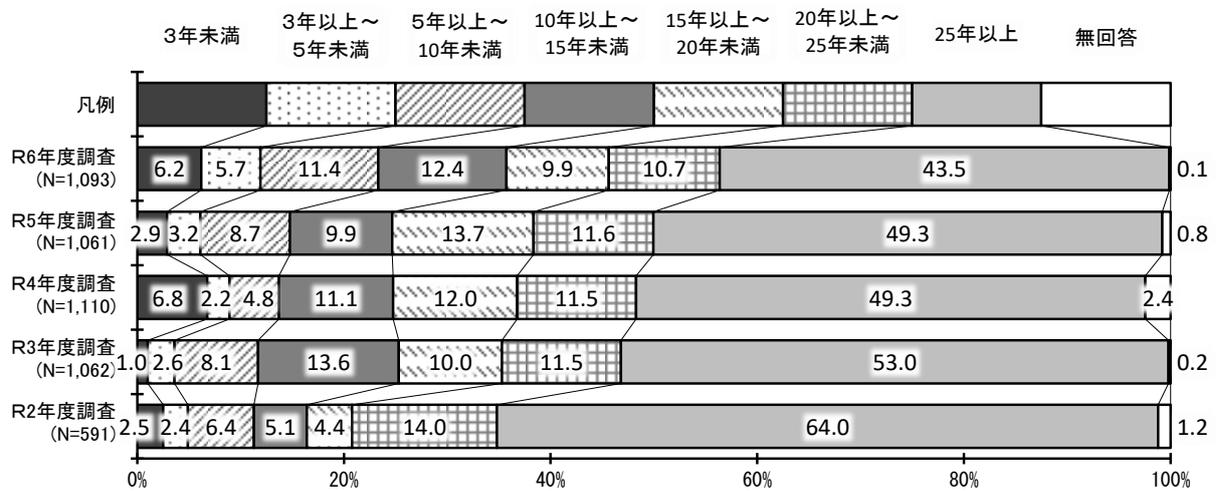
過去の調査結果と比べると、「25年以上」が令和5年度調査より5.8ポイント減少している。一方、『15年未満』(「3年未満」と「3年以上～5年未満」と「5年以上10年未満」と「10年以上15年未満」の合計)が35.7%となり令和5年度調査の24.7%より11.0ポイント増加している。

性別にみると、男女とも「25年以上」が最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「15年以上～20年未満」と「20年以上～25年未満」、30歳代では「5年以上～10年未満」、40歳代では「10年以上～15年未満」と「25年以上」、50歳代以上では「25年以上」の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「25年以上」が最も高くなっている。

### 問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)



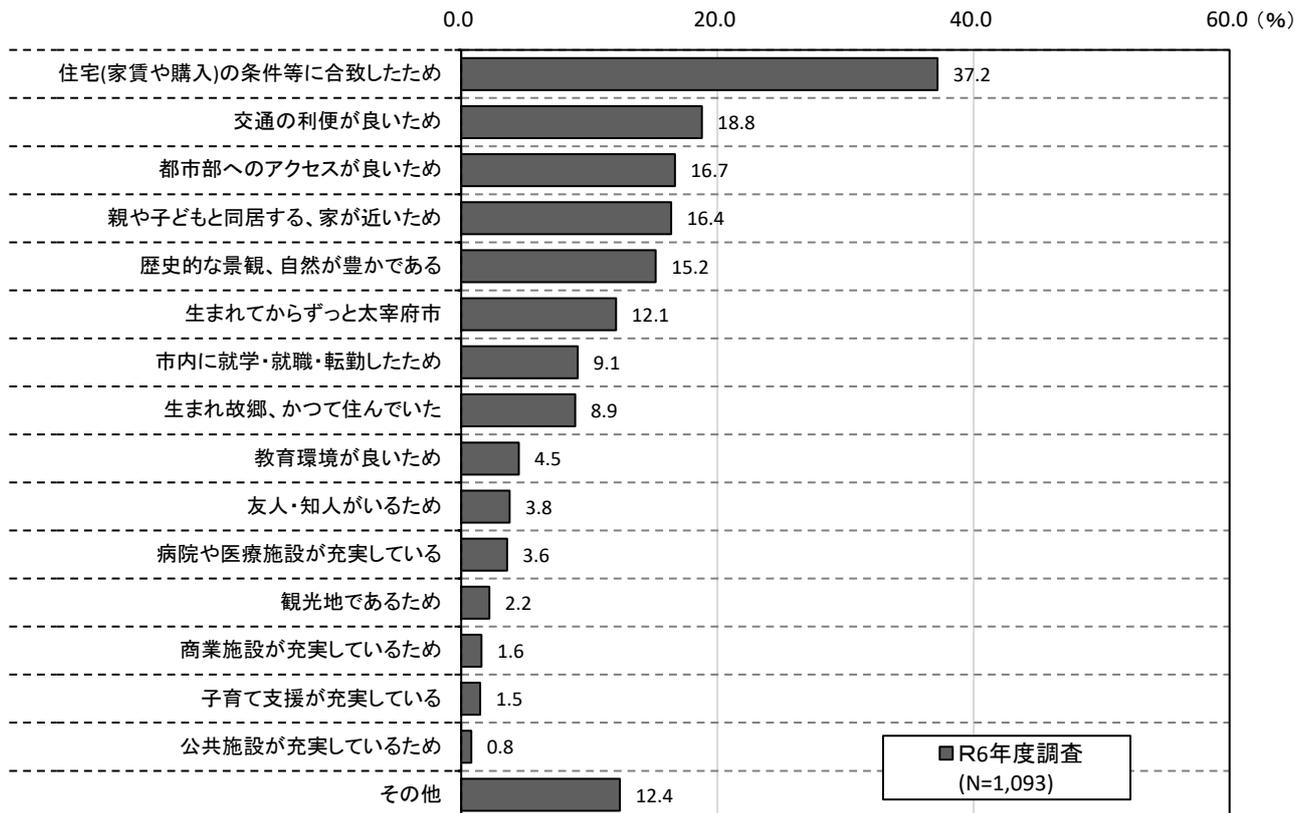
		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		1,093	6.2	5.7	11.4	12.4	9.9	10.7	43.5	0.1
性別	男性	464	6.9	6.0	11.0	12.3	10.6	11.9	41.4	-
	女性	603	6.0	5.6	12.1	12.4	9.1	10.1	44.6	-
	無回答	26	-	-	3.8	15.4	15.4	3.8	57.7	3.8
年代別	20歳代	74	14.9	9.5	10.8	10.8	23.0	23.0	8.1	-
	30歳代	126	16.7	21.4	24.6	14.3	3.2	2.4	17.5	-
	40歳代	187	9.1	5.9	23.5	24.6	9.1	3.2	24.6	-
	50歳代	228	4.8	1.8	7.0	17.1	20.2	18.4	30.7	-
	60歳代	193	2.6	5.2	6.7	4.1	5.7	13.5	62.2	-
	70歳代以上	282	1.1	1.1	4.6	6.0	4.3	8.2	74.8	-
	無回答	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	2.0	3.9	6.6	8.6	9.2	11.8	57.9	-
	太宰府東小学校区	123	2.4	7.3	11.4	10.6	4.9	8.1	55.3	-
	太宰府南小学校区	92	4.3	3.3	7.6	20.7	13.0	5.4	45.7	-
	水城小学校区	187	10.2	8.0	11.8	12.3	9.1	10.2	38.5	-
	水城西小学校区	137	6.6	0.7	13.9	13.1	13.9	14.6	37.2	-
	太宰府西小学校区	165	6.1	4.8	9.7	8.5	13.9	10.3	46.7	-
	国分小学校区	152	1.3	5.9	13.2	12.5	7.2	13.8	46.1	-
	わからない	77	23.4	14.3	22.1	20.8	6.5	5.2	7.8	-
無回答	8	-	-	-	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	

## 7. 転入、居住を決めた理由(問7)

- 転入、居住を決めた理由は「住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため」(37.2%)、「交通の利便が良いため」(18.8%)、「都市部へのアクセスが良いため」(16.7%)などが高くなっている。

回答者が転入、居住を決めた理由は「住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため」が37.2%で最も高く、次いで「交通の利便が良いため」(18.8%)、「都市部へのアクセスが良いため」(16.7%)の順となっている。

## 問7. あなたが太宰府市に転入、居住を決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)



性別にみると、男女ともに「住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため」(男性 39.7%、女性 35.0%) が最も高いが、次点は男性が「都市部へのアクセスが良いため」(20.3%)、女性が「親や子どもと同居する、家が近いため」(18.4%) が高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「生まれてからずっと太宰府市」が36.5%で高く、30歳代以上では「住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため」が高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため」が最も高くなっている。

居住年数別にみると、いずれの年数でも「住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため」が最も高くなっている。

(%)

		標本数	住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため	交通の利便が良いため	良い都市部へのアクセスが	都市部へのアクセスが	親や子どもと同居する、家が近いため	豊かである景観、自然が	歴史的な景観、自然が	生きたままの太宰府市	市内に就学・就職・転勤したため	生まれ故郷、かつて住んでいた	教育環境が良いため	友人・知人がいるため	病院長や医療施設が充実している	観光地であるため	商業施設が充実している	子育て支援が充実している	公共施設が充実しているため	その他
全体		1,093	407	206	182	179	166	132	100	97	49	41	39	24	17	16	9	136		
		-	37.2	18.8	16.7	16.4	15.2	12.1	9.1	8.9	4.5	3.8	3.6	2.2	1.6	1.5	0.8	12.4		
性別	男性	464	39.7	19.6	20.3	14.0	15.9	14.0	11.4	7.8	3.9	3.2	3.0	2.2	1.5	1.3	1.1	9.3		
	女性	603	35.0	18.1	13.9	18.4	14.6	10.6	7.5	10.0	4.6	4.1	4.1	2.2	1.5	1.5	0.7	14.9		
	無回答	26	46.2	23.1	15.4	11.5	15.4	11.5	7.7	3.8	11.5	3.8	-	3.8	3.8	3.8	-	11.5		
年代別	20歳代	74	20.3	8.1	4.1	18.9	2.7	36.5	8.1	6.8	1.4	4.1	2.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	9.5	
	30歳代	126	44.4	18.3	15.1	18.3	11.1	7.9	11.9	14.3	4.0	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	-	7.9	
	40歳代	187	36.4	16.6	15.5	27.8	15.5	11.2	10.2	12.8	4.3	2.7	2.7	3.7	1.6	3.7	1.1	8.6		
	50歳代	228	35.5	21.1	17.1	15.8	16.2	11.0	8.3	11.0	3.5	5.3	2.2	1.8	0.9	0.4	0.4	11.8		
	60歳代	193	37.3	17.6	16.1	13.0	14.5	11.4	6.7	7.3	5.7	3.1	5.7	2.6	2.6	1.0	0.5	15.0		
	70歳代以上	282	40.1	22.7	21.6	10.3	19.5	9.2	9.9	3.9	5.7	4.6	5.3	2.1	1.8	1.4	1.1	16.7		
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	152	32.9	19.7	14.5	15.1	15.1	17.8	8.6	6.6	2.6	2.0	5.3	4.6	-	2.6	3.9	11.8		
	太宰府東小学校区	123	39.8	16.3	15.4	16.3	14.6	9.8	8.1	12.2	5.7	3.3	1.6	1.6	-	0.8	0.8	14.6		
	太宰府南小学校区	92	38.0	5.4	12.0	19.6	14.1	18.5	5.4	15.2	5.4	2.2	2.2	3.3	3.3	2.2	1.1	9.8		
	水城小学校区	187	29.4	24.1	19.3	12.8	19.8	14.4	10.7	9.6	5.3	4.3	2.1	1.6	1.6	0.5	-	11.8		
	水城西小学校区	137	35.8	29.9	24.1	18.2	13.9	9.5	8.8	8.8	6.6	5.8	3.6	1.5	2.9	1.5	0.7	16.8		
	太宰府西小学校区	165	41.2	15.8	13.9	24.2	12.7	9.7	9.1	10.9	7.9	3.6	5.5	0.6	3.6	3.0	-	8.5		
	国分小学校区	152	39.5	13.8	16.4	15.1	15.1	12.5	9.2	4.6	0.7	5.3	2.6	2.6	-	0.7	-	10.5		
	わからない	77	46.8	22.1	13.0	7.8	13.0	1.3	14.3	3.9	-	2.6	3.9	2.6	1.3	-	-	20.8		
無回答	8	62.5	12.5	37.5	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-		
居住年数別	3年未満	68	52.9	16.2	10.3	16.2	10.3	-	11.8	7.4	2.9	-	2.9	1.5	1.5	2.9	-	8.8		
	3年以上～5年未満	62	45.2	22.6	14.5	17.7	14.5	-	6.5	16.1	1.6	1.6	3.2	3.2	1.6	1.6	-	16.1		
	5年以上～10年未満	125	43.2	23.2	16.0	14.4	12.0	-	9.6	12.0	3.2	5.6	3.2	4.0	0.8	1.6	1.6	12.8		
	10年以上～15年未満	136	40.4	19.1	19.9	20.6	19.1	0.7	12.5	8.8	5.9	6.6	2.2	2.2	2.2	0.7	-	12.5		
	15年以上～20年未満	108	38.9	25.0	13.0	22.2	13.0	6.5	13.0	10.2	6.5	3.7	7.4	0.9	2.8	0.9	1.9	7.4		
	20年以上～25年未満	117	37.6	17.1	14.5	14.5	12.8	14.5	8.5	4.3	3.4	3.4	1.7	0.9	0.9	0.9	-	15.4		
	25年以上	476	30.9	16.6	18.5	14.7	16.8	22.5	7.4	8.2	4.8	3.4	3.8	2.3	1.5	1.7	1.1	12.8		
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

## 第2節 住みやすさについて

### 1. 本市の住みやすさ(問8)

● 本市の住みやすさについて『満足派』は80.5%、『不満派』は12.8%となっている。

本市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）の割合は80.5%、一方、『不満派』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は12.8%で、『満足派』が8割と高くなっている。

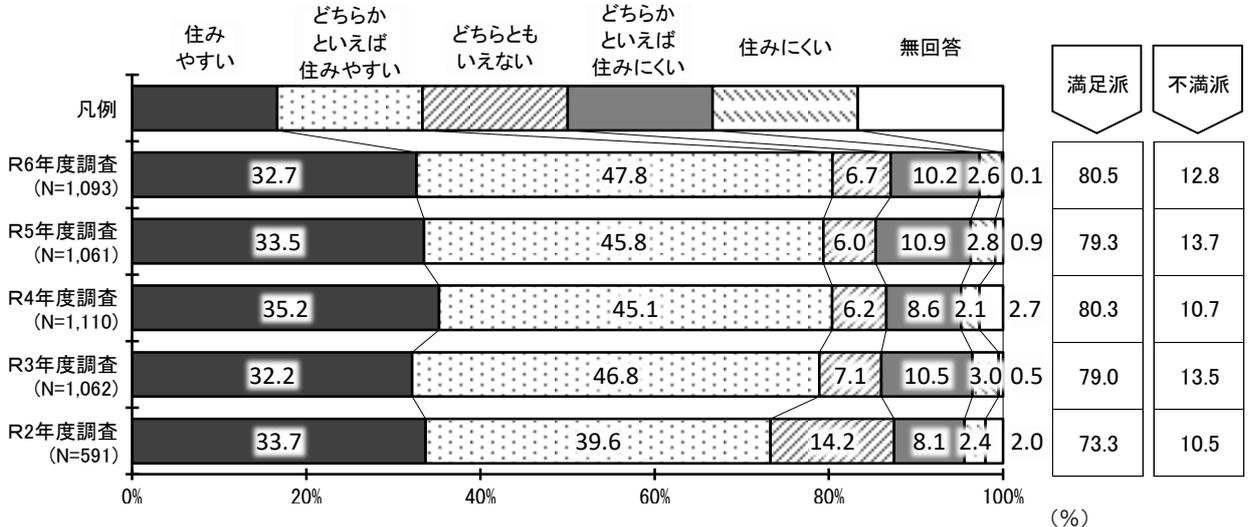
過去の調査結果と比べると、『満足派』は令和5年度調査から1.2ポイント増加しており、5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『満足派』は男性（84.7%）の方が女性（77.4%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が7割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは40歳代（82.9%）となっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除き、『満足派』が7割を超えている。『満足派』の割合が最も高いのは太宰府西小学校区（88.5%）となっている。

#### 問8. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	住みやすい	ややど すえち いばら 住か みと	いど えち なら いと	にいど くえち いばら 住か みと	住 みに く い	無 回 答	満 足 派	不 満 派
全体		1,093	357	522	73	112	28	1	879	140
		100.0	32.7	47.8	6.7	10.2	2.6	0.1	80.5	12.8
性別	男性	464	35.1	49.6	5.2	8.0	2.2	-	84.7	10.2
	女性	603	30.5	46.9	7.3	12.1	3.0	0.2	77.4	15.1
	無回答	26	38.5	34.6	19.2	7.7	-	-	73.1	7.7
年代別	20歳代	74	44.6	35.1	8.1	8.1	4.1	-	79.7	12.2
	30歳代	126	32.5	48.4	4.0	11.1	4.0	-	80.9	15.1
	40歳代	187	35.3	47.6	2.7	11.8	2.7	-	82.9	14.5
	50歳代	228	30.3	49.1	6.6	13.2	0.9	-	79.4	14.1
	60歳代	193	28.5	50.3	9.8	7.8	3.1	0.5	78.8	10.9
	70歳代以上	282	32.6	48.2	7.8	8.9	2.5	-	80.8	11.4
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	66.6	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	28.9	46.1	6.6	13.8	3.9	0.7	75.0	17.7
	太宰府東小学校区	123	23.6	46.3	6.5	22.0	1.6	-	69.9	23.6
	太宰府南小学校区	92	18.5	53.3	4.3	17.4	6.5	-	71.8	23.9
	水城小学校区	187	38.5	48.7	5.3	6.4	1.1	-	87.2	7.5
	水城西小学校区	137	41.6	46.7	4.4	6.6	0.7	-	88.3	7.3
	太宰府西小学校区	165	37.6	50.9	5.5	4.2	1.8	-	88.5	6.0
	国分小学校区	152	28.3	46.1	12.5	9.2	3.9	-	74.4	13.1
	わからない	77	39.0	45.5	6.5	7.8	1.3	-	84.5	9.1
	無回答	8	37.5	25.0	25.0	-	12.5	-	62.5	12.5

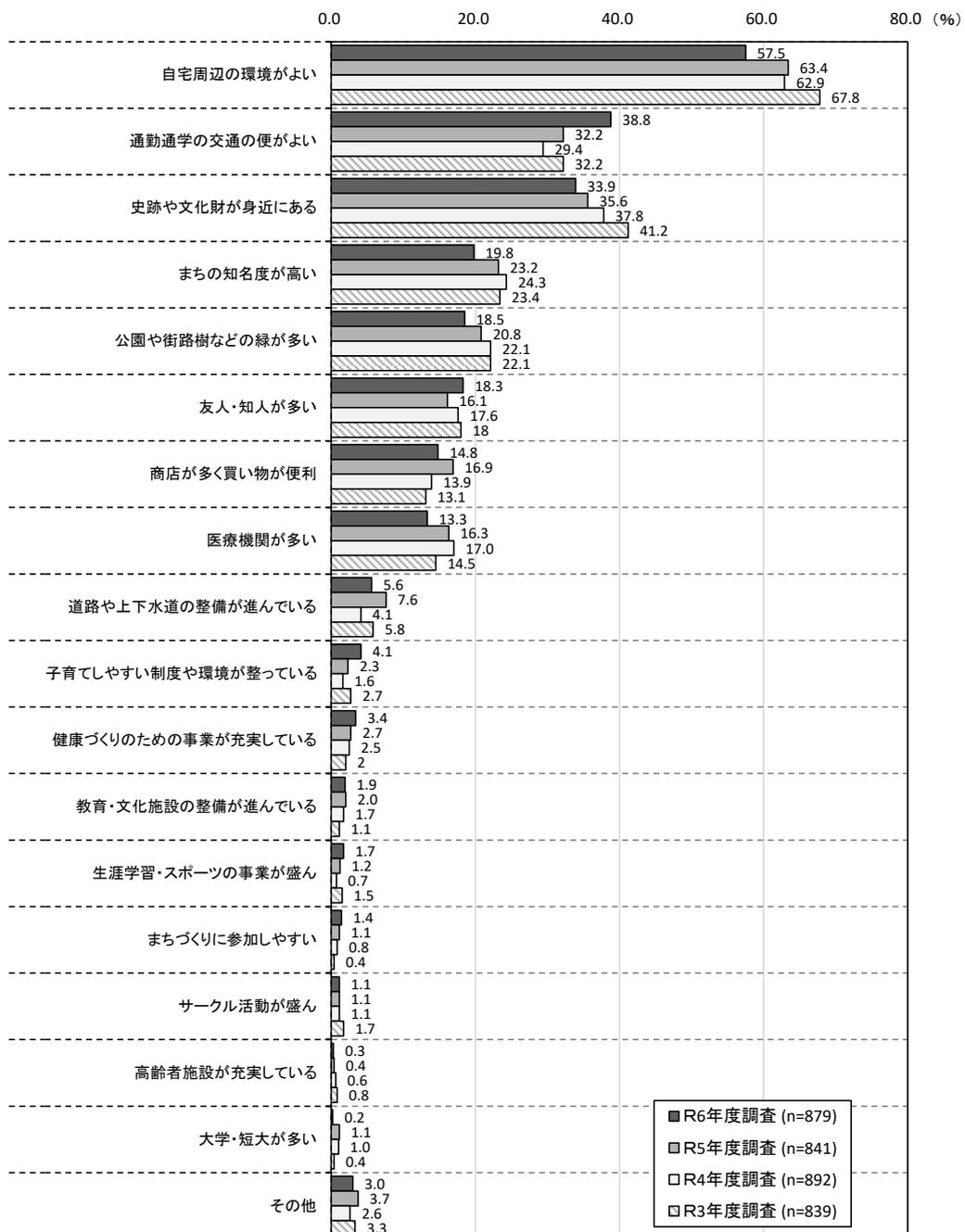
## 2. 住みやすい理由(問9)

- 住みやすい理由は、「自宅周辺の環境がよい」(57.5%) が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便がよい」(38.8%)、「史跡や文化財が身近にある」(33.9%) などの順となっている。

本市が住みやすい理由について、「自宅周辺の環境がよい」(57.5%) が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便がよい」(38.8%)、「史跡や文化財が身近にある」(33.9%) となっている。

過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から上位3項目の「自宅周辺の環境がよい」が5.9ポイント、「史跡や文化財が身近にある」が1.7ポイント減少しているが、「通勤通学の交通の便がよい」は6.6ポイント増加している。

### 問9.【住みやすいと答えた方】におたずねします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに「自宅周辺の環境がよい」（男性 56.0%、女性 58.7%）が最も高く、次いで、「通勤通学の交通の便がよい」（男性 43.0%、女性 35.5%）、「史跡や文化財が身近にある」（男性 37.7%、女性 31.0%）の順となっている。

年代別にみると、20 歳代では「友人・知人が多い」が高く、30 歳代以上では「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。次いで、20 歳代は「自宅周辺の環境がよい」、30 歳代から 50 歳代は「通勤通学の交通の便がよい」、60 歳代以上は「史跡や文化財が身近にある」がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区を除いて「自宅周辺の環境がよい」が最も高く、水城小学校区では「通勤通学の交通の便がよい」が高くなっている。

(%)

	標本数	自宅周辺の環境がよい	よ通勤通学の交通の便が	ある史跡や文化財が身近に	まちなちの知名度が高い	公園や街路樹などの緑が多い	友人・知人が多い	利商店が多く買い物やすい	医療機関が多い	が道路や上下水道の整備が進んでいる	環境が整っている	子育てしやすい制度や業が充実している	健康づくりのための事が進んでいる	教育・文化施設の整備	生涯学習・スポーツの	すまじづくりに参加しや	サークル活動が盛ん	いる高齢者施設が充実して	大学・短大が多い	その他
全体	879	505	341	298	174	163	161	130	117	49	36	30	17	15	12	10	3	2	26	
	-	57.5	38.8	33.9	19.8	18.5	18.3	14.8	13.3	5.6	4.1	3.4	1.9	1.7	1.4	1.1	0.3	0.2	3.0	
性別																				
男性	393	56.0	43.0	37.7	20.6	19.6	15.3	13.2	12.7	5.1	4.3	3.1	2.0	1.5	1.3	0.5	0.3	0.3	3.3	
女性	467	58.7	35.5	31.0	19.9	17.8	21.4	15.6	13.9	5.6	4.1	3.9	1.9	1.5	1.5	1.7	0.4	0.2	2.8	
無回答	19	57.9	31.6	26.3	-	15.8	5.3	26.3	10.5	15.8	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	
年代別																				
20歳代	59	37.3	33.9	22.0	25.4	16.9	45.8	13.6	8.5	-	1.7	-	5.1	-	1.7	-	-	-	3.4	
30歳代	102	56.9	52.9	16.7	23.5	15.7	15.7	15.7	11.8	2.9	7.8	-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	3.9	
40歳代	155	54.8	40.0	27.1	18.7	16.8	21.3	16.1	12.9	2.6	10.3	0.6	2.6	1.3	1.9	-	-	0.6	3.2	
50歳代	181	55.2	50.3	35.4	18.8	16.0	11.0	16.0	7.2	2.2	2.8	2.2	1.7	1.7	0.6	0.6	-	-	5.5	
60歳代	152	65.8	34.9	38.8	19.7	17.8	17.8	13.2	13.2	6.6	-	2.0	2.0	2.0	0.7	0.7	-	-	2.6	
70歳代以上	228	61.0	26.3	44.3	17.5	24.1	16.7	14.0	20.6	12.3	2.6	9.6	1.8	2.6	2.2	3.5	1.3	-	0.4	
無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別																				
太宰府小学校区	114	44.7	33.3	43.0	20.2	17.5	22.8	6.1	17.5	2.6	1.8	6.1	-	1.8	0.9	0.9	0.9	0.9	3.5	
太宰府東小学校区	86	70.9	20.9	32.6	29.1	16.3	26.7	10.5	18.6	9.3	-	5.8	7.0	1.2	3.5	4.7	-	-	2.3	
太宰府南小学校区	66	48.5	25.8	30.3	31.8	10.6	28.8	6.1	6.1	6.1	6.1	4.5	1.5	3.0	-	1.5	-	-	6.1	
水城小学校区	163	55.2	56.4	36.2	14.1	19.0	13.5	14.1	8.6	1.2	4.9	0.6	2.5	1.2	1.2	-	0.6	-	1.8	
水城西小学校区	121	57.9	48.8	34.7	15.7	14.0	14.9	18.2	9.9	9.1	4.1	2.5	1.7	4.1	1.7	2.5	-	-	3.3	
太宰府西小学校区	146	65.1	26.0	19.9	17.1	24.7	19.2	30.1	23.3	6.2	2.1	1.4	2.1	1.4	1.4	-	-	0.7	1.4	
国分小学校区	113	61.1	38.1	44.2	18.6	22.1	18.6	4.4	9.7	4.4	7.1	3.5	0.9	-	1.8	0.9	-	-	3.5	
わからない	65	52.3	52.3	29.2	26.2	18.5	6.2	23.1	7.7	7.7	-	4.6	1.5	-	-	-	1.5	-	4.6	
無回答	5	60.0	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	

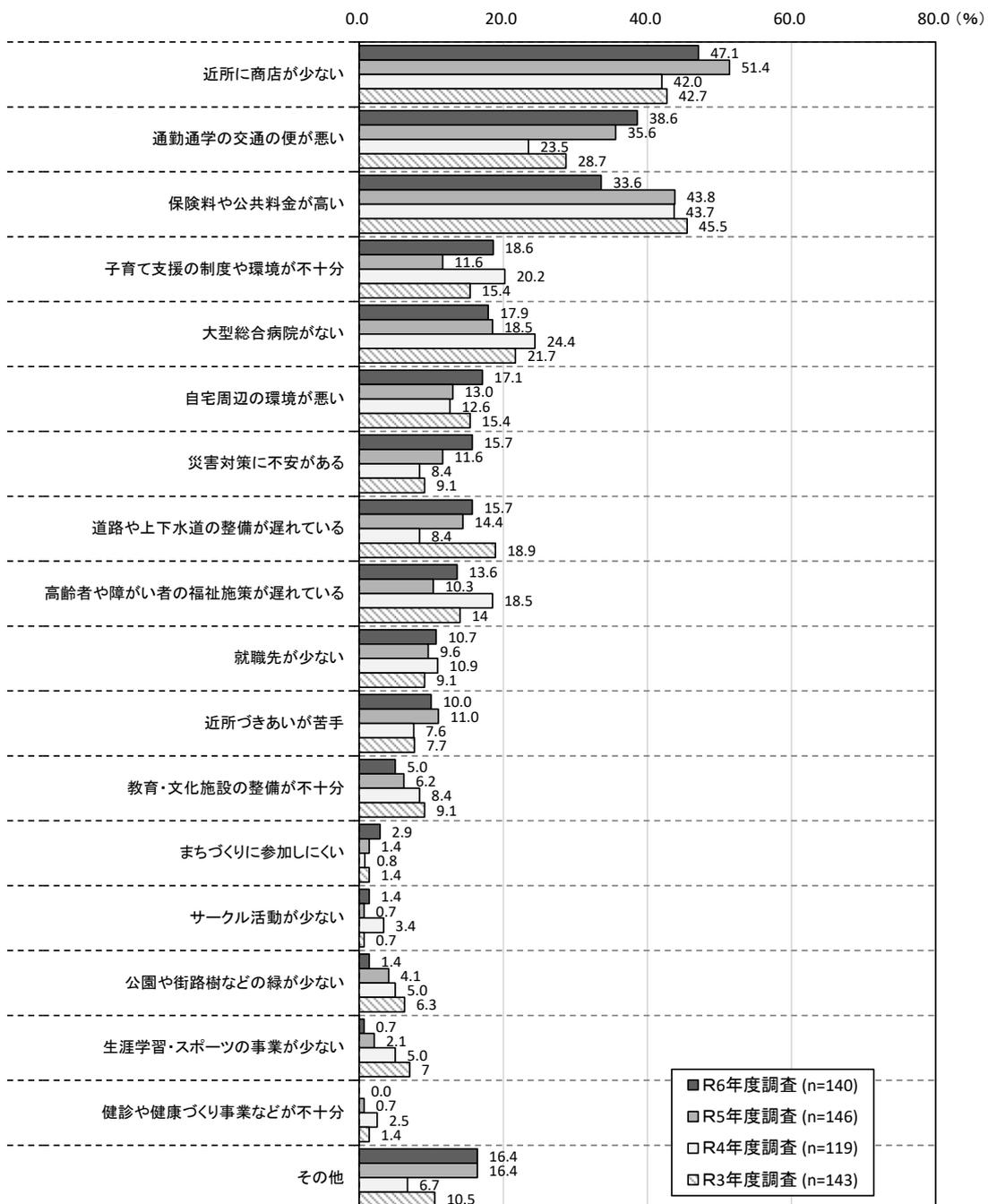
### 3. 住みにくい理由(問 10)

● 住みにくい理由は、「近所に商店が少ない」(47.1%) が最も高い。

本市が住みにくい理由について、「近所に商店が少ない」(47.1%) が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便が悪い」(38.6%)、「保険料や公共料金が高い」(33.6%)、「子育て支援の制度や環境が不十分」(18.6%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から「保険料や公共料金が高い」(10.2ポイント減)、「近所に商店が少ない」(4.3ポイント減)が減少している。一方、「子育て支援の制度や環境が不十分」(7.0ポイント増)、「自宅周辺の環境が悪い」「災害対策に不安がある」(同数で4.1ポイント増)、「高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている」(3.3ポイント増)などが増加している。

問 10. 【住みにくいと答えた方】におたずねします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに「近所に商店が少ない」（男性 42.6%、女性 50.5%）が最も高くなっている。続いて、「通勤通学の交通の便が悪い」（男性 38.3%、女性 38.5%）、「保険料や公共料金が高い」（男性 29.8%、女性 35.2%）の順になっている。

年代別にみると、20 歳代では「保険料や公共料金が高い」、30 歳代では「子育て支援の制度や環境が不十分」、40 歳代では「通勤通学の交通の便が悪い」、50 歳代以上では「近所に商店が少ない」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区以外で「近所に商店が少ない」が高くなっている。水城西小学校区では「保険料や公共料金が高い」、太宰府西小学校区では「通勤通学の交通の便が悪い」が高くなっている。ほかに、太宰府小学校区と国分小学校区では「通勤通学の交通の便が悪い」も同率で高くなっている。

(%)

	標本数	近所に商店が少ない	悪い通勤通学の交通の便が	い保険料や公共料金が高い	境が不十分	子育て支援の制度や環境	大型総合病院がない	自宅周辺の環境が悪い	災害対策に不安がある	が道路や上下水道の整備	遅れられている	社高齢者や障がい者の福祉	高年齢者が多い	就職先が少ない	近所づきあいが苦手	が教育・文化施設の整備	が不十分	くまじづくりに参加しない	サークル活動が少ない	が公園や街路樹などの緑	が少ない	生涯学習・スポーツの	事業が少ない	などが不十分	健康づくり事業	その他
全体	140	66	54	47	26	25	24	22	22	19	15	14	7	4	2	1	-	23								
	-	47.1	38.6	33.6	18.6	17.9	17.1	15.7	15.7	13.6	10.7	10.0	5.0	2.9	1.4	1.4	0.7	-	16.4							
性別																										
男性	47	42.6	38.3	29.8	14.9	23.4	21.3	17.0	23.4	8.5	10.6	8.5	2.1	2.1	2.1	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.3
女性	91	50.5	38.5	35.2	20.9	15.4	15.4	14.3	12.1	15.4	11.0	11.0	6.6	3.3	1.1	-	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	13.2
無回答	2	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
年代別																										
20歳代	9	33.3	44.4	55.6	33.3	11.1	33.3	22.2	22.2	-	33.3	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	19	31.6	36.8	21.1	63.2	10.5	31.6	15.8	26.3	5.3	-	5.3	-	-	-	5.3	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-
40歳代	27	37.0	44.4	33.3	29.6	25.9	18.5	11.1	7.4	3.7	11.1	7.4	3.7	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
50歳代	32	50.0	37.5	21.9	3.1	15.6	25.0	9.4	15.6	12.5	18.8	9.4	3.1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.1
60歳代	21	57.1	28.6	52.4	4.8	9.5	4.8	23.8	23.8	9.5	9.5	14.3	9.5	9.5	4.8	-	4.8	-	-	-	-	4.8	-	-	-	23.8
70歳代以上	32	59.4	40.6	34.4	3.1	25.0	3.1	18.8	9.4	34.4	3.1	12.5	6.3	3.1	-	3.1	-	-	-	3.1	-	-	-	-	-	9.4
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別																										
太宰府小学校区	27	40.7	40.7	14.8	18.5	14.8	14.8	11.1	22.2	11.1	-	18.5	-	-	-	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.9
太宰府東小学校区	29	58.6	44.8	41.4	17.2	24.1	10.3	20.7	10.3	6.9	3.4	-	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.7
太宰府南小学校区	22	54.5	50.0	31.8	18.2	13.6	4.5	4.5	4.5	18.2	9.1	13.6	13.6	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.6
水城西小学校区	14	64.3	21.4	57.1	21.4	21.4	14.3	21.4	14.3	28.6	21.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水城西小学校区	10	30.0	20.0	50.0	40.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	30.0
太宰府西小学校区	10	30.0	50.0	30.0	20.0	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
国分小学校区	20	40.0	40.0	30.0	15.0	10.0	35.0	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0
わからない	7	42.9	-	28.6	-	42.9	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

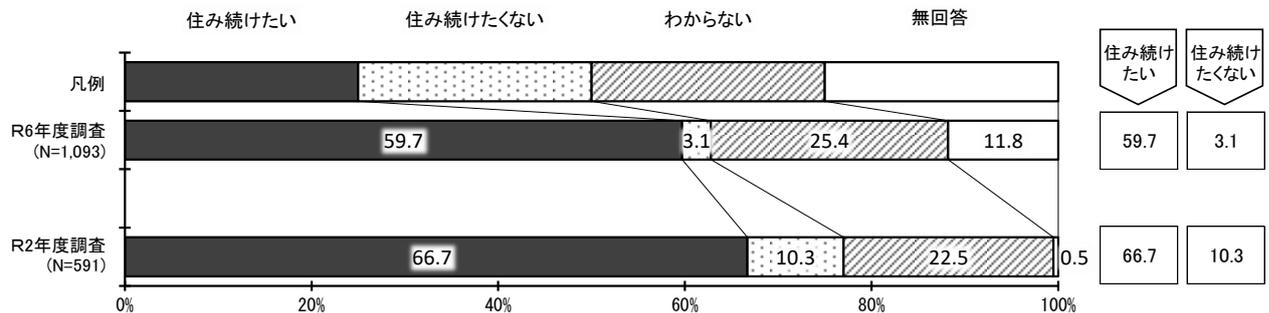
#### 4. 継続居住意向(問 11)

●「住み続けたい」は59.7%、「住み続けたくない」は3.1%となっている。

太宰府市への継続居住意向について、今後も「住み続けたい」と答えた人は59.7%、一方、「住み続けたくない」と答えた人は3.1%、「わからない」と答えた人は25.4%となっている。  
 過去調査で同様の設問が実施された令和2年度と比べると、「住み続けたい」が7.0ポイント減、「住み続けたくない」が7.2ポイント減となり、「わからない」が2.9ポイント増となっている。

性別、年代別、小学校区別のいずれでも「住み続けたい」と答えた人が多い。  
 住みやすさ別では、住みやすいと答えた人は「住み続けたい」が高く、住みにくい、どちらともいえないと答えた人は「わからない」が高くなっている。

#### 問 11. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	住み続けたい (%)	住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,093	59.7	3.1	25.4	11.8
性別	男性	464	65.5	3.2	19.6	11.6
	女性	603	55.1	3.0	29.9	12.1
	無回答	26	61.5	3.8	26.9	7.7
年代別	20歳代	74	45.9	4.1	33.8	16.2
	30歳代	126	48.4	4.8	31.0	15.9
	40歳代	187	49.7	2.1	26.2	21.9
	50歳代	228	54.4	3.9	27.2	14.5
	60歳代	193	66.8	3.1	23.8	6.2
	70歳代以上	282	74.1	1.8	20.2	3.9
	無回答	3	66.7	33.3	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	63.2	3.9	22.4	10.5
	太宰府東小学校区	123	57.7	5.7	26.8	9.8
	太宰府南小学校区	92	51.1	3.3	33.7	12.0
	水城小学校区	187	64.7	0.5	19.3	15.5
	水城西小学校区	137	67.9	2.2	19.0	10.9
	太宰府西小学校区	165	58.2	2.4	25.5	13.9
	国分小学校区	152	58.6	5.3	26.3	9.9
	わからない	77	48.1	1.3	41.6	9.1
無回答	8	25.0	12.5	50.0	12.5	
住みやすさ別	住みやすい	879	67.1	0.9	17.5	14.4
	どちらともいえない	73	27.4	6.8	64.4	1.4
	住みにくい	140	30.0	15.0	55.0	-
	無回答	1	-	-	-	100.0

### 第3節 本市の行政運営について

#### 1. 市政への関心度(問 12)

● 市政への関心度は、『ある派』は69.4%、『ない派』は30.1%となっている。

市政への関心度について、『ある派』（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）は69.4%となっている。一方、『ない派』（「ない」と「どちらかといえばない」の合計）は30.1%で、『ある派』の方が『ない派』よりも39.3ポイント高くなっている。

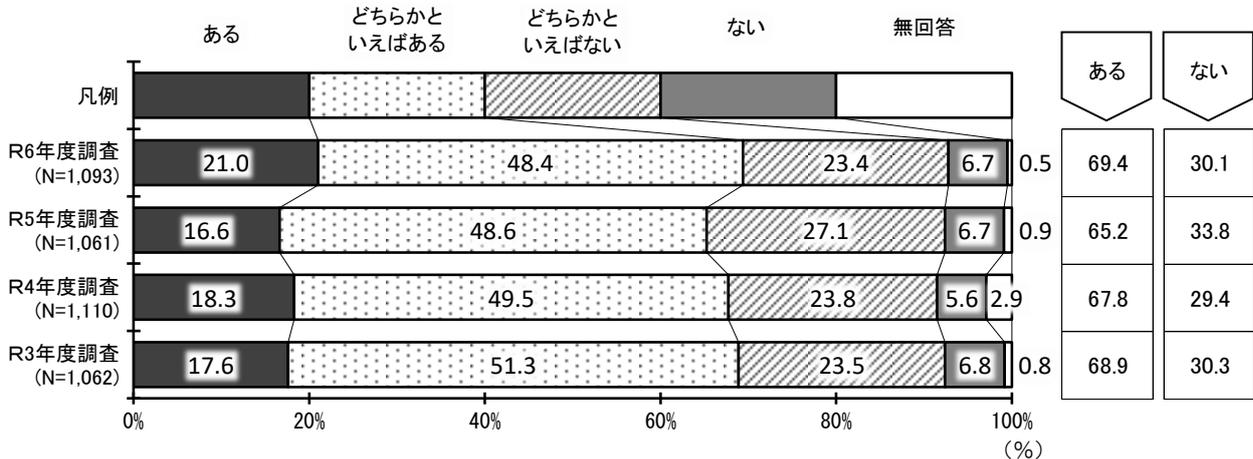
過去の調査結果と比べると、『ある派』が令和5年度調査から4.2ポイント増加しており、令和3年度調査開始以降、最も高くなっている。

性別にみると、『ある派』は男性（73.1%）の方が女性（67.0%）より6.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、『ある派』は70歳代以上（79.0%）が最も高くなっており、一方、『ない派』は20歳代（51.4%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『ある派』の方が『ない派』より高くなっており、太宰府東小学校区（74.8%）が最も高くなっている。

#### 問 12. あなたは市政に関心はありますか。（○は1つ）



		標本数	ある	えど ばち あらか とい	えど ばち ないか とい	ない	無 回 答	ある 派	ない 派
全体		1,093	230	529	256	73	5	759	329
		100.0	21.0	48.4	23.4	6.7	0.5	69.4	30.1
性別	男性	464	28.9	44.2	20.3	6.5	0.2	73.1	26.8
	女性	603	15.6	51.4	26.0	6.5	0.5	67.0	32.5
	無回答	26	7.7	53.8	19.2	15.4	3.8	61.5	34.6
年代別	20歳代	74	13.5	35.1	25.7	25.7	-	48.6	51.4
	30歳代	126	18.3	42.9	31.7	7.1	-	61.2	38.8
	40歳代	187	25.1	44.9	23.0	5.9	1.1	70.0	28.9
	50歳代	228	16.7	49.1	28.1	6.1	-	65.8	34.2
	60歳代	193	19.7	52.3	22.3	4.7	1.0	72.0	27.0
	70歳代以上	282	26.2	52.8	16.7	3.9	0.4	79.0	20.6
	無回答	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	20.4	46.1	25.0	7.2	1.3	66.5	32.2
	太宰府東小学校区	123	24.4	50.4	19.5	4.9	0.8	74.8	24.4
	太宰府南小学校区	92	17.4	55.4	21.7	5.4	-	72.8	27.1
	水城小学校区	187	25.7	46.0	22.5	5.3	0.5	71.7	27.8
	水城西小学校区	137	21.9	43.8	26.3	7.3	0.7	65.7	33.6
	太宰府西小学校区	165	23.0	47.9	24.2	4.8	-	70.9	29.0
	国分小学校区	152	18.4	52.6	19.1	9.9	-	71.0	29.0
	わからない	77	9.1	48.1	33.8	9.1	-	57.2	42.9
	無回答	8	25.0	50.0	12.5	12.5	-	75.0	25.0

## 2. 市政への信頼度(問 13)

● 市政への信頼については、『肯定派』は77.1%、『否定派』は22.1%となっている。

市政への信頼度について、『肯定派』（「信頼している」と「どちらかといえば信頼している」の合計）は77.1%となっている。一方、『否定派』（「信頼していない」と「どちらかといえば信頼していない」の合計）は22.1%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも55.0ポイント高くなっている。

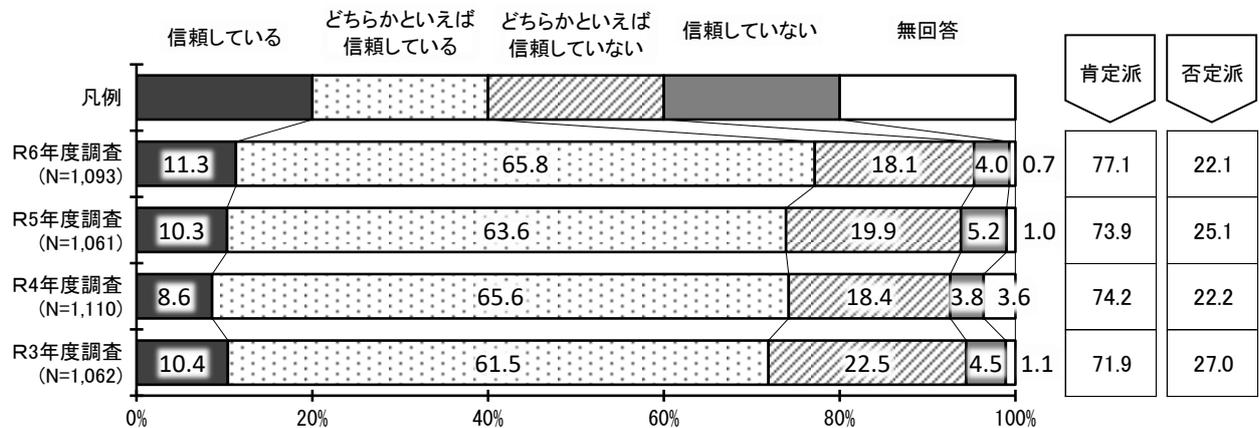
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が令和5年度調査から3.2ポイント増加しており、令和3年度調査開始以降、最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性（77.8%）の方が女性（76.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は70歳代以上（84.4%）が最も高くなっており、一方、『否定派』は30歳代（37.3%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、国分小学校区（82.2%）が最も高くなっている。

### 問 13. あなたは市政を信頼していますか。（○は1つ）



		標本数	信頼している	どちらかといえば信頼している	どちらかといえば信頼していない	信頼していない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,093	124	719	198	44	8	843	242
		100.0	11.3	65.8	18.1	4.0	0.7	77.1	22.1
性別	男性	464	12.7	65.1	16.6	5.2	0.4	77.8	21.8
	女性	603	10.6	66.3	19.6	2.8	0.7	76.9	22.4
	無回答	26	3.8	65.4	11.5	11.5	7.7	69.2	23.0
年代別	20歳代	74	8.1	66.2	13.5	12.2	-	74.3	25.7
	30歳代	126	7.1	55.6	33.3	4.0	-	62.7	37.3
	40歳代	187	10.7	64.2	18.7	4.8	1.6	74.9	23.5
	50歳代	228	10.1	68.9	17.1	3.9	-	79.0	21.0
	60歳代	193	10.9	66.3	18.7	3.1	1.0	77.2	21.8
	70歳代以上	282	15.6	68.8	12.8	1.8	1.1	84.4	14.6
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	18.4	56.6	19.1	4.6	1.3	75.0	23.7
	太宰府東小学校区	123	8.9	65.0	19.5	4.9	1.6	73.9	24.4
	太宰府南小学校区	92	4.3	69.6	21.7	4.3	-	73.9	26.0
	水城小学校区	187	10.7	67.4	18.2	2.7	1.1	78.1	20.9
	水城西小学校区	137	13.1	67.2	18.2	1.5	-	80.3	19.7
	太宰府西小学校区	165	10.9	65.5	18.8	4.2	0.6	76.4	23.0
	国分小学校区	152	9.2	73.0	13.2	4.6	-	82.2	17.8
	わからない	77	11.7	62.3	18.2	6.5	1.3	74.0	24.7
	無回答	8	25.0	50.0	12.5	12.5	-	75.0	25.0

### 3. 効果的な行政運営に対する評価(問 14)

● 効果的な行政運営については、『肯定派』は71.1%、『否定派』は27.7%となっている。

本市の効果的な行政運営について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は71.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は27.7%で、『肯定派』の方が『否定派』より43.4ポイント高くなっている。

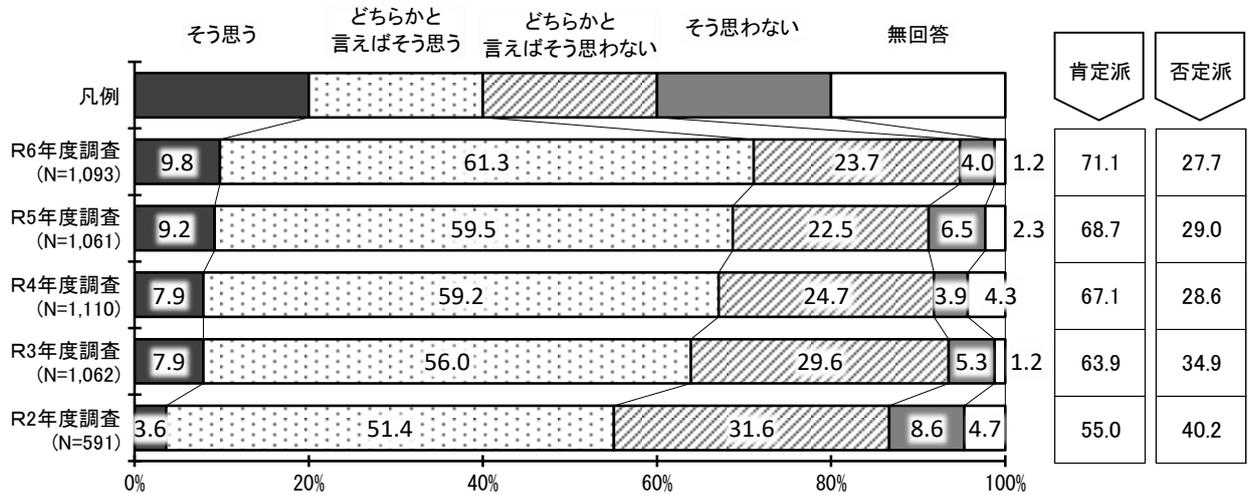
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査から2.4ポイント増加しており、5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（72.3%）の方が男性（70.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代（77.1%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは30歳代（40.5%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは国分小学校区（77.0%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区（33.3%）となっている。

#### 問 14. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	えど ばち そら うか 思と う言	なえ どち らか よ うか 思と わ言	そう 思わ ない	無 回 答	肯定 派	否定 派
全体		1,093 100.0	107 9.8	670 61.3	259 23.7	44 4.0	13 1.2	71.1	27.7
性別	男性	464	11.2	59.1	23.9	5.6	0.2	70.3	29.5
	女性	603	9.1	63.2	23.5	2.5	1.7	72.3	26.0
	無回答	26	-	57.7	23.1	11.5	7.7	57.7	34.6
年代別	20歳代	74	9.5	67.6	14.9	6.8	1.4	77.1	21.7
	30歳代	126	4.8	54.0	36.5	4.0	0.8	58.8	40.5
	40歳代	187	11.8	59.9	20.3	7.0	1.1	71.7	27.3
	50歳代	228	9.2	61.0	23.7	4.8	1.3	70.2	28.5
	60歳代	193	7.8	62.7	25.4	3.1	1.0	70.5	28.5
	70歳代以上	282	12.8	63.1	21.3	1.4	1.4	75.9	22.7
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	15.8	54.6	24.3	3.9	1.3	70.4	28.2
	太宰府東小学校区	123	7.3	56.9	27.6	5.7	2.4	64.2	33.3
	太宰府南小学校区	92	5.4	65.2	26.1	3.3	-	70.6	29.4
	水城小学校区	187	11.2	61.0	23.0	3.2	1.6	72.2	26.2
	水城西小学校区	137	9.5	66.4	21.2	2.2	0.7	75.9	23.4
	太宰府西小学校区	165	9.1	60.6	24.8	4.8	0.6	69.7	29.6
	国分小学校区	152	6.6	70.4	15.8	5.3	2.0	77.0	21.1
	わからない	77	10.4	53.2	32.5	3.9	-	63.6	36.4
	無回答	8	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0

#### 4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度(問 15)

● 市職員の対応や行動などの仕事への取り組みについては、『満足派』は 87.4%、『不満派』は 12.1%となっている。

市職員の対応や行動に対する満足度について、『満足派』（「満足している」と「ある程度満足している」の合計）は 87.4%となっている。一方、『不満派』（「満足していない」と「あまり満足していない」の合計）は 12.1%で、『満足派』の方が『不満派』より 75.3 ポイント高くなっている。

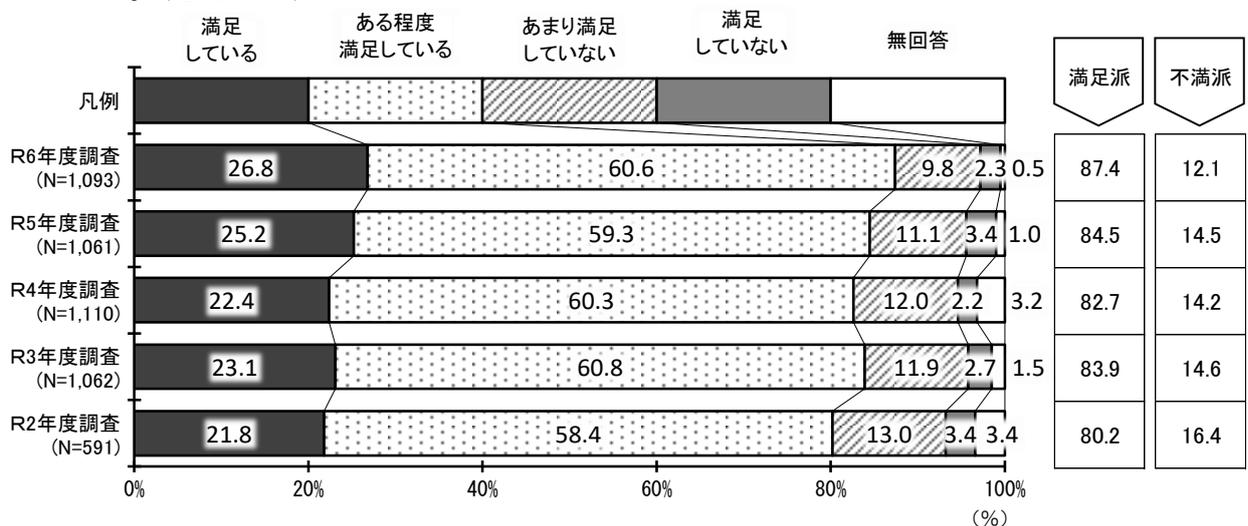
過去の調査結果と比べると、『満足派』は令和 5 年度調査から 2.9 ポイント増加しており、5 か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『満足派』は男性（89.3%）の方が女性（86.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『満足派』が最も高いのは 70 歳代以上（91.5%）となっている。一方、『不満派』が最も高いのは 40 歳代（14.9%）となっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府西小学校区（91.5%）となっている。一方、『不満派』が最も高いのは太宰府東小学校区（15.4%）となっている。

#### 問 15. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。(〇は1つ)



		標本数	満足している	しある程度満足	てあまり満足し	い満足していな	無回答	満足派	不満派
全体		1,093	293	662	107	25	6	955	132
		100.0	26.8	60.6	9.8	2.3	0.5	87.4	12.1
性別	男性	464	28.7	60.6	7.5	2.6	0.6	89.3	10.1
	女性	603	24.9	61.7	11.3	1.8	0.3	86.6	13.1
	無回答	26	38.5	34.6	15.4	7.7	3.8	73.1	23.1
年代別	20歳代	74	27.0	59.5	10.8	2.7	-	86.5	13.5
	30歳代	126	30.2	57.1	7.1	5.6	-	87.3	12.7
	40歳代	187	27.8	56.7	12.8	2.1	0.5	84.5	14.9
	50歳代	228	23.7	62.3	11.4	1.8	0.9	86.0	13.2
	60歳代	193	23.8	62.7	9.8	3.1	0.5	86.5	12.9
	70歳代以上	282	29.1	62.4	7.4	0.4	0.7	91.5	7.8
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	30.9	58.6	7.2	2.6	0.7	89.5	9.8
	太宰府東小学校区	123	24.4	58.5	13.8	1.6	1.6	82.9	15.4
	太宰府南小学校区	92	18.5	66.3	12.0	3.3	-	84.8	15.3
	水城小学校区	187	25.7	65.2	7.5	1.6	-	90.9	9.1
	水城西小学校区	137	26.3	58.4	11.7	2.9	0.7	84.7	14.6
	太宰府西小学校区	165	30.3	61.2	6.1	1.2	1.2	91.5	7.3
	国分小学校区	152	25.0	59.9	12.5	2.6	-	84.9	15.1
	わからない	77	31.2	57.1	9.1	2.6	-	88.3	11.7
	無回答	8	37.5	25.0	25.0	12.5	-	62.5	37.5

5. まちづくりビジョンの認知度(問 16)

● まちづくりビジョンの認知度は、「知らない」が 69.4%、「聞いた（見た）ことがある」は 19.0%となっている。

まちづくりビジョンの認知度について、「知らない」(69.4%) が最も高く、次いで「聞いた（見た）ことがある」(19.0%)、「読んだことがある」(9.5%) の順となっている。

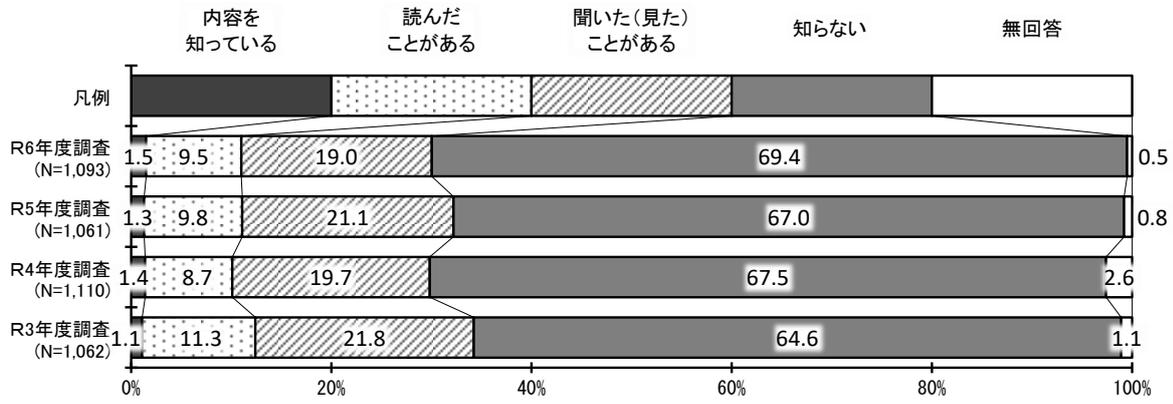
過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から「知らない」が 2.4 ポイント増加して、「聞いた（見た）ことがある」が 2.1 ポイント減少している。

性別にみると、「知らない」は男性が 72.0%、女性が 67.5%で男性が 4.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「聞いた（見た）ことがある」が最も高いのは 60 歳代 (23.3%) となっている。一方、「知らない」が最も高いのは 30 歳代 (77.8%) となっている。

小学校区別にみると、「内容を知っている」が最も高いのは太宰府小学校区 (3.3%) となっている。一方、「知らない」が最も高いのは水城西小学校区 (74.5%) となっている。

問 16. あなたは第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（通称：まちづくりビジョン）を知っていますか。（○は1つ）



		標本数	内容を知っている	読んだことがある	聞いた(見た)ことがある	知らない	無回答
全体		1,093	1.5	9.5	19.0	69.4	0.5
性別	男性	464	2.6	9.7	15.5	72.0	0.2
	女性	603	0.7	9.3	21.7	67.5	0.8
	無回答	26	-	11.5	19.2	69.2	-
年代別	20歳代	74	2.7	8.1	20.3	68.9	-
	30歳代	126	2.4	8.7	11.1	77.8	-
	40歳代	187	1.1	9.1	21.4	68.4	-
	50歳代	228	0.4	9.2	15.4	75.0	-
	60歳代	193	2.1	5.7	23.3	67.4	1.6
	70歳代以上	282	1.4	13.1	20.2	64.2	1.1
	無回答	3	-	33.3	66.7	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	3.3	11.8	19.1	64.5	1.3
	太宰府東小学校区	123	0.8	7.3	24.4	67.5	-
	太宰府南小学校区	92	1.1	8.7	19.6	69.6	1.1
	水城小学校区	187	1.1	12.8	18.7	67.4	-
	水城西小学校区	137	0.7	9.5	13.9	74.5	1.5
	太宰府西小学校区	165	1.8	7.9	19.4	70.9	-
	国分小学校区	152	2.0	8.6	23.0	66.4	-
	わからない	77	-	6.5	11.7	81.8	-
無回答	8	-	12.5	12.5	62.5	12.5	

## 6. 本市が行っている施策について

### (1) 施策の重要度(31 施策)(問 17)

●「施策 23 交通環境の向上」、「施策 24 防災力の強化」、「施策 10 子育て・教育環境の充実」などで「重要」の割合が高い。

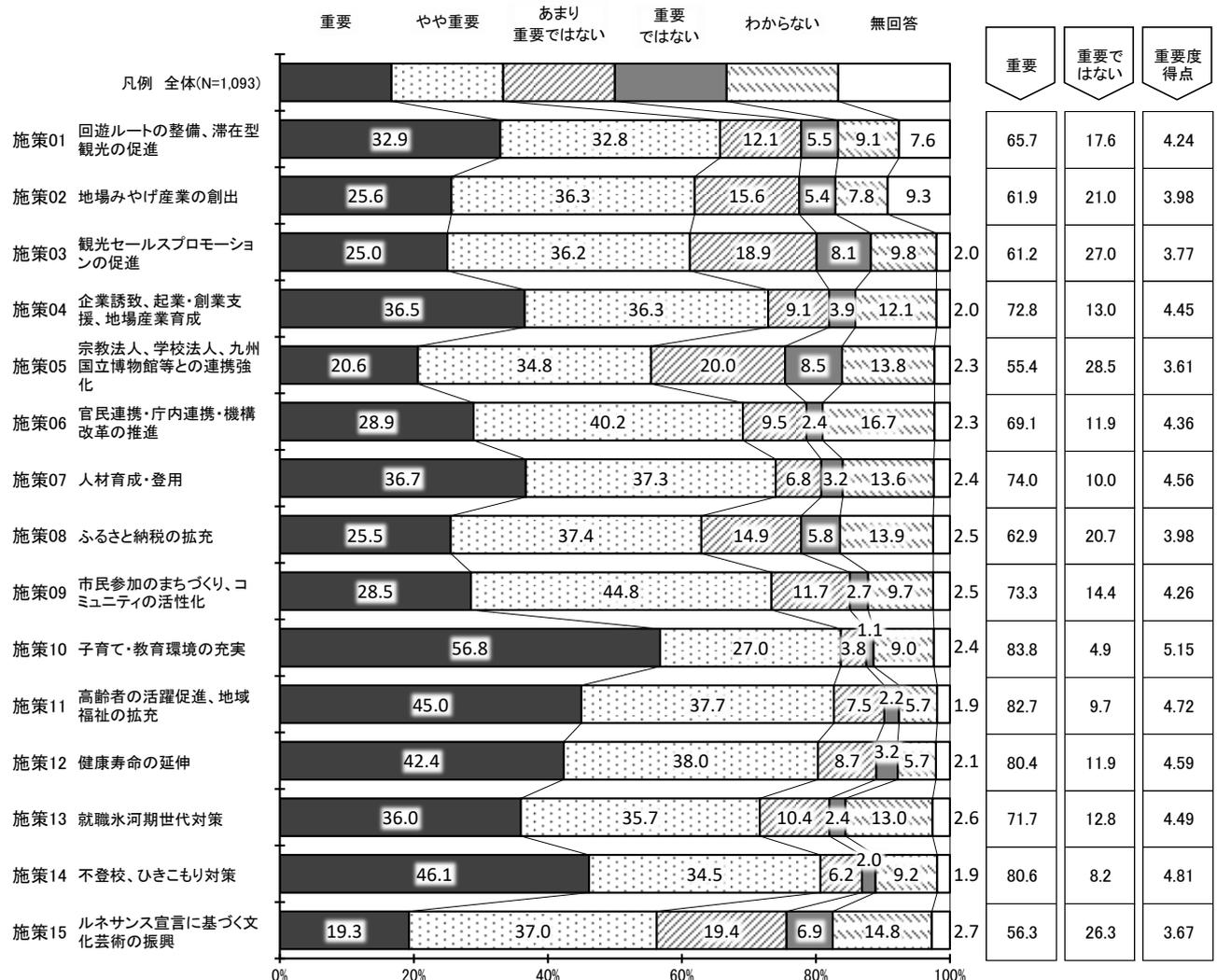
まちづくりビジョンに掲げた 31 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは、「24 防災力の強化」（90.6%）、「23 交通環境の向上」（90.5%）、「10 子育て・教育環境の充実」（83.8%）、「11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充」（82.7%）、「20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」、「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」（同率の 82.1%）、「17 空家活用の推進」（80.9%）、「14 不登校、ひきこもり対策」（80.6%）、「12 健康寿命の延伸」（80.4%）などがある。

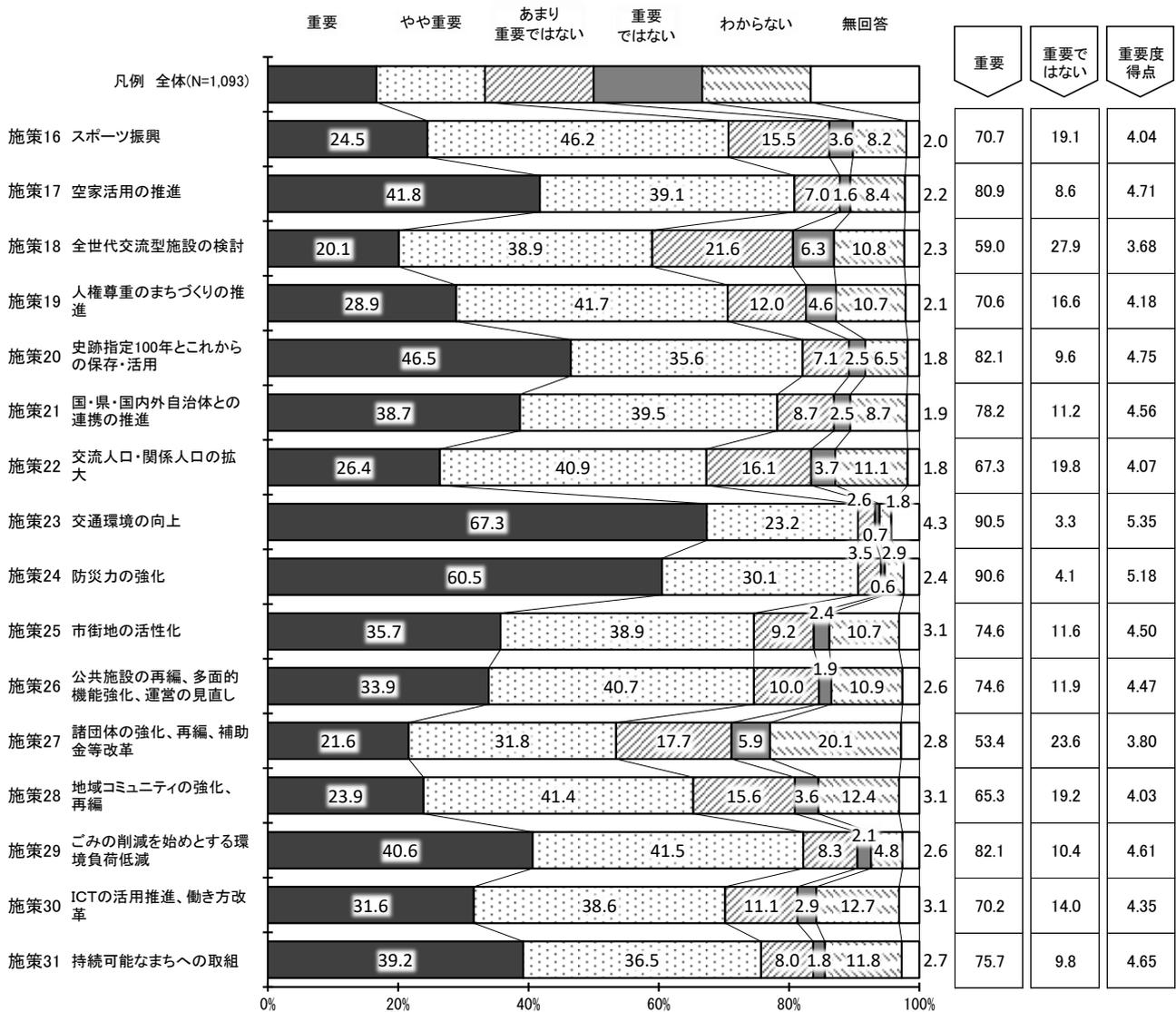
一方、『重要』と考えている割合が低いのは、「27 諸団体の強化、再編、補助金等改革」（53.4%）や「05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化」（55.4%）などがあげられる。

問 17. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の 1~31 の施策についておたずねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





■重要度の得点化の手順

重要度	得点
1. 重要	6点
2. やや重要	4点
3. あまり重要ではない	2点
4. 重要ではない	0点
5. わからない (無回答)	欠損値 (得点計算の対象外)

重要度得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$
-------	---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策23 交通環境の向上	90.5	3.3	1.8	5.35	1
施策24 防災力の強化	90.6	4.1	2.9	5.18	2
施策10 子育て・教育環境の充実	83.8	4.9	9.0	5.15	3
施策14 不登校、ひきこもり対策	80.6	8.2	9.2	4.81	4
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	82.1	9.6	6.5	4.75	5
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	82.7	9.7	5.7	4.72	6
施策17 空家活用の推進	80.9	8.6	8.4	4.71	7
施策31 持続可能なまちへの取組	75.7	9.8	11.8	4.65	8
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	82.1	10.4	4.8	4.61	9
施策12 健康寿命の延伸	80.4	11.9	5.7	4.59	10
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	78.2	11.2	8.7	4.56	11
施策07 人材育成・登用	74.0	10.0	13.6	4.56	12
施策25 市街地の活性化	74.6	11.6	10.7	4.50	13
施策13 就職氷河期世代対策	71.7	12.8	13.0	4.49	14
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	74.6	11.9	10.9	4.47	15
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	72.8	13.0	12.1	4.45	16
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	69.1	11.9	16.7	4.36	17
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	70.2	14.0	12.7	4.35	18
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	73.3	14.4	9.7	4.26	19
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	65.7	17.6	9.1	4.24	20
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	70.6	16.6	10.7	4.18	21
施策22 交流人口・関係人口の拡大	67.3	19.8	11.1	4.07	22
施策16 スポーツ振興	70.7	19.1	8.2	4.04	23
施策28 地域コミュニティの強化、再編	65.3	19.2	12.4	4.03	24
施策02 地場みやげ産業の創出	61.9	21.0	7.8	3.98	25
施策08 ふるさと納税の拡充	62.9	20.7	13.9	3.98	26
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	53.4	23.6	20.1	3.80	27
施策03 観光セールスプロモーションの促進	61.2	27.0	9.8	3.77	28
施策18 全世代交流型施設の検討	59.0	27.9	10.8	3.68	29
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	56.3	26.3	14.8	3.67	30
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	55.4	28.5	13.8	3.61	31

重要度  
【平均値】  
4.37

『重要』 = 「重要」 + 「やや重要」  
『重要ではない』 = 「あまり重要ではない」 + 「重要ではない」

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

① 性別

重要度の平均値は4.37となり、その内訳をみると男性が4.31に対し女性は4.42で、女性の方が高くなっている。

女性に対し、男性の方が重要度の高い施策は5項目（施策03、04、22、25、30）で、26項目は女性の重要度が高く、女性の方が重要度の高い施策が多くある。中でも「13 就職氷河期世代対策」（男性：4.24、女性：4.69）、「14 不登校、ひきこもり対策」（男性：4.54、女性：4.99）の差が、同じ0.45で最も大きい。男性では、「03 観光セールスプロモーションの促進」（男性：3.87、女性：3.69）の差が0.18で大きくなっている。

② 年齢別

第1位をみると、20歳代から40歳代までは「10 子育て・教育環境の充実」で、50歳代以上は「23 交通環境の向上」となっている。

③ 地域別

第1位をみると、太宰府南小学校区と水城小学校区を除くすべての小学校区で「23 交通環境の向上」となっている。太宰府南小学校区と水城小学校区では「10 子育て・教育環境の充実」が第1位となっている。

第3節 本市の行政運営について

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
施策23 交通環境の向上	5.35 <b>1</b>	5.22 <b>1</b>	5.45 <b>1</b>	5.29 <b>3</b>	5.32 <b>2</b>	5.37 <b>2</b>	5.34 <b>1</b>	5.32 <b>1</b>	5.39 <b>1</b>
施策24 防災力の強化	5.18 <b>2</b>	4.99 <b>3</b>	5.31 <b>2</b>	5.35 <b>2</b>	4.74 <b>3</b>	5.23 <b>3</b>	5.14 <b>2</b>	5.19 <b>2</b>	5.31 <b>2</b>
施策10 子育て・教育環境の充実	5.15 <b>3</b>	5.13 <b>2</b>	5.15 <b>3</b>	5.38 <b>1</b>	5.47 <b>1</b>	5.39 <b>1</b>	5.03 <b>3</b>	4.91 <b>3</b>	5.00 <b>3</b>
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.81 <b>4</b>	4.54 <b>8</b>	4.99 <b>4</b>	4.76 <b>7</b>	4.67 <b>4</b>	4.81 <b>4</b>	4.71 <b>8</b>	4.75 <b>6</b>	4.99 <b>4</b>
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.75 <b>5</b>	4.71 <b>4</b>	4.77 <b>6</b>	4.81 <b>5</b>	4.55 <b>6</b>	4.69 <b>7</b>	4.82 <b>6</b>	4.75 <b>7</b>	4.81 <b>7</b>
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.72 <b>6</b>	4.58 <b>6</b>	4.81 <b>5</b>	4.71 <b>8</b>	4.07 <b>17</b>	4.78 <b>5</b>	4.92 <b>4</b>	4.80 <b>4</b>	4.74 <b>11</b>
施策17 空家活用の推進	4.71 <b>7</b>	4.69 <b>5</b>	4.73 <b>7</b>	4.28 <b>17</b>	4.60 <b>5</b>	4.62 <b>11</b>	4.87 <b>5</b>	4.59 <b>8</b>	4.89 <b>6</b>
施策31 持続可能なまちへの取組	4.65 <b>8</b>	4.54 <b>7</b>	4.71 <b>8</b>	4.87 <b>4</b>	4.51 <b>7</b>	4.64 <b>10</b>	4.69 <b>9</b>	4.43 <b>11</b>	4.75 <b>10</b>
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.61 <b>9</b>	4.47 <b>14</b>	4.70 <b>9</b>	4.46 <b>12</b>	3.95 <b>20</b>	4.46 <b>14</b>	4.61 <b>11</b>	4.78 <b>5</b>	4.89 <b>5</b>
施策12 健康寿命の延伸	4.59 <b>10</b>	4.48 <b>13</b>	4.67 <b>11</b>	4.50 <b>11</b>	4.16 <b>15</b>	4.38 <b>19</b>	4.78 <b>7</b>	4.58 <b>9</b>	4.79 <b>8</b>
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.56 <b>11</b>	4.49 <b>12</b>	4.61 <b>12</b>	4.77 <b>6</b>	4.33 <b>13</b>	4.60 <b>13</b>	4.53 <b>13</b>	4.49 <b>10</b>	4.65 <b>13</b>
施策07 人材育成・登用	4.56 <b>12</b>	4.53 <b>9</b>	4.58 <b>13</b>	4.53 <b>10</b>	4.30 <b>14</b>	4.72 <b>6</b>	4.51 <b>15</b>	4.36 <b>13</b>	4.75 <b>9</b>
施策25 市街地の活性化	4.50 <b>13</b>	4.53 <b>10</b>	4.47 <b>15</b>	4.45 <b>13</b>	4.36 <b>11</b>	4.61 <b>12</b>	4.52 <b>14</b>	4.32 <b>16</b>	4.60 <b>14</b>
施策13 就職氷河期世代対策	4.49 <b>14</b>	4.24 <b>18</b>	4.69 <b>10</b>	4.28 <b>17</b>	4.35 <b>12</b>	4.67 <b>9</b>	4.44 <b>16</b>	4.20 <b>20</b>	4.73 <b>12</b>
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.47 <b>15</b>	4.43 <b>15</b>	4.48 <b>14</b>	4.67 <b>9</b>	4.47 <b>9</b>	4.42 <b>17</b>	4.35 <b>18</b>	4.40 <b>12</b>	4.58 <b>16</b>
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.45 <b>16</b>	4.51 <b>11</b>	4.40 <b>16</b>	4.00 <b>26</b>	4.38 <b>10</b>	4.67 <b>8</b>	4.67 <b>10</b>	4.35 <b>14</b>	4.33 <b>19</b>
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.36 <b>17</b>	4.34 <b>17</b>	4.38 <b>17</b>	4.20 <b>20</b>	3.92 <b>21</b>	4.46 <b>15</b>	4.29 <b>19</b>	4.35 <b>15</b>	4.60 <b>15</b>
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.35 <b>18</b>	4.40 <b>16</b>	4.28 <b>20</b>	4.37 <b>15</b>	4.48 <b>8</b>	4.43 <b>16</b>	4.57 <b>12</b>	4.11 <b>21</b>	4.17 <b>22</b>
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.26 <b>19</b>	4.12 <b>21</b>	4.36 <b>18</b>	4.12 <b>24</b>	3.82 <b>23</b>	4.25 <b>21</b>	4.43 <b>17</b>	4.29 <b>17</b>	4.34 <b>18</b>
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.24 <b>20</b>	4.22 <b>19</b>	4.25 <b>21</b>	4.41 <b>14</b>	4.09 <b>16</b>	4.42 <b>18</b>	4.22 <b>21</b>	4.21 <b>19</b>	4.15 <b>23</b>
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.18 <b>21</b>	4.01 <b>23</b>	4.29 <b>19</b>	4.36 <b>16</b>	4.00 <b>19</b>	3.95 <b>25</b>	4.25 <b>20</b>	4.22 <b>18</b>	4.26 <b>20</b>
施策22 交流人口・関係人口の拡大	4.07 <b>22</b>	4.12 <b>20</b>	4.01 <b>25</b>	4.15 <b>22</b>	3.91 <b>22</b>	4.28 <b>20</b>	4.06 <b>24</b>	3.90 <b>25</b>	4.08 <b>24</b>
施策16 スポーツ振興	4.04 <b>23</b>	4.04 <b>22</b>	4.05 <b>24</b>	4.15 <b>23</b>	3.66 <b>25</b>	4.02 <b>24</b>	4.05 <b>25</b>	4.01 <b>23</b>	4.21 <b>21</b>
施策28 地域コミュニティの強化、再編	4.03 <b>24</b>	3.98 <b>24</b>	4.06 <b>23</b>	3.75 <b>27</b>	3.47 <b>27</b>	3.89 <b>27</b>	4.01 <b>27</b>	4.06 <b>22</b>	4.43 <b>17</b>
施策02 地場みやげ産業の創出	3.98 <b>25</b>	3.97 <b>25</b>	3.98 <b>26</b>	4.06 <b>25</b>	3.65 <b>26</b>	4.19 <b>22</b>	4.11 <b>23</b>	3.95 <b>24</b>	3.88 <b>28</b>
施策08 ふるさと納税の拡充	3.98 <b>26</b>	3.81 <b>27</b>	4.13 <b>22</b>	4.25 <b>19</b>	4.05 <b>18</b>	4.19 <b>23</b>	4.12 <b>22</b>	3.70 <b>28</b>	3.76 <b>30</b>
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.80 <b>27</b>	3.73 <b>28</b>	3.83 <b>27</b>	4.17 <b>21</b>	3.69 <b>24</b>	3.66 <b>29</b>	3.85 <b>28</b>	3.54 <b>31</b>	3.96 <b>25</b>
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.77 <b>28</b>	3.87 <b>26</b>	3.69 <b>30</b>	3.59 <b>30</b>	3.33 <b>28</b>	3.92 <b>26</b>	4.05 <b>26</b>	3.77 <b>26</b>	3.68 <b>31</b>
施策18 全世代交流型施設の検討	3.68 <b>29</b>	3.55 <b>31</b>	3.77 <b>28</b>	3.44 <b>31</b>	3.18 <b>29</b>	3.76 <b>28</b>	3.69 <b>30</b>	3.64 <b>29</b>	3.92 <b>27</b>
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.67 <b>30</b>	3.64 <b>29</b>	3.69 <b>29</b>	3.61 <b>29</b>	3.03 <b>31</b>	3.64 <b>30</b>	3.74 <b>29</b>	3.64 <b>30</b>	3.95 <b>26</b>
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.61 <b>31</b>	3.58 <b>30</b>	3.63 <b>31</b>	3.61 <b>28</b>	3.14 <b>30</b>	3.56 <b>31</b>	3.47 <b>31</b>	3.75 <b>27</b>	3.87 <b>29</b>
平均	4.37 -	4.31 -	4.42 -	4.37 -	4.12 -	4.41 -	4.41 -	4.30 -	4.47 -

第2章 調査結果の分析

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからな い
施策23 交通環境の向上	5.35 <b>1</b>	5.59 <b>1</b>	5.46 <b>1</b>	5.43 <b>2</b>	5.09 <b>3</b>	5.37 <b>1</b>	5.34 <b>1</b>	5.35 <b>1</b>	5.26 <b>1</b>
施策24 防災力の強化	5.18 <b>2</b>	5.16 <b>3</b>	5.21 <b>2</b>	5.22 <b>3</b>	5.19 <b>2</b>	5.08 <b>3</b>	5.24 <b>2</b>	5.23 <b>2</b>	5.00 <b>3</b>
施策10 子育て・教育環境の充実	5.15 <b>3</b>	5.20 <b>2</b>	4.98 <b>3</b>	5.54 <b>1</b>	5.33 <b>1</b>	5.09 <b>2</b>	5.20 <b>3</b>	5.05 <b>3</b>	4.58 <b>8</b>
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.81 <b>4</b>	4.89 <b>4</b>	4.79 <b>5</b>	4.84 <b>4</b>	4.95 <b>4</b>	4.78 <b>4</b>	4.74 <b>7</b>	4.85 <b>4</b>	4.39 <b>10</b>
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.75 <b>5</b>	4.84 <b>5</b>	4.77 <b>7</b>	4.74 <b>8</b>	4.79 <b>7</b>	4.63 <b>6</b>	4.86 <b>4</b>	4.56 <b>9</b>	4.89 <b>4</b>
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.72 <b>6</b>	4.80 <b>7</b>	4.92 <b>4</b>	4.72 <b>9</b>	4.56 <b>13</b>	4.59 <b>7</b>	4.74 <b>6</b>	4.75 <b>5</b>	4.70 <b>6</b>
施策17 空家活用の推進	4.71 <b>7</b>	4.81 <b>6</b>	4.73 <b>8</b>	4.54 <b>17</b>	4.89 <b>5</b>	4.41 <b>16</b>	4.81 <b>5</b>	4.51 <b>12</b>	5.03 <b>2</b>
施策31 持続可能なまちへの取組	4.65 <b>8</b>	4.65 <b>9</b>	4.71 <b>9</b>	4.80 <b>5</b>	4.70 <b>9</b>	4.59 <b>8</b>	4.70 <b>9</b>	4.52 <b>11</b>	4.39 <b>10</b>
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.61 <b>9</b>	4.63 <b>10</b>	4.63 <b>10</b>	4.57 <b>15</b>	4.62 <b>10</b>	4.58 <b>9</b>	4.66 <b>11</b>	4.67 <b>6</b>	4.32 <b>13</b>
施策12 健康寿命の延伸	4.59 <b>10</b>	4.79 <b>8</b>	4.78 <b>6</b>	4.56 <b>16</b>	4.28 <b>20</b>	4.42 <b>15</b>	4.73 <b>8</b>	4.60 <b>7</b>	4.74 <b>5</b>
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.56 <b>11</b>	4.45 <b>13</b>	4.49 <b>12</b>	4.76 <b>7</b>	4.62 <b>11</b>	4.65 <b>5</b>	4.56 <b>14</b>	4.52 <b>10</b>	4.41 <b>9</b>
施策07 人材育成・登用	4.56 <b>12</b>	4.48 <b>12</b>	4.48 <b>13</b>	4.68 <b>10</b>	4.74 <b>8</b>	4.39 <b>17</b>	4.70 <b>10</b>	4.58 <b>8</b>	4.17 <b>16</b>
施策25 市街地の活性化	4.50 <b>13</b>	4.40 <b>15</b>	4.58 <b>11</b>	4.79 <b>6</b>	4.82 <b>6</b>	4.44 <b>13</b>	4.30 <b>20</b>	4.37 <b>15</b>	4.16 <b>17</b>
施策13 就職氷河期世代対策	4.49 <b>14</b>	4.37 <b>16</b>	4.47 <b>14</b>	4.65 <b>12</b>	4.51 <b>15</b>	4.51 <b>10</b>	4.59 <b>13</b>	4.30 <b>17</b>	4.59 <b>7</b>
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.47 <b>15</b>	4.55 <b>11</b>	4.39 <b>16</b>	4.57 <b>14</b>	4.51 <b>14</b>	4.44 <b>12</b>	4.49 <b>17</b>	4.42 <b>14</b>	4.19 <b>15</b>
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.45 <b>16</b>	4.24 <b>19</b>	4.30 <b>17</b>	4.67 <b>11</b>	4.60 <b>12</b>	4.45 <b>11</b>	4.60 <b>12</b>	4.48 <b>13</b>	4.10 <b>18</b>
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.36 <b>17</b>	4.18 <b>20</b>	4.45 <b>15</b>	4.37 <b>18</b>	4.43 <b>16</b>	4.30 <b>19</b>	4.55 <b>15</b>	4.32 <b>16</b>	4.07 <b>19</b>
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.35 <b>18</b>	4.34 <b>17</b>	4.27 <b>19</b>	4.59 <b>13</b>	4.43 <b>17</b>	4.33 <b>18</b>	4.51 <b>16</b>	4.06 <b>21</b>	4.23 <b>14</b>
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.26 <b>19</b>	4.16 <b>21</b>	4.28 <b>18</b>	4.23 <b>21</b>	4.31 <b>19</b>	4.43 <b>14</b>	4.45 <b>19</b>	4.08 <b>20</b>	3.91 <b>20</b>
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.24 <b>20</b>	4.29 <b>18</b>	4.06 <b>22</b>	3.97 <b>27</b>	4.39 <b>18</b>	4.30 <b>19</b>	4.47 <b>18</b>	4.15 <b>18</b>	3.84 <b>23</b>
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.18 <b>21</b>	4.41 <b>14</b>	4.09 <b>21</b>	4.35 <b>19</b>	4.18 <b>23</b>	3.92 <b>24</b>	4.22 <b>21</b>	4.06 <b>22</b>	4.33 <b>12</b>
施策22 交流人口・関係人口の拡大	4.07 <b>22</b>	3.94 <b>25</b>	4.13 <b>20</b>	4.27 <b>20</b>	4.19 <b>22</b>	3.97 <b>23</b>	4.11 <b>24</b>	4.03 <b>23</b>	3.81 <b>24</b>
施策16 スポーツ振興	4.04 <b>23</b>	4.00 <b>23</b>	3.95 <b>25</b>	4.07 <b>25</b>	4.17 <b>25</b>	4.02 <b>21</b>	4.13 <b>23</b>	3.97 <b>25</b>	3.90 <b>21</b>
施策28 地域コミュニティの強化、再編	4.03 <b>24</b>	3.89 <b>26</b>	4.06 <b>22</b>	4.12 <b>24</b>	4.10 <b>26</b>	4.00 <b>22</b>	4.07 <b>25</b>	4.03 <b>24</b>	3.86 <b>22</b>
施策02 地場みやげ産業の創出	3.98 <b>25</b>	4.07 <b>22</b>	3.67 <b>30</b>	4.13 <b>22</b>	4.18 <b>24</b>	3.79 <b>26</b>	4.18 <b>22</b>	3.88 <b>26</b>	3.78 <b>25</b>
施策08 ふるさと納税の拡充	3.98 <b>26</b>	4.00 <b>23</b>	3.82 <b>27</b>	4.13 <b>23</b>	4.27 <b>21</b>	3.87 <b>25</b>	3.82 <b>28</b>	4.10 <b>19</b>	3.57 <b>28</b>
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.80 <b>27</b>	3.78 <b>28</b>	3.90 <b>26</b>	4.05 <b>26</b>	3.88 <b>28</b>	3.55 <b>29</b>	3.86 <b>27</b>	3.69 <b>29</b>	3.54 <b>29</b>
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.77 <b>28</b>	3.43 <b>31</b>	3.73 <b>28</b>	3.86 <b>28</b>	3.89 <b>27</b>	3.77 <b>27</b>	3.93 <b>26</b>	3.83 <b>27</b>	3.69 <b>26</b>
施策18 全世代交流型施設の検討	3.68 <b>29</b>	3.51 <b>30</b>	3.71 <b>29</b>	3.78 <b>29</b>	3.83 <b>29</b>	3.54 <b>30</b>	3.68 <b>30</b>	3.72 <b>28</b>	3.59 <b>27</b>
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.67 <b>30</b>	3.76 <b>29</b>	3.61 <b>31</b>	3.65 <b>30</b>	3.78 <b>30</b>	3.57 <b>28</b>	3.78 <b>29</b>	3.55 <b>30</b>	3.38 <b>30</b>
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.61 <b>31</b>	3.84 <b>27</b>	3.96 <b>24</b>	3.44 <b>31</b>	3.57 <b>31</b>	3.52 <b>31</b>	3.58 <b>31</b>	3.53 <b>31</b>	3.21 <b>31</b>
平均	4.37 -	4.37 -	4.37 -	4.45 -	4.45 -	4.30 -	4.44 -	4.31 -	4.18 -

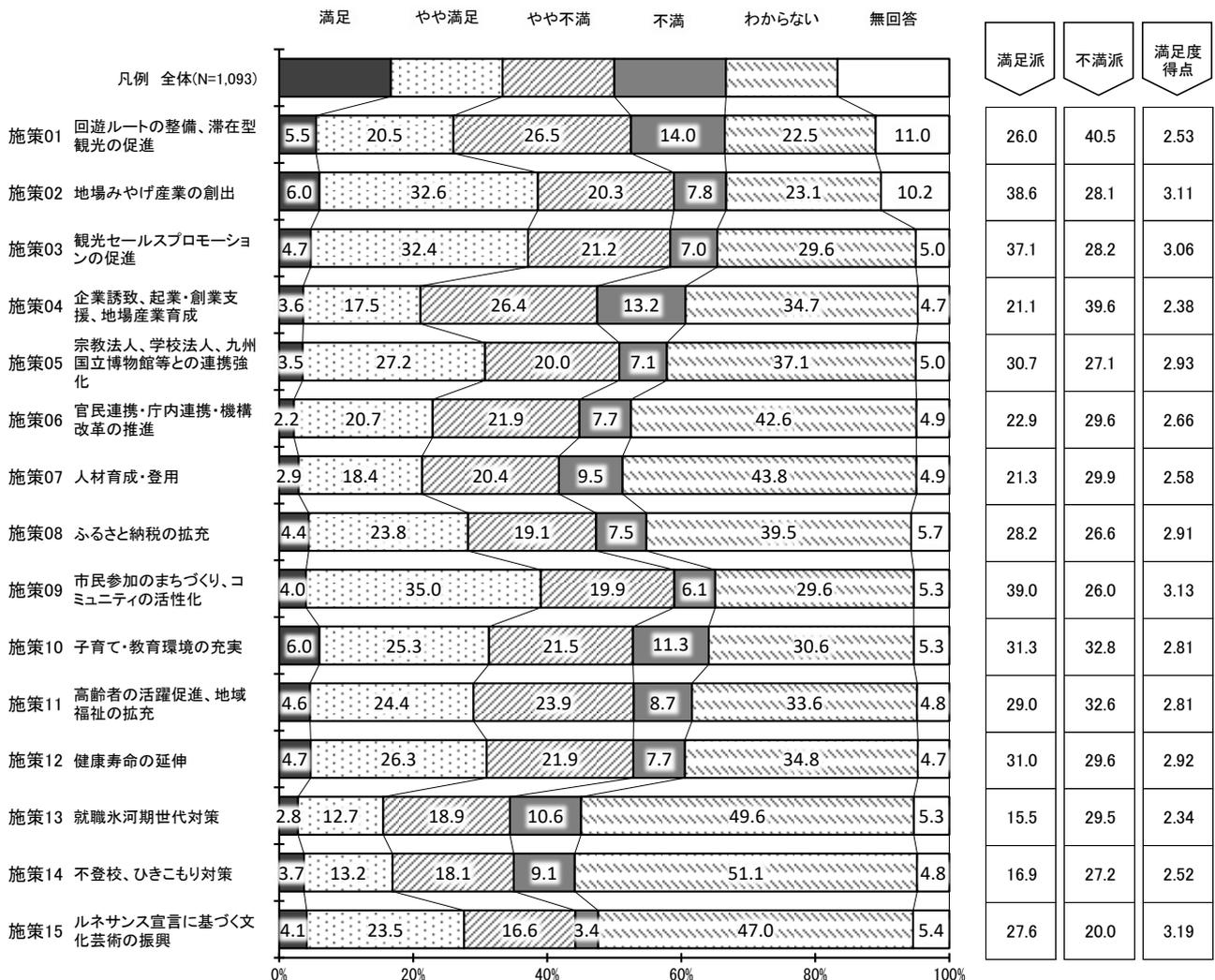
(2) 施策の満足度(31 施策)(問 17)

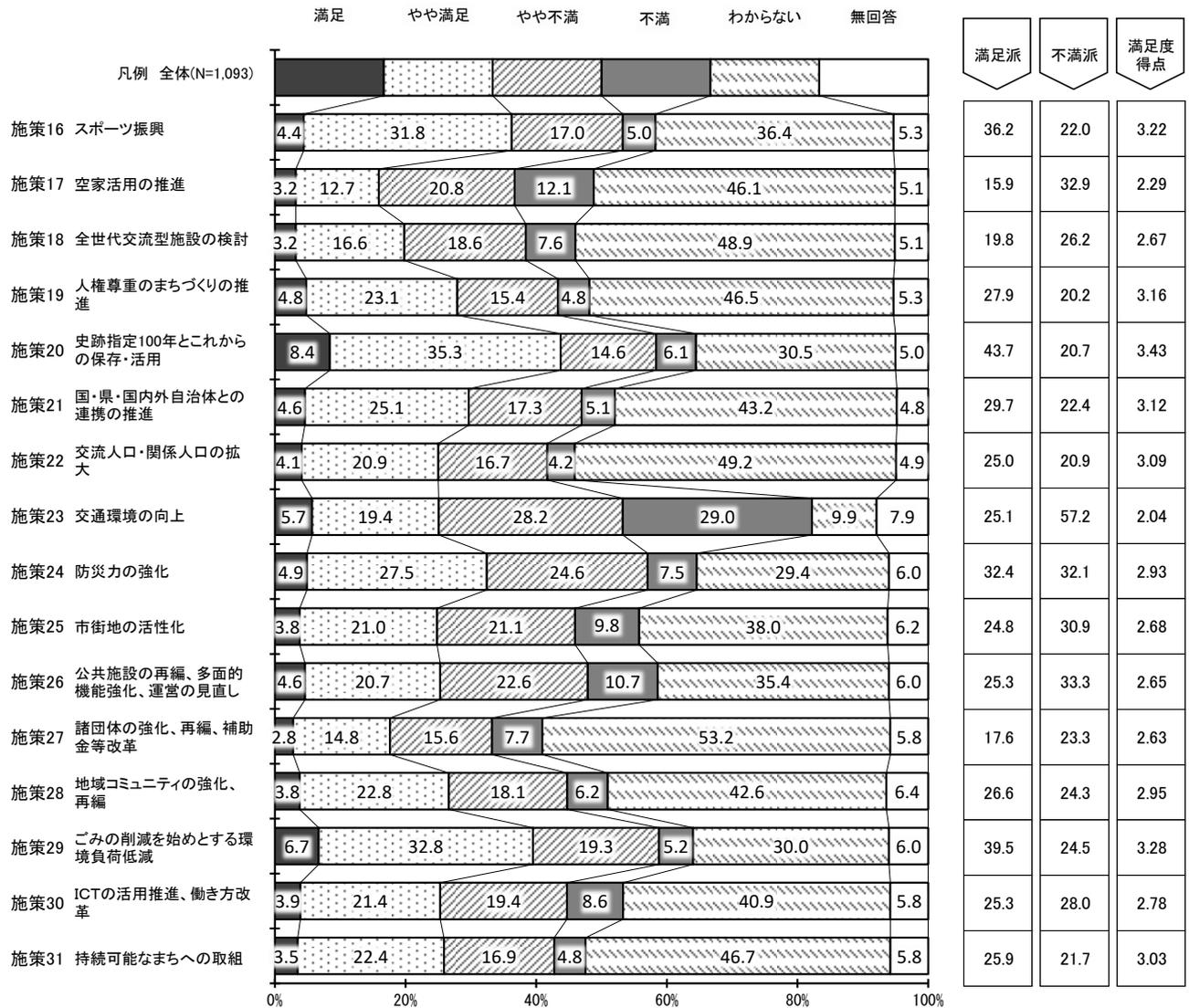
●「施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」、「施策 29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」、「施策 09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化」、「施策 02 地場みやげ産業の創出」などで『満足派』の割合が高い。

まちづくりビジョンに掲げた 31 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」（43.7%）、「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」（39.5%）、「09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化」（39.0%）、「02 地場みやげ産業の創出」（38.6%）、「03 観光セールスプロモーションの促進」（37.1%）、「16 スポーツ振興」（36.2%）などがある。

一方、『不満派』（「やや不満」と「不満」の合計）の割合が高い施策としては、「23 交通環境の向上」（57.2%）や「01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進」（40.5%）、「04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成」（39.6%）、「17 空家活用の推進」（32.9%）、「10 子育て・教育環境の充実」（32.8%）などがあげられる。

問 17. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の 1～31 の施策についておたずねします。  
 (B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。  
 あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





■ 満足度の得点化の手順

満足度	得点
1. 満足	6点
2. やや満足	4点
3. やや不満	2点
4. 不満	0点
5. わからない (無回答)	欠損値 (得点計算の対象外)

$$\text{満足度得点} = \frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$$

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	43.7	20.7	30.5	3.43	1
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	39.5	24.5	30.0	3.28	2
施策16 スポーツ振興	36.2	22.0	36.4	3.22	3
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	27.6	20.0	47.0	3.19	4
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	27.9	20.2	46.5	3.16	5
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	39.0	26.0	29.6	3.13	6
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	29.7	22.4	43.2	3.12	7
施策02 地場みやげ産業の創出	38.6	28.1	23.1	3.11	8
施策22 交流人口・関係人口の拡大	25.0	20.9	49.2	3.09	9
施策03 観光セールスプロモーションの促進	37.1	28.2	29.6	3.06	10
施策31 持続可能なまちへの取組	25.9	21.7	46.7	3.03	11
施策28 地域コミュニティの強化、再編	26.6	24.3	42.6	2.95	12
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	30.7	27.1	37.1	2.93	13
施策24 防災力の強化	32.4	32.1	29.4	2.93	14
施策12 健康寿命の延伸	31.0	29.6	34.8	2.92	15
施策08 ふるさと納税の拡充	28.2	26.6	39.5	2.91	16
施策10 子育て・教育環境の充実	31.3	32.8	30.6	2.81	17
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	29.0	32.6	33.6	2.81	18
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	25.3	28.0	40.9	2.78	19
施策25 市街地の活性化	24.8	30.9	38.0	2.68	20
施策18 全世代交流型施設の検討	19.8	26.2	48.9	2.67	21
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	22.9	29.6	42.6	2.66	22
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	25.3	33.3	35.4	2.65	23
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	17.6	23.3	53.2	2.63	24
施策07 人材育成・登用	21.3	29.9	43.8	2.58	25
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	26.0	40.5	22.5	2.53	26
施策14 不登校、ひきこもり対策	16.9	27.2	51.1	2.52	27
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	21.1	39.6	34.7	2.38	28
施策13 就職氷河期世代対策	15.5	29.5	49.6	2.34	29
施策17 空家活用の推進	15.9	32.9	46.1	2.29	30
施策23 交通環境の向上	25.1	57.2	9.9	2.04	31

満足度  
【平均値】  
2.83

『満足』 = 「満足」 + 「やや満足」

『不満』 = 「やや不満」 + 「不満」

●『満足』『不満』『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

### ① 性別

満足度の平均値は2.83となり、その内訳をみると男性が2.80に対し女性は2.89で、女性の方が高くなっている。

女性に対し、男性の方が満足度の高い施策は7項目（施策01、11、12、18、19、23、24）で、23項目は女性の方が満足度は高くなる。なお、1項目（施策17）については男女共に2.29と同数となっている。女性の満足度が高い項目のうち、「30 ICTの活用推進、働き方改革」（男性：2.58、女性：3.00）の差が0.42で最も大きい。男性では、「23 交通環境の向上」（男性：2.13、女性：1.98）の差が0.15で男性の満足度が高く差も大きくなっている。

### ② 年齢別

第1位をみると、20歳代では「02 地場みやげ産業の創出」、30歳代と70歳代以上で「施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」、40歳代から60歳代で「20 史跡指定100年とこれからの保存・活用」が高くなっている。

### ③ 地域別

第1位をみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区以外の小学校区で「20 史跡指定100年とこれからの保存・活用」となり、水城西小学校区と太宰府西小学校区では「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」となっている。

第2章 調査結果の分析

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	3.43 <b>1</b>	3.35 <b>1</b>	3.50 <b>1</b>	4.00 <b>5</b>	3.52 <b>2</b>	3.56 <b>1</b>	3.62 <b>1</b>	3.06 <b>1</b>	3.21 <b>2</b>
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	3.28 <b>2</b>	3.24 <b>3</b>	3.33 <b>2</b>	3.84 <b>8</b>	3.55 <b>1</b>	3.22 <b>11</b>	3.14 <b>6</b>	3.06 <b>2</b>	3.31 <b>1</b>
施策16 スポーツ振興	3.22 <b>3</b>	3.15 <b>4</b>	3.30 <b>3</b>	4.10 <b>3</b>	3.43 <b>4</b>	3.15 <b>14</b>	3.16 <b>5</b>	2.99 <b>3</b>	3.16 <b>3</b>
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.19 <b>4</b>	3.10 <b>5</b>	3.27 <b>4</b>	4.06 <b>4</b>	3.40 <b>5</b>	3.30 <b>5</b>	3.25 <b>3</b>	2.84 <b>7</b>	2.94 <b>4</b>
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	3.16 <b>5</b>	3.25 <b>2</b>	3.13 <b>10</b>	4.00 <b>5</b>	3.16 <b>10</b>	3.45 <b>2</b>	3.08 <b>8</b>	2.91 <b>4</b>	2.92 <b>5</b>
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	3.13 <b>6</b>	3.05 <b>7</b>	3.24 <b>6</b>	3.80 <b>11</b>	3.26 <b>7</b>	3.37 <b>3</b>	3.31 <b>2</b>	2.75 <b>8</b>	2.81 <b>11</b>
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	3.12 <b>7</b>	3.05 <b>6</b>	3.22 <b>7</b>	4.14 <b>2</b>	3.02 <b>15</b>	3.28 <b>9</b>	3.19 <b>4</b>	2.86 <b>6</b>	2.86 <b>8</b>
施策02 地場みやげ産業の創出	3.11 <b>8</b>	2.91 <b>14</b>	3.26 <b>5</b>	4.23 <b>1</b>	3.34 <b>6</b>	3.29 <b>8</b>	2.97 <b>11</b>	2.87 <b>5</b>	2.78 <b>12</b>
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.09 <b>9</b>	3.01 <b>10</b>	3.18 <b>8</b>	3.81 <b>10</b>	3.16 <b>11</b>	3.22 <b>12</b>	3.13 <b>7</b>	2.74 <b>11</b>	2.83 <b>9</b>
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.06 <b>10</b>	3.01 <b>9</b>	3.11 <b>11</b>	3.83 <b>9</b>	3.44 <b>3</b>	3.29 <b>7</b>	2.93 <b>15</b>	2.66 <b>16</b>	2.86 <b>7</b>
施策31 持続可能なまちへの取組	3.03 <b>11</b>	2.95 <b>12</b>	3.14 <b>9</b>	3.73 <b>13</b>	3.00 <b>16</b>	3.10 <b>16</b>	3.05 <b>9</b>	2.74 <b>10</b>	2.90 <b>6</b>
施策28 地域コミュニティの強化、再編	2.95 <b>12</b>	2.93 <b>13</b>	3.00 <b>14</b>	3.67 <b>15</b>	3.21 <b>9</b>	3.23 <b>10</b>	3.00 <b>10</b>	2.67 <b>15</b>	2.59 <b>17</b>
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	2.93 <b>13</b>	2.89 <b>16</b>	2.98 <b>15</b>	3.55 <b>16</b>	2.87 <b>21</b>	3.15 <b>13</b>	2.93 <b>14</b>	2.74 <b>11</b>	2.76 <b>13</b>
施策24 防災力の強化	2.93 <b>14</b>	3.02 <b>8</b>	2.88 <b>17</b>	3.48 <b>19</b>	3.16 <b>12</b>	3.14 <b>15</b>	2.97 <b>12</b>	2.63 <b>18</b>	2.67 <b>16</b>
施策12 健康寿命の延伸	2.92 <b>15</b>	2.98 <b>11</b>	2.92 <b>16</b>	3.42 <b>23</b>	3.22 <b>8</b>	3.31 <b>4</b>	2.83 <b>17</b>	2.64 <b>17</b>	2.72 <b>14</b>
施策08 ふるさと納税の拡充	2.91 <b>16</b>	2.79 <b>18</b>	3.05 <b>12</b>	3.45 <b>20</b>	3.12 <b>14</b>	3.02 <b>17</b>	2.94 <b>13</b>	2.70 <b>13</b>	2.70 <b>15</b>
施策10 子育て・教育環境の充実	2.81 <b>17</b>	2.79 <b>17</b>	2.85 <b>18</b>	3.25 <b>28</b>	2.47 <b>28</b>	2.97 <b>18</b>	2.85 <b>16</b>	2.68 <b>14</b>	2.81 <b>10</b>
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	2.81 <b>18</b>	2.91 <b>15</b>	2.77 <b>20</b>	3.49 <b>17</b>	3.14 <b>13</b>	3.30 <b>6</b>	2.76 <b>19</b>	2.60 <b>19</b>	2.41 <b>22</b>
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	2.78 <b>19</b>	2.58 <b>22</b>	3.00 <b>13</b>	3.29 <b>26</b>	2.77 <b>23</b>	2.80 <b>23</b>	2.79 <b>18</b>	2.74 <b>9</b>	2.57 <b>18</b>
施策25 市街地の活性化	2.68 <b>20</b>	2.63 <b>20</b>	2.73 <b>22</b>	3.95 <b>7</b>	2.69 <b>24</b>	2.84 <b>21</b>	2.60 <b>21</b>	2.49 <b>20</b>	2.36 <b>24</b>
施策18 全世代交流型施設の検討	2.67 <b>21</b>	2.71 <b>19</b>	2.67 <b>24</b>	3.76 <b>12</b>	2.98 <b>18</b>	2.92 <b>19</b>	2.45 <b>26</b>	2.16 <b>27</b>	2.45 <b>21</b>
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	2.66 <b>22</b>	2.56 <b>24</b>	2.79 <b>19</b>	3.45 <b>20</b>	2.79 <b>22</b>	2.83 <b>22</b>	2.59 <b>22</b>	2.40 <b>22</b>	2.53 <b>19</b>
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	2.65 <b>23</b>	2.57 <b>23</b>	2.75 <b>21</b>	3.28 <b>27</b>	2.59 <b>26</b>	2.73 <b>24</b>	2.76 <b>20</b>	2.40 <b>23</b>	2.49 <b>20</b>
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	2.63 <b>24</b>	2.59 <b>21</b>	2.69 <b>23</b>	3.42 <b>24</b>	2.96 <b>19</b>	2.85 <b>20</b>	2.55 <b>24</b>	2.34 <b>24</b>	2.28 <b>26</b>
施策07 人材育成・登用	2.58 <b>25</b>	2.49 <b>27</b>	2.66 <b>25</b>	3.49 <b>18</b>	2.87 <b>20</b>	2.69 <b>25</b>	2.52 <b>25</b>	2.27 <b>25</b>	2.37 <b>23</b>
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	2.53 <b>26</b>	2.55 <b>25</b>	2.50 <b>27</b>	3.02 <b>30</b>	2.59 <b>25</b>	2.68 <b>26</b>	2.58 <b>23</b>	2.46 <b>21</b>	2.22 <b>27</b>
施策14 不登校、ひきこもり対策	2.52 <b>27</b>	2.54 <b>26</b>	2.55 <b>26</b>	3.38 <b>25</b>	3.00 <b>16</b>	2.58 <b>27</b>	2.44 <b>27</b>	2.05 <b>30</b>	2.33 <b>25</b>
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	2.38 <b>28</b>	2.36 <b>28</b>	2.42 <b>28</b>	3.73 <b>13</b>	2.48 <b>27</b>	2.56 <b>28</b>	2.25 <b>29</b>	2.12 <b>28</b>	2.13 <b>28</b>
施策13 就職氷河期世代対策	2.34 <b>29</b>	2.33 <b>29</b>	2.38 <b>29</b>	3.14 <b>29</b>	2.35 <b>29</b>	2.37 <b>30</b>	2.40 <b>28</b>	2.23 <b>26</b>	2.11 <b>30</b>
施策17 空家活用の推進	2.29 <b>30</b>	2.29 <b>30</b>	2.29 <b>30</b>	3.44 <b>22</b>	2.20 <b>31</b>	2.42 <b>29</b>	2.21 <b>30</b>	2.11 <b>29</b>	2.12 <b>29</b>
施策23 交通環境の向上	2.04 <b>31</b>	2.13 <b>31</b>	1.98 <b>31</b>	3.00 <b>31</b>	2.21 <b>30</b>	2.16 <b>31</b>	2.06 <b>31</b>	1.79 <b>31</b>	1.81 <b>31</b>
<b>平均</b>	<b>2.83</b> -	<b>2.80</b> -	<b>2.89</b> -	<b>3.62</b> -	<b>2.97</b> -	<b>2.99</b> -	<b>2.82</b> -	<b>2.57</b> -	<b>2.61</b> -

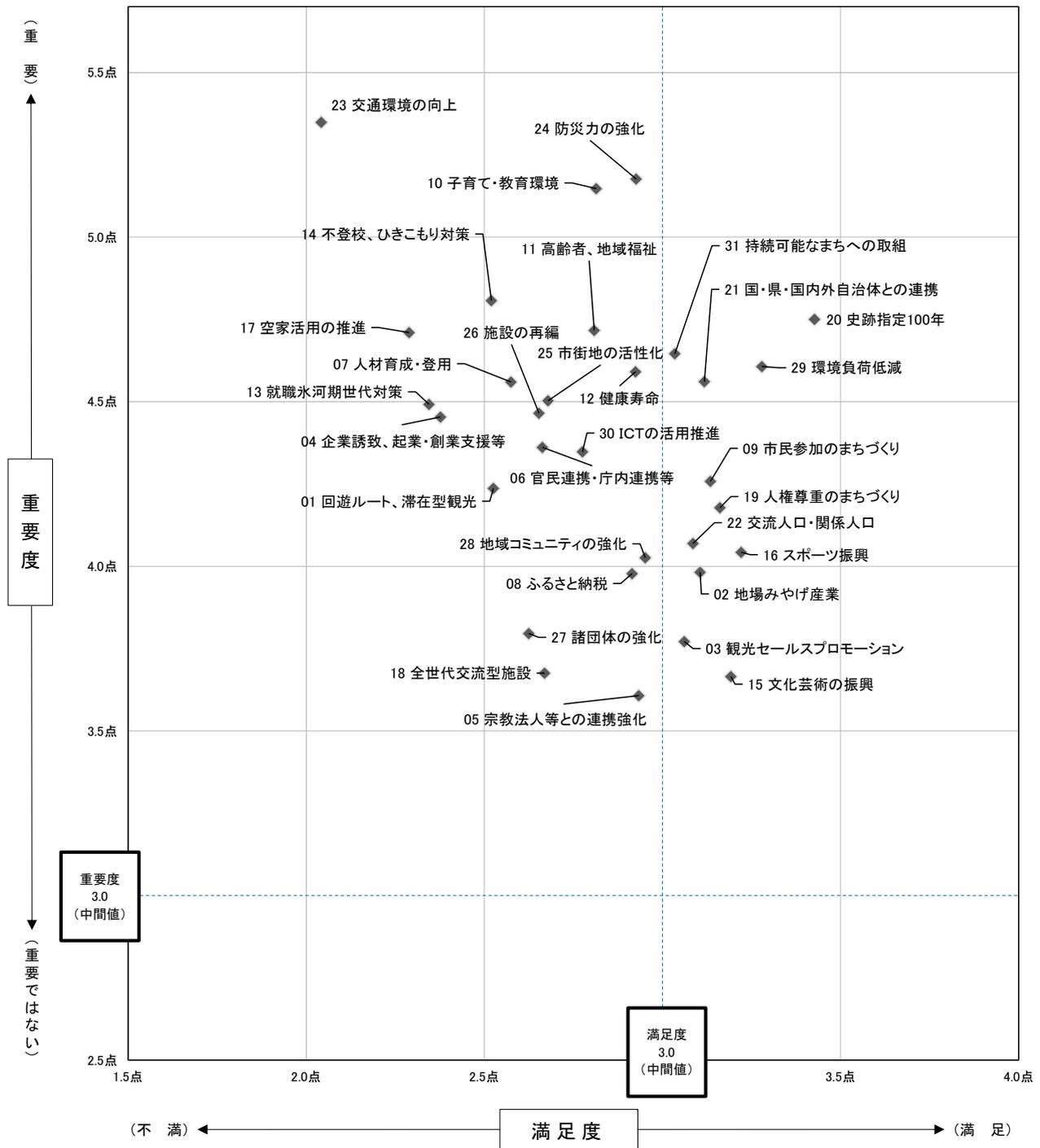
第3節 本市の行政運営について

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからな い
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	3.43 1	3.46 1	3.57 1	3.56 1	3.42 1	3.26 3	3.42 2	3.39 1	3.45 2
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	3.28 2	3.39 2	3.48 2	3.14 12	3.18 8	3.33 1	3.46 1	2.91 6	3.35 5
施策16 スポーツ振興	3.22 3	3.28 5	3.47 3	3.29 5	3.15 9	3.09 4	3.19 9	3.19 3	3.22 11
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.19 4	3.10 10	3.21 5	3.44 2	3.41 2	3.04 6	3.34 4	2.85 8	3.15 12
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	3.16 5	3.04 12	2.72 16	3.19 7	3.33 4	3.27 2	3.21 7	3.23 2	3.23 10
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	3.13 6	3.27 6	2.89 12	3.00 16	3.23 6	3.02 7	3.30 5	2.97 5	3.45 1
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	3.12 7	3.36 4	3.06 8	3.17 9	3.13 10	2.82 14	3.26 6	3.15 4	3.05 17
施策02 地場みやげ産業の創出	3.11 8	3.07 11	3.12 7	3.32 3	3.24 5	3.07 5	3.03 14	2.81 12	3.33 6
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.09 9	3.24 7	3.15 6	3.14 11	3.22 7	2.88 13	3.20 8	2.86 7	3.07 15
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.06 10	3.13 8	2.99 10	3.29 4	3.36 3	2.89 12	2.87 18	2.82 10	3.29 7
施策31 持続可能なまちへの取組	3.03 11	3.39 3	3.02 9	3.16 10	2.88 15	2.97 9	3.17 10	2.61 20	3.29 8
施策28 地域コミュニティの強化、再編	2.95 12	2.92 16	2.80 15	3.02 14	2.94 13	2.78 16	3.37 3	2.79 14	3.07 16
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	2.93 13	3.13 9	2.96 11	2.88 18	3.07 11	2.68 18	2.88 17	2.78 15	3.24 9
施策24 防災力の強化	2.93 14	2.89 17	2.70 18	3.17 8	2.77 19	2.99 8	3.12 12	2.81 11	3.14 13
施策12 健康寿命の延伸	2.92 15	2.85 18	2.63 21	3.22 6	2.97 12	2.93 11	3.07 13	2.82 9	3.05 18
施策08 ふるさと納税の拡充	2.91 16	2.99 14	3.23 4	3.12 13	2.88 14	2.79 15	2.73 23	2.80 13	3.00 21
施策10 子育て・教育環境の充実	2.81 17	3.00 13	2.63 22	2.87 19	2.76 21	2.64 20	3.15 11	2.73 17	2.82 24
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	2.81 18	2.85 19	2.64 20	3.01 15	2.78 18	2.78 17	2.90 15	2.67 19	3.02 20
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	2.78 19	2.96 15	2.83 14	2.65 23	2.77 20	2.96 10	2.70 24	2.42 28	3.03 19
施策25 市街地の活性化	2.68 20	2.55 25	2.71 17	2.69 22	2.58 26	2.67 19	2.89 16	2.45 26	3.37 3
施策18 全世代交流型施設の検討	2.67 21	2.84 20	2.22 29	2.88 17	2.86 16	2.38 26	2.85 19	2.61 21	2.86 23
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	2.66 22	2.78 21	2.63 23	2.81 21	2.82 17	2.54 25	2.70 24	2.51 24	2.63 27
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	2.65 23	2.64 23	2.32 27	2.61 24	2.63 23	2.61 21	2.74 22	2.77 16	3.13 14
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	2.63 24	2.70 22	2.69 19	2.55 26	2.58 25	2.60 22	2.76 21	2.52 23	2.61 28
施策07 人材育成・登用	2.58 25	2.49 27	2.89 13	2.43 29	2.61 24	2.55 24	2.44 27	2.70 18	2.57 29
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	2.53 26	2.32 30	2.23 28	2.83 20	2.64 22	2.57 23	2.58 26	2.44 27	2.68 25
施策14 不登校、ひきこもり対策	2.52 27	2.55 24	2.40 25	2.42 30	2.42 27	2.20 29	2.78 20	2.60 22	3.36 4
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	2.38 28	2.41 29	2.49 24	2.51 27	2.36 28	2.31 28	2.31 30	2.23 29	2.67 26
施策13 就職氷河期世代対策	2.34 29	2.51 26	2.34 26	2.47 28	2.03 31	2.08 31	2.42 28	2.46 25	3.00 21
施策17 空家活用の推進	2.29 30	2.47 28	1.94 30	2.57 25	2.31 29	2.32 27	2.39 29	2.11 30	2.30 31
施策23 交通環境の向上	2.04 31	1.79 31	1.73 31	2.07 31	2.15 30	2.08 30	2.25 31	1.95 31	2.41 30
平均	2.83 -	2.88 -	2.76 -	2.92 -	2.85 -	2.75 -	2.92 -	2.71 -	3.03 -

(3)重要度と満足度の相関関係

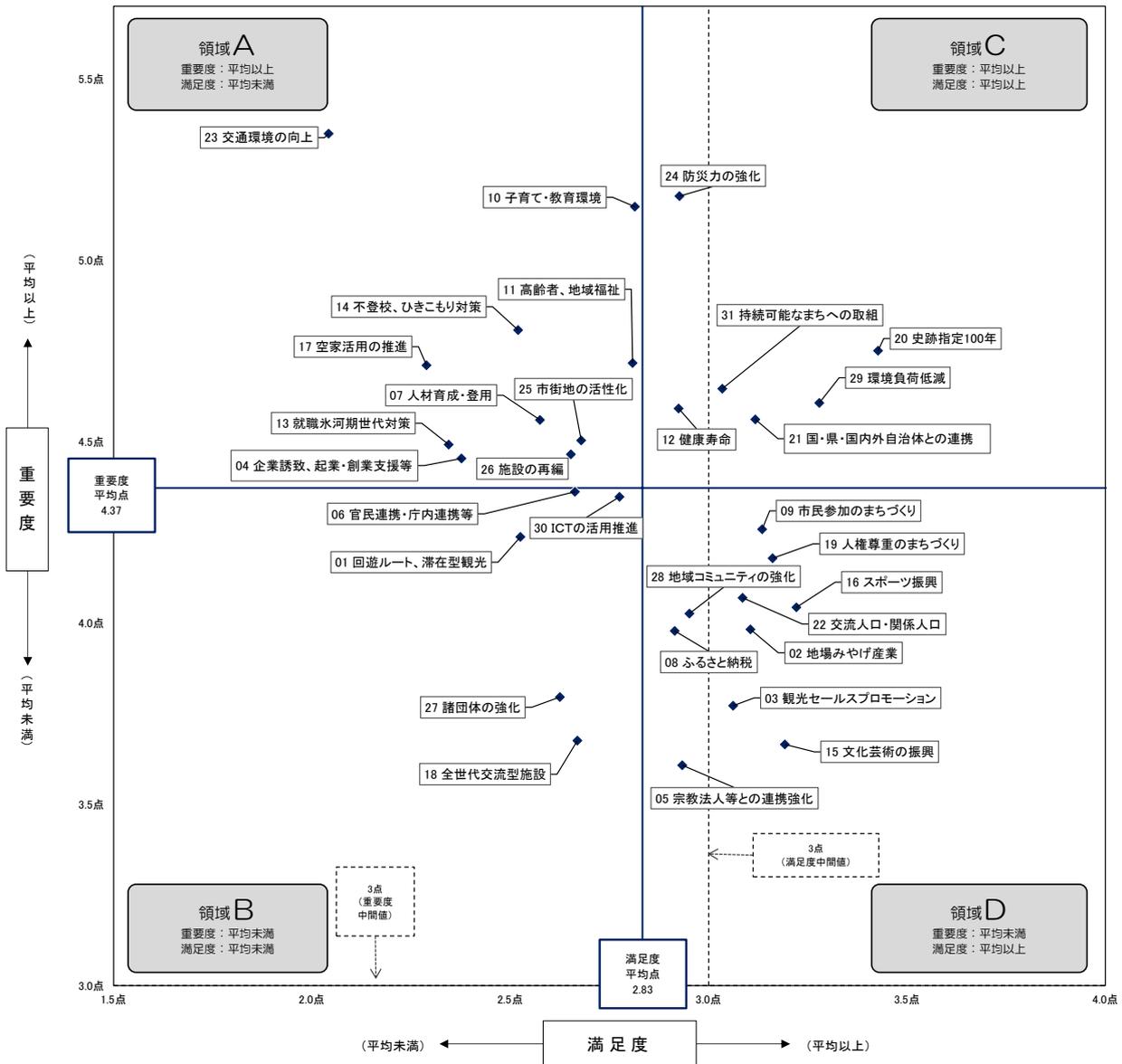
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値(3.0)を上回っている。一方、満足度が中間値(3.0)を上回っているのは、「02 地場みやげ産業」、「03 観光セールスプロモーション」、「09 市民参加のまちづくり」、「15 文化芸術の振興」、「16 スポーツ振興」、「19 人権尊重のまちづくり」、「20 史跡指定100年」、「21 国・県・国内外自治体との連携」、「22 交流人口・関係人口」、「29 環境負荷低減」、「31 持続可能なまちへの取組」の11施策となっている。



(4)重要度と満足度の領域別相関関係

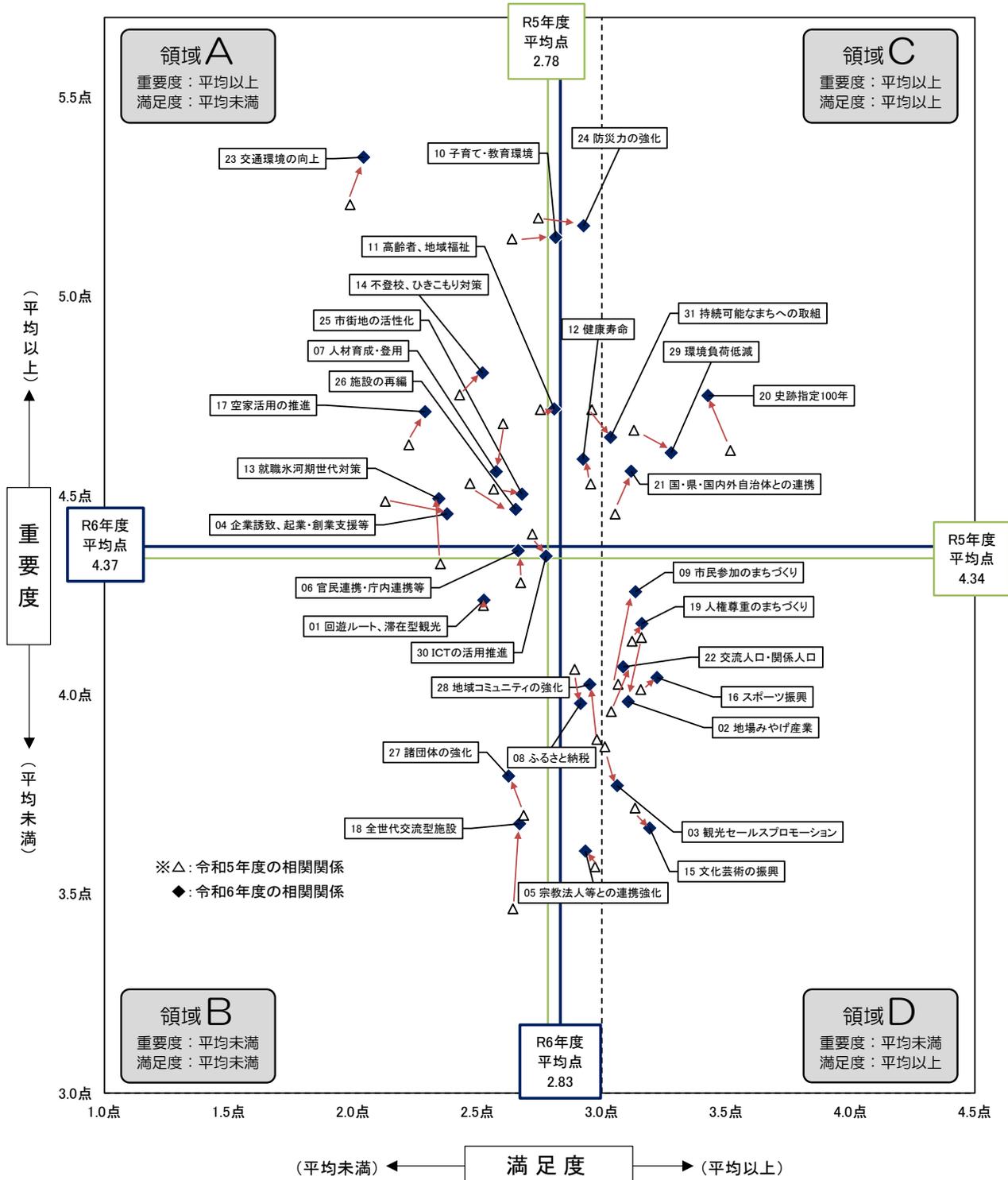
重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「04 企業誘致、起業・創業支援等」、「07 人材育成・登用」、「10 子育て・教育環境」、「11 高齢者、地域福祉」、「13 就職氷河期世代対策」、「14 不登校、ひきこもり対策」、「17 空家活用の推進」、「23 交通環境の向上」、「25 市街地の活性化」、「26 施設の再編」の10施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



(5)令和5年度の重要度と満足度の相関関係との比較

令和5年度の重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高い一方、満足度が低い【領域A】に入る10施策のうち9施策の「04 企業誘致、起業・創業支援等」、「07 人材育成・登用」、「10 子育て・教育環境」、「11 高齢者、地域福祉」、「14 不登校、ひきこもり対策」、「17 空家活用の推進」、「23 交通環境の向上」、「25 市街地の活性化」、「26 施設の再編」は令和5年度と同様【領域A】となっている。のこり1つの「13 就職氷河期世代対策」については、令和5年度【領域A】から令和6年度【領域A】移行している。反対に令和5年度【領域A】であった「24 防災力の強化」は、令和6年度【領域C】へ移行し、「30 ICTの活用推進、働き方改革」は令和6年度【領域B】へ移行している。



重要度と満足度による相関領域（重要度×満足度）

	重要度			満足度			重要度×満足度	令和5年度	令和4年度
	重要度得点	全体平均との差	順位	満足得点	全体平均との差	順位			
施策23 交通環境の向上	5.35	0.98	1	2.04	▲0.79	31	A	A	A
施策17 空家活用の推進	4.71	0.34	7	2.29	▲0.54	30	A	A	A
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.81	0.44	4	2.52	▲0.31	27	A	A	A
施策10 子育て・教育環境の充実	5.15	0.78	3	2.81	▲0.02	17	A	A	A
施策13 就職氷河期世代対策	4.49	0.12	14	2.34	▲0.49	29	A	B	A
施策07 人材育成・登用	4.56	0.19	11	2.58	▲0.25	25	A	A	A
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.45	0.08	16	2.38	▲0.45	28	A	A	A
施策25 市街地の活性化	4.50	0.13	13	2.68	▲0.15	20	A	A	A
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.72	0.35	6	2.81	▲0.02	17	A	A	C
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.47	0.10	15	2.65	▲0.18	23	A	A	B
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.36	▲0.01	17	2.66	▲0.17	22	B	B	A
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.24	▲0.13	20	2.53	▲0.30	26	B	B	B
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.35	▲0.02	18	2.78	▲0.05	19	B	A	A
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.80	▲0.57	27	2.63	▲0.20	24	B	B	B
施策18 全世代交流型施設の検討	3.68	▲0.69	29	2.67	▲0.16	21	B	B	B
施策24 防災力の強化	5.18	0.81	2	2.93	0.10	13	C	A	C
施策12 健康寿命の延伸	4.59	0.22	10	2.92	0.09	15	C	C	C
施策31 持続可能なまちへの取組	4.65	0.28	8	3.03	0.20	11	C	C	C
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.56	0.19	11	3.12	0.29	7	C	C	C
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.61	0.24	9	3.28	0.45	2	C	C	C
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.75	0.38	5	3.43	0.60	1	C	C	C
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.26	▲0.11	19	3.13	0.30	6	D	D	D
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.18	▲0.19	21	3.16	0.33	5	D	D	D
施策22 交流人口・関係人口の拡大	4.07	▲0.30	22	3.09	0.26	9	D	D	D
施策28 地域コミュニティの強化、再編	4.03	▲0.34	24	2.95	0.12	12	D	D	D
施策16 スポーツ振興	4.04	▲0.33	23	3.22	0.39	3	D	D	D
施策02 地場みやげ産業の創出	3.98	▲0.39	25	3.11	0.28	8	D	D	D
施策08 ふるさと納税の拡充	3.98	▲0.39	25	2.91	0.08	16	D	D	D
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.77	▲0.60	28	3.06	0.23	10	D	D	D
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.67	▲0.70	30	3.19	0.36	4	D	D	D
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.61	▲0.76	31	2.93	0.10	13	D	D	D
【全体平均】	4.37			2.83					

\*4領域ごとに、対応すべき優先度が高い項目順に並べている

《重要度×満足度》

- A：【重要度】平均以上【満足度】平均未満
- B：【重要度】【満足度】ともに平均未満
- C：【重要度】【満足度】ともに平均以上
- D：【重要度】平均未満【満足度】平均以上

《全体平均》

31施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

## 7. 太宰府市自治基本条例の認知度(問 18)

- 太宰府市自治基本条例の認知度については、「知らない」は 72.4%、「聞いた(見た)ことがある」は 18.9%となっている。

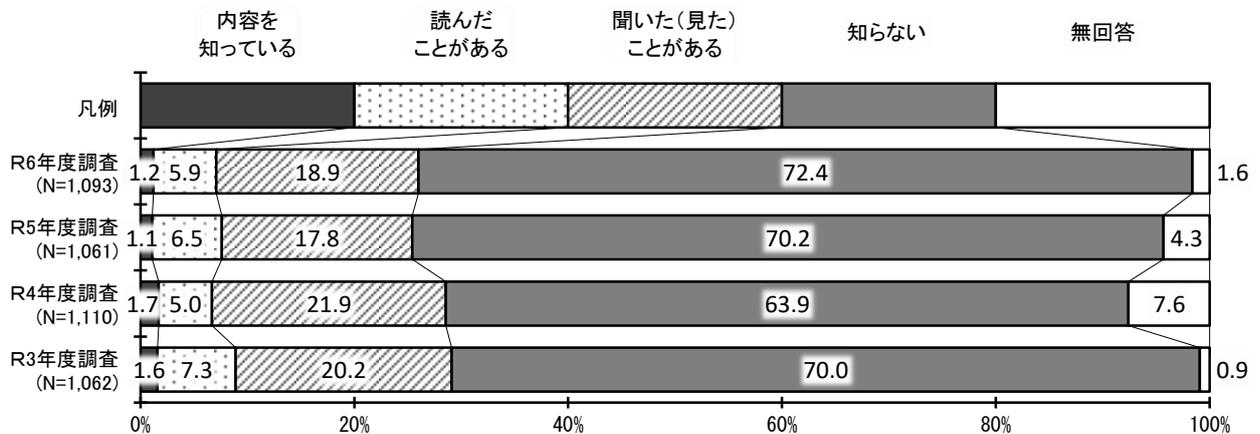
太宰府市自治基本条例の認知度について、「知らない」(72.4%)が最も高く、次いで「聞いた(見た)ことがある」(18.9%)、「読んだことがある」(5.9%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から「読んだことがある」が0.6ポイント減少し、「聞いた(見た)ことがある」が1.1ポイント、「知らない」が2.2ポイント増加している。

性別にみると、「知らない」は男性(74.6%)の方が女性(70.8%)より高くなっている。

年代別にみると、「聞いた(見た)ことがある」が最も高いのは60歳代(22.3%)となっている。一方、「知らない」が最も高いのは30歳代(81.0%)となっている。

**問 18. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。(〇は1つ)**



		標 本 数	る 内 容 を 知 つ て い	る 読 ん だ こ と が あ	こ 聞 と い が た あ ( 見 た )	知 ら な い	無 回 答
全 体		1,093 100.0	13 1.2	64 5.9	207 18.9	791 72.4	18 1.6
性 別	男 性	464	1.5	6.3	16.8	74.6	0.9
	女 性	603	1.0	5.3	20.6	70.8	2.3
	無回答	26	-	11.5	19.2	69.2	-
年 代 別	20歳代	74	1.4	2.7	17.6	77.0	1.4
	30歳代	126	1.6	4.0	12.7	81.0	0.8
	40歳代	187	0.5	6.4	20.3	71.7	1.1
	50歳代	228	0.4	4.8	16.7	76.8	1.3
	60歳代	193	1.0	6.2	22.3	68.9	1.6
	70歳代以上	282	2.1	7.8	20.6	66.7	2.8
	無回答	3	-	-	33.3	66.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	152	2.0	3.3	21.7	69.1	3.9
	太宰府東小学校区	123	0.8	9.8	17.9	70.7	0.8
	太宰府南小学校区	92	-	5.4	20.7	72.8	1.1
	水城小学校区	187	0.5	7.0	17.1	74.3	1.1
	水城西小学校区	137	2.2	3.6	17.5	73.7	2.9
	太宰府西小学校区	165	0.6	6.1	17.6	74.5	1.2
	国分小学校区	152	2.6	7.2	24.3	65.1	0.7
	わからない	77	-	3.9	11.7	83.1	1.3
	無回答	8	-	-	25.0	75.0	-

## 第4節 日頃の暮らし、行動について

### 1. 子育てのしやすさ(問 19)

● 『子育てがしやすい派』は77.3%、『子育てがしにくい派』は22.6%となっている。

子育てのしやすさについて、『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」と「どちらかといえば子育てがしやすい」の合計）は77.3%となっている。一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」と「どちらかといえば子育てがしにくい」の合計）は22.6%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも54.7ポイント高くなっている。

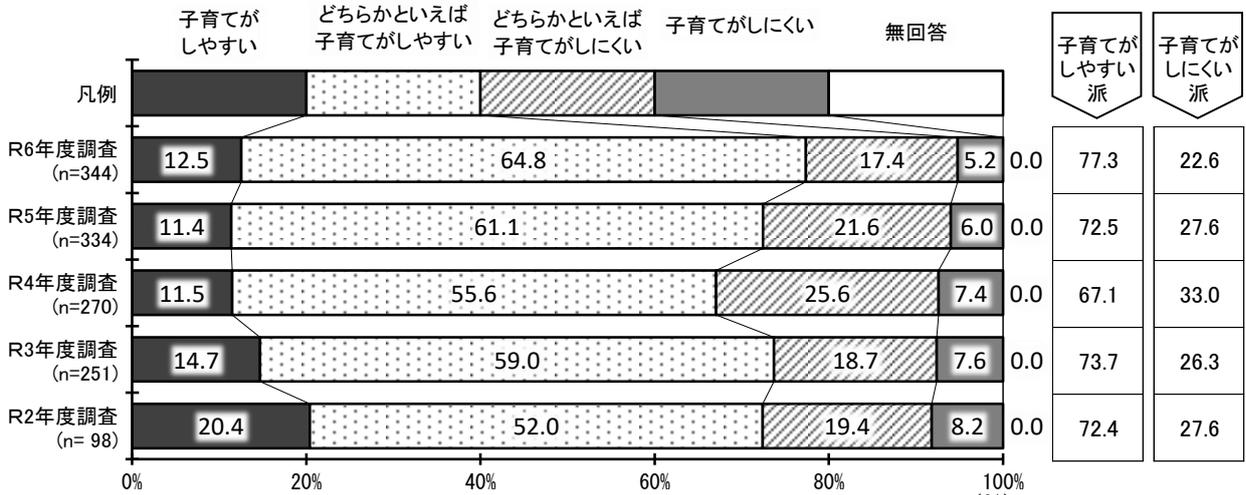
過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から『子育てがしやすい派』は4.8ポイント増加している。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は男性（80.7%）の方が女性（75.8%）より高くなっている。

小学校区別にみると、『子育てがしやすい派』が最も高いのは水城西小学校区（90.0%）となっている。

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 19. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	子育てがしやすい	しんどい子育てが多い	しんどい子育てが少ない	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派	子育てがしにくい派
全体		344	43	223	60	18	-	266	78
		100.0	12.5	64.8	17.4	5.2	-	77.3	22.6
性別	男性	145	15.9	64.8	13.8	5.5	-	80.7	19.3
	女性	194	9.8	66.0	20.1	4.1	-	75.8	24.2
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0	60.0
年代別	20歳代	13	7.7	46.2	23.1	23.1	-	53.9	46.2
	30歳代	89	7.9	64.0	20.2	7.9	-	71.9	28.1
	40歳代	127	17.3	63.8	16.5	2.4	-	81.1	18.9
	50歳代	57	14.0	68.4	12.3	5.3	-	82.4	17.6
	60歳代	26	7.7	61.5	30.8	-	-	69.2	30.8
	70歳代以上	31	9.7	77.4	9.7	3.2	-	87.1	12.9
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	38	7.9	60.5	23.7	7.9	-	68.4	31.6
	太宰府東小学校区	30	13.3	60.0	23.3	3.3	-	73.3	26.6
	太宰府南小学校区	40	12.5	57.5	17.5	12.5	-	70.0	30.0
	水城小学校区	70	10.0	72.9	14.3	2.9	-	82.9	17.2
	水城西小学校区	50	16.0	74.0	10.0	-	-	90.0	10.0
	太宰府西小学校区	55	16.4	69.1	9.1	5.5	-	85.5	14.6
	国分小学校区	51	11.8	58.8	25.5	3.9	-	70.6	29.4
	わからない	9	11.1	33.3	44.4	11.1	-	44.4	55.5
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0

## 2. 生きがいの実感(問 20)

● 生きがいを感じている『充実派』は72.8%となっている。

生きがいの実感について、生きがいを感じている『充実派』（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は72.8%で、7割以上となっている。一方、『不満派』（「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計）は25.2%となっている。

過去の調査結果と比べると、『充実派』は令和5年度調査から4.3ポイント減少している。

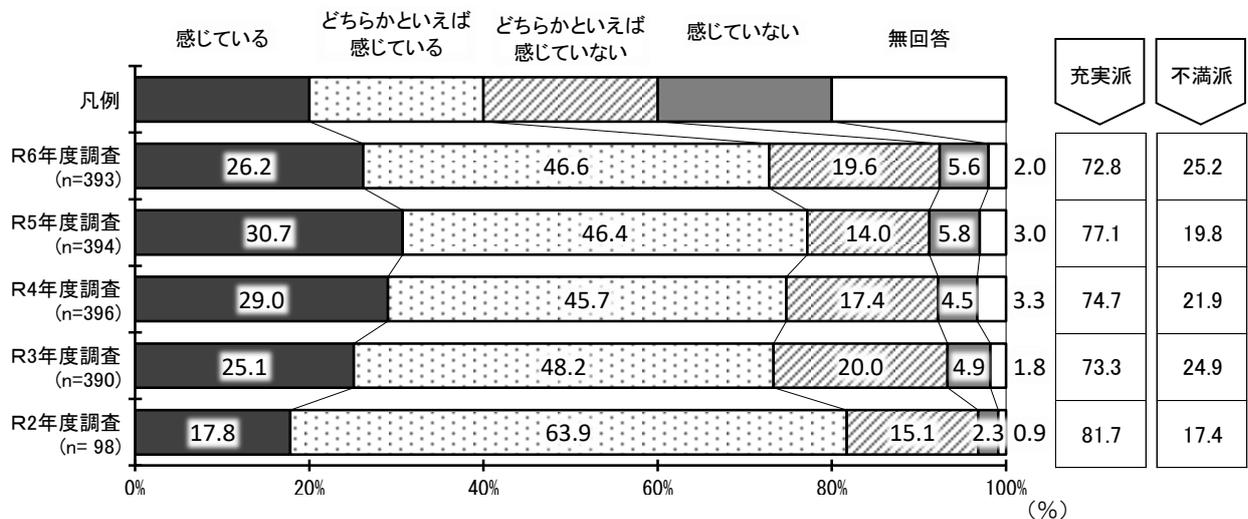
性別にみると、『充実派』は女性（74.8%）の方が男性（71.7%）より高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は、60歳代（65.7%）より70歳代以上（75.5%）の方が高くなっている。

小学校区別にみると、『充実派』は水城小学校区（81.1%）が最も高くなっている。

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 20. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。（○は1つ）



		標本数	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	無回答	充実派	不満派
全体		393	103	183	77	22	8	286	99
性別	男性	180	25.6	46.1	22.8	3.9	1.7	71.7	26.7
	女性	198	26.8	48.0	17.2	5.6	2.5	74.8	22.8
	無回答	15	26.7	33.3	13.3	26.7	-	60.0	40.0
年代別	60歳代	111	21.6	44.1	27.0	5.4	1.8	65.7	32.4
	70歳以上	282	28.0	47.5	16.7	5.7	2.1	75.5	22.4
小学校区別	太宰府小学校区	62	22.6	46.8	19.4	4.8	6.5	69.4	24.2
	太宰府東小学校区	57	31.6	43.9	21.1	3.5	-	75.5	24.6
	太宰府南小学校区	30	16.7	40.0	26.7	16.7	-	56.7	43.4
	水城小学校区	53	26.4	54.7	15.1	1.9	1.9	81.1	17.0
	水城西小学校区	40	32.5	45.0	17.5	5.0	-	77.5	22.5
	太宰府西小学校区	66	25.8	50.0	18.2	6.1	-	75.8	24.3
	国分小学校区	60	28.3	45.0	21.7	3.3	1.7	73.3	25.0
	わからない	18	11.1	38.9	22.2	16.7	11.1	50.0	38.9
	無回答	7	42.9	42.9	14.3	-	-	85.8	14.3

### 3. 高齢者福祉サービスの充実度(問 21)

● 高齢者福祉サービスについて、『充実派』は 19.5%、『不足派』は 23.8%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 19.5%となっている。一方、『不足派』（「あまりそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 23.8%で、『不足派』の方が『充実派』より 4.3 ポイント高くなっている。また、「高齢者福祉のサービスの内容を知らない」が 37.9%で最も高くなっている。

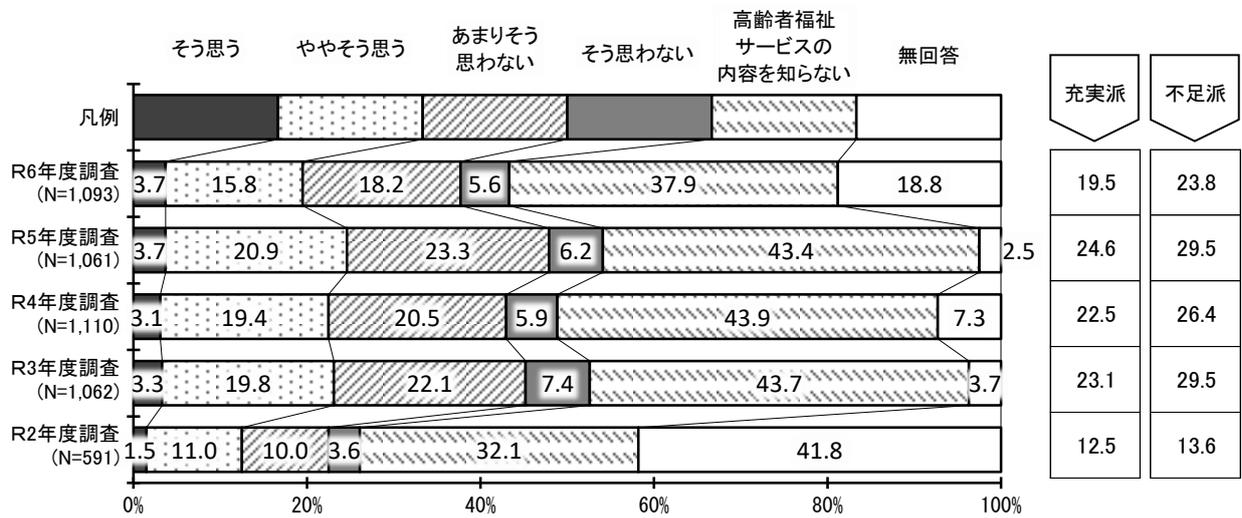
過去の調査結果と比べると、『充実派』は令和 5 年度調査から 5.1 ポイント減少している。

性別にみると、『充実派』は男性（19.2%）、女性（19.9%）と、男女に大きな差はないが、『不足派』は男性（25.0%）の方が女性（22.0%）より高くなっている。

年代別にみると、30 歳代と 50 歳代以上の年代では『不足派』の方が『充実派』よりも高く、60 歳代以上は 3 割以上となっている。

小学校区別にみると、『充実派』は水城西小学校区（22.6%）が最も高くなっている。一方、『不足派』は太宰府東小学校区（35.8%）が最も高くなっている。

#### 問 21. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	わあまり なまり そう思	そう 思わ ない	ら ビ 高 齢 者 福 祉 サ ー ビ ス の 内 容 を 知 ら ない	無 回 答	充 実 派	不 足 派
全体		1,093	40	173	199	61	414	206	213	260
			100.0	3.7	15.8	18.2	5.6	37.9	18.8	
性別	男性	464	3.9	15.3	19.6	5.4	36.6	19.2	19.2	25.0
	女性	603	3.5	16.4	16.9	5.1	38.8	19.2	19.9	22.0
	無回答	26	3.8	11.5	23.1	19.2	38.5	3.8	15.3	42.3
年代別	20歳代	74	5.4	17.6	6.8	4.1	24.3	41.9	23.0	10.9
	30歳代	126	3.2	7.1	10.3	1.6	42.9	34.9	10.3	11.9
	40歳代	187	2.1	13.4	11.2	3.2	36.4	33.7	15.5	14.4
	50歳代	228	1.3	12.7	18.9	3.5	40.8	22.8	14.0	22.4
	60歳代	193	3.6	19.2	22.3	9.3	39.9	5.7	22.8	31.6
	70歳代以上	282	6.4	20.9	26.2	8.2	36.5	1.8	27.3	34.4
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	5.9	16.4	15.1	6.6	39.5	16.4	22.3	21.7
	太宰府東小学校区	123	4.1	13.8	29.3	6.5	32.5	13.8	17.9	35.8
	太宰府南小学校区	92	2.2	16.3	19.6	5.4	37.0	19.6	18.5	25.0
	水城小学校区	187	4.3	14.4	19.3	5.3	36.4	20.3	18.7	24.6
	水城西小学校区	137	3.6	19.0	12.4	8.0	33.6	23.4	22.6	20.4
	太宰府西小学校区	165	3.6	15.8	13.9	4.2	39.4	23.0	19.4	18.1
	国分小学校区	152	2.0	17.8	23.0	4.6	41.4	11.2	19.8	27.6
	わからない	77	1.3	11.7	13.0	2.6	44.2	27.3	13.0	15.6
	無回答	8	12.5	12.5	12.5	12.5	50.0	-	25.0	25.0

### 4. 障がい福祉サービスの充実度(問 22)

● 障がい福祉サービスについて『不足派』は24.0%で、『充実派』(18.7%)よりも高い。

障がい福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は18.7%、『不足派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は24.0%で、『不足派』の方が『充実派』より5.3ポイント高くなっている。

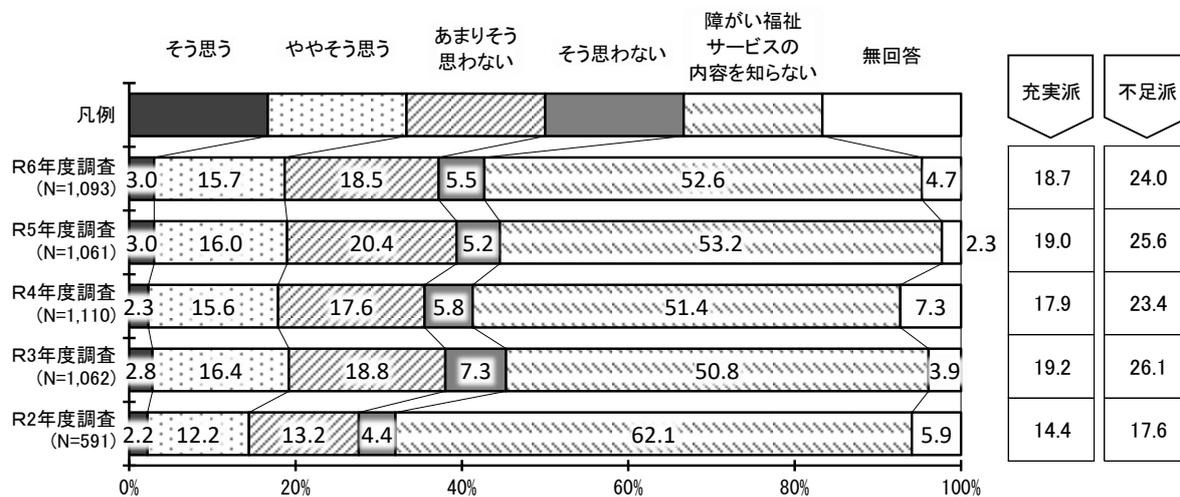
過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から『充実派』は、ほぼ変わらないが0.3ポイント減、『不足派』は1.6ポイント減と、どちらも減少している。

性別にみると、『不足派』は男性(25.4%)の方が女性(22.7%)より高くなっている。

年代別にみると、『不足派』は40歳代以上のすべての年代で2割以上となっている。なお、最も高いのは50歳代(27.6%)となっている。

小学校区別にみると、『充実派』が最も高いのは水城西小学校区と太宰府西小学校区(同率の21.8%)となっている。一方、『不足派』が最も高いのは太宰府東小学校区(30.1%)となっている。

#### 問 22. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	障がい福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派	不足派
全体		1,093	3.0	15.7	18.5	5.5	52.6	4.7	18.7	24.0
性別	男性	464	3.2	15.7	19.4	6.0	51.1	4.5	18.9	25.4
	女性	603	3.0	15.6	17.7	5.0	53.9	4.8	18.6	22.7
	無回答	26	-	19.2	19.2	7.7	50.0	3.8	19.2	26.9
年代別	20歳代	74	6.8	25.7	12.2	1.4	44.6	9.5	32.5	13.6
	30歳代	126	0.8	19.8	12.7	4.0	57.9	4.8	20.6	16.7
	40歳代	187	2.1	15.5	16.0	4.8	52.9	8.6	17.6	20.8
	50歳代	228	2.6	11.0	21.5	6.1	53.9	4.8	13.6	27.6
	60歳代	193	2.6	14.5	20.2	7.3	52.8	2.6	17.1	27.5
	70歳代以上	282	4.3	16.3	20.9	5.7	50.7	2.1	20.6	26.6
	無回答	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	3.9	17.1	18.4	5.3	50.7	4.6	21.0	23.7
	太宰府東小学校区	123	3.3	15.4	24.4	5.7	48.0	3.3	18.7	30.1
	太宰府南小学校区	92	1.1	15.2	19.6	4.3	53.3	6.5	16.3	23.9
	水城西小学校区	187	2.7	16.0	17.1	6.4	53.5	4.3	18.7	23.5
	水城西小学校区	137	3.6	18.2	17.5	7.3	48.2	5.1	21.8	24.8
	太宰府西小学校区	165	3.0	18.8	17.0	2.4	51.5	7.3	21.8	19.4
	国分小学校区	152	3.9	11.2	21.7	4.6	57.2	1.3	15.1	26.3
	わからない	77	1.3	11.7	9.1	7.8	63.6	6.5	13.0	16.9
	無回答	8	-	12.5	25.0	25.0	37.5	-	12.5	50.0

5. 公共施設の弱者への配慮(問 23)

● 公共施設の配慮について『肯定派』は42.7%で、『否定派』(32.2%)よりも高い。

公共施設の弱者への配慮について、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は42.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は32.2%となっており、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

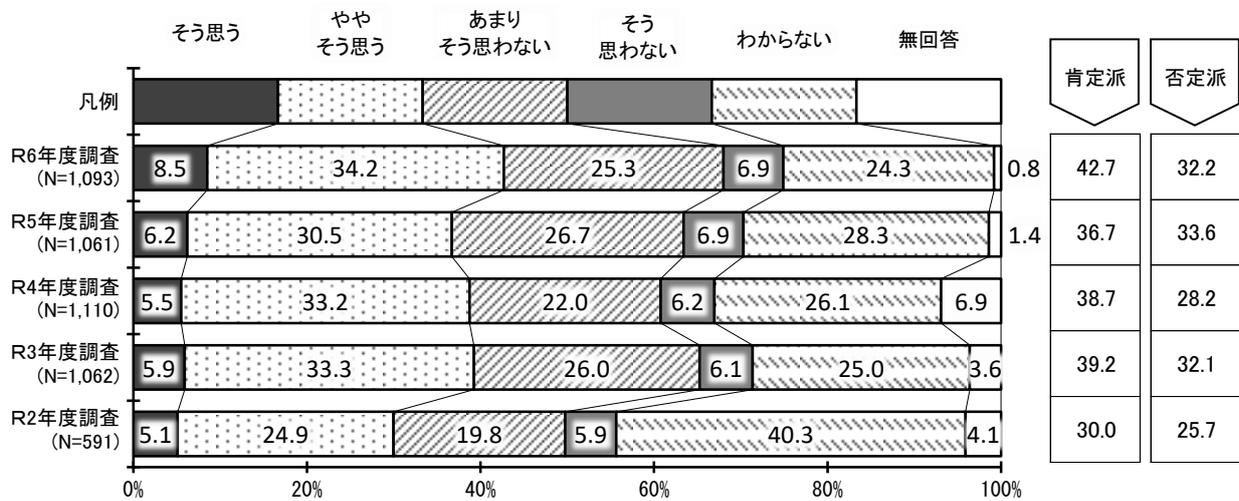
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査より6.0ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(45.7%)の方が女性(40.8%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代(58.1%)が最も高くなっており、一方、『否定派』は60歳代(38.4%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除くすべての小学校区で『肯定派』が『否定派』より高く、太宰府東小学校区では『肯定派』と『否定派』が同率となっている。

問 23. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,093	93	374	276	75	266	9	467	351
		100.0	8.5	34.2	25.3	6.9	24.3	0.8	42.7	32.2
性別	男性	464	9.3	36.4	25.9	5.2	22.4	0.9	45.7	31.1
	女性	603	8.0	32.8	24.9	8.0	25.5	0.8	40.8	32.9
	無回答	26	7.7	26.9	23.1	11.5	30.8	-	34.6	34.6
年代別	20歳代	74	12.2	45.9	12.2	4.1	25.7	-	58.1	16.3
	30歳代	126	7.9	44.4	19.0	4.0	24.6	-	52.3	23.0
	40歳代	187	12.3	30.5	24.6	5.9	26.7	-	42.8	30.5
	50歳代	228	6.1	33.8	27.2	7.0	25.9	-	39.9	34.2
	60歳代	193	4.1	30.6	30.1	8.3	24.4	2.6	34.7	38.4
	70歳代以上	282	9.9	32.3	27.3	8.2	20.9	1.4	42.2	35.5
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	8.6	36.8	22.4	8.6	21.7	2.0	45.4	31.0
	太宰府東小学校区	123	8.1	32.5	25.2	15.4	18.7	-	40.6	40.6
	太宰府南小学校区	92	8.7	33.7	23.9	5.4	28.3	-	42.4	29.3
	水城小学校区	187	5.9	38.5	20.9	5.3	29.4	-	44.4	26.2
	水城西小学校区	137	9.5	29.9	32.8	3.6	24.1	-	39.4	36.4
	太宰府西小学校区	165	10.3	38.2	24.2	5.5	20.6	1.2	48.5	29.7
	国分小学校区	152	7.9	30.3	30.9	2.6	26.3	2.0	38.2	33.5
	わからない	77	10.4	29.9	23.4	10.4	24.7	1.3	40.3	33.8
	無回答	8	12.5	25.0	-	25.0	37.5	-	37.5	25.0

## 6. 民間施設の弱者への配慮(問 24)

● 民間施設の配慮について『否定派』は39.9%で、『肯定派』(30.8%)よりも高い。

民間施設の弱者への配慮について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は30.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は39.9%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

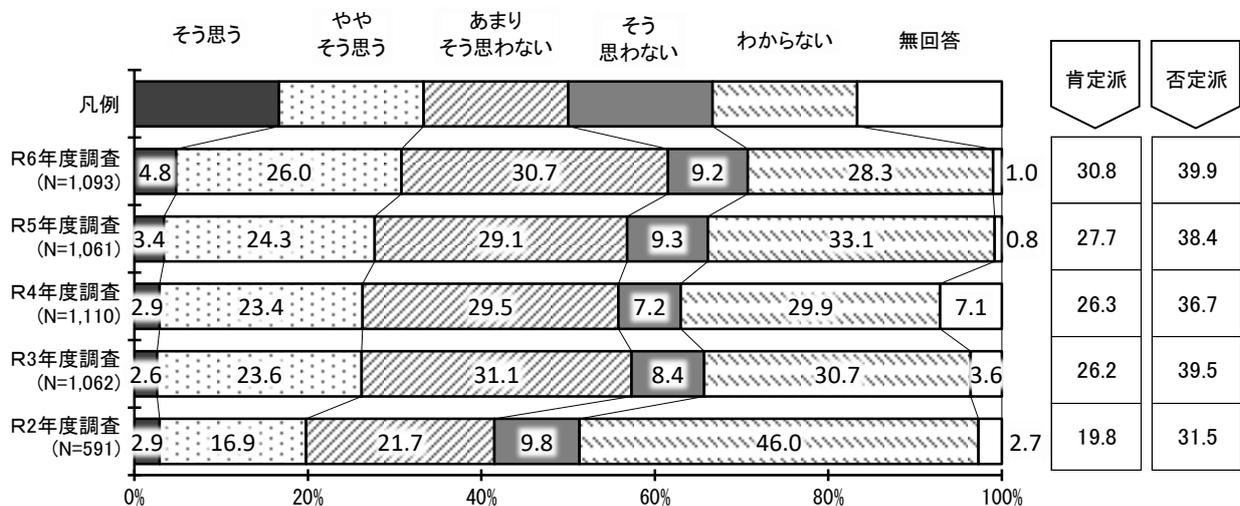
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査より3.1ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(32.1%)の方が女性(30.3%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代と30歳代では『肯定派』が高いが、それ以外の年代は『否定派』の方が高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区では『肯定派』が高いが、そのほかの小学校区では『否定派』の方が高くなっている。

問 24. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,093	52	284	336	101	309	11	336	437
		100.0	4.8	26.0	30.7	9.2	28.3	1.0	30.8	39.9
性別	男性	464	5.6	26.5	31.0	8.4	27.6	0.9	32.1	39.4
	女性	603	4.1	26.2	31.0	9.5	28.0	1.2	30.3	40.5
	無回答	26	3.8	11.5	19.2	19.2	46.2	-	15.3	38.4
年代別	20歳代	74	10.8	39.2	17.6	4.1	27.0	1.4	50.0	21.7
	30歳代	126	3.2	39.7	19.0	5.6	32.5	-	42.9	24.6
	40歳代	187	7.5	25.7	30.5	9.6	26.7	-	33.2	40.1
	50歳代	228	4.8	26.8	32.0	8.8	27.6	-	31.6	40.8
	60歳代	193	1.6	20.2	35.8	12.4	27.5	2.6	21.8	48.2
	70歳代以上	282	4.3	19.9	35.5	9.9	28.7	1.8	24.2	45.4
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	5.3	25.7	31.6	7.9	27.6	2.0	31.0	39.5
	太宰府東小学校区	123	3.3	26.8	30.9	17.9	21.1	-	30.1	48.8
	太宰府南小学校区	92	6.5	21.7	32.6	6.5	31.5	1.1	28.2	39.1
	水城小学校区	187	1.1	34.2	26.2	7.0	31.0	0.5	35.3	33.2
	水城西小学校区	137	8.0	22.6	36.5	7.3	25.5	-	30.6	43.8
	太宰府西小学校区	165	7.3	24.8	26.7	12.7	27.3	1.2	32.1	39.4
	国分小学校区	152	3.3	27.0	32.9	4.6	30.3	2.0	30.3	37.5
	わからない	77	5.2	19.5	33.8	11.7	28.6	1.3	24.7	45.5
	無回答	8	-	-	12.5	12.5	75.0	-	-	25.0

7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況(問 25)

● 移動手段の確保について『否定派』は54.7%で、『肯定派』(25.2%)よりも高い。

交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は25.2%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は54.7%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

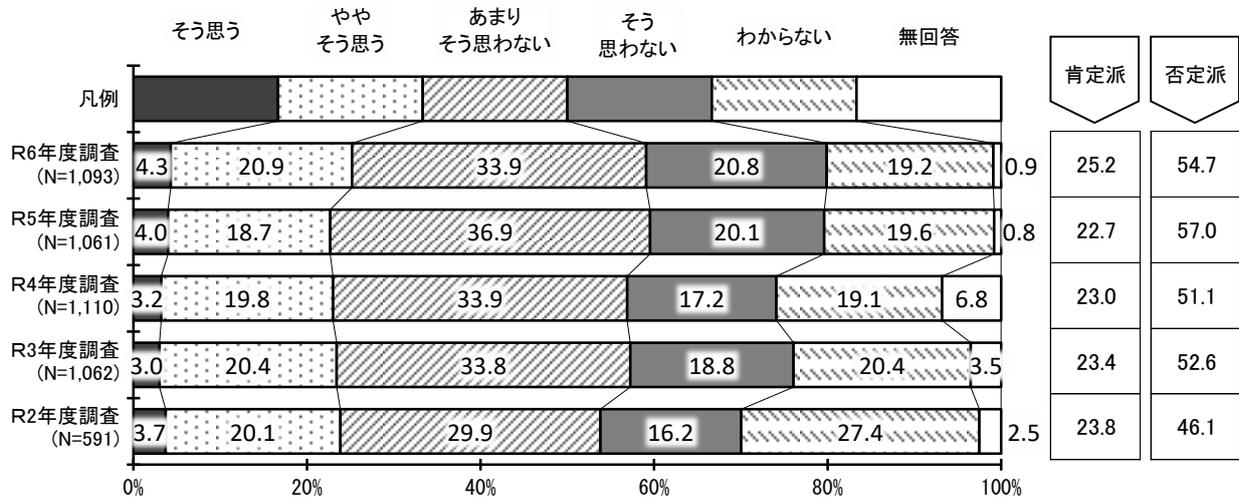
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査より2.5ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(30.4%)の方が女性(21.6%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、50歳代以上で『否定派』が5割以上となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 25. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,093	4.3	20.9	33.9	20.8	19.2	0.9	25.2	54.7
性別	男性	464	5.2	25.2	32.3	17.7	18.8	0.9	30.4	50.0
	女性	603	3.5	18.1	35.3	22.7	19.4	1.0	21.6	58.0
	無回答	26	7.7	7.7	30.8	30.8	23.1	-	15.4	61.6
年代別	20歳代	74	10.8	36.5	20.3	13.5	18.9	-	47.3	33.8
	30歳代	126	4.8	28.6	27.0	13.5	26.2	-	33.4	40.5
	40歳代	187	7.0	21.4	31.6	18.2	21.9	-	28.4	49.8
	50歳代	228	1.8	19.7	39.5	19.3	19.7	-	21.5	58.8
	60歳代	193	3.1	13.5	39.4	25.9	15.5	2.6	16.6	65.3
	70歳代以上	282	3.2	19.1	34.0	25.2	16.7	1.8	22.3	59.2
	無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	152	5.3	21.7	36.2	17.8	17.1	2.0	27.0	54.0
	太宰府東小学校区	123	1.6	17.9	26.0	39.0	15.4	-	19.5	65.0
	太宰府南小学校区	92	2.2	18.5	35.9	20.7	22.8	-	20.7	56.6
	水城小学校区	187	3.7	26.2	32.1	15.5	22.5	-	29.9	47.6
	水城西小学校区	137	6.6	16.1	35.0	21.9	20.4	-	22.7	56.9
	太宰府西小学校区	165	4.2	20.0	38.8	17.6	17.6	1.8	24.2	56.4
	国分小学校区	152	3.3	20.4	36.8	19.7	17.8	2.0	23.7	56.5
	わからない	77	7.8	26.0	27.3	18.2	19.5	1.3	33.8	45.5
	無回答	8	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	-	25.0	37.5

### 8. 地域福祉の推進状況(問 26)

● 地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が 59.2%で、『肯定派』(39.3%) よりも高い。

地域福祉の推進状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 39.3% となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 59.2% で、『否定派』の方が『肯定派』よりも 19.9 ポイント高くなっている。

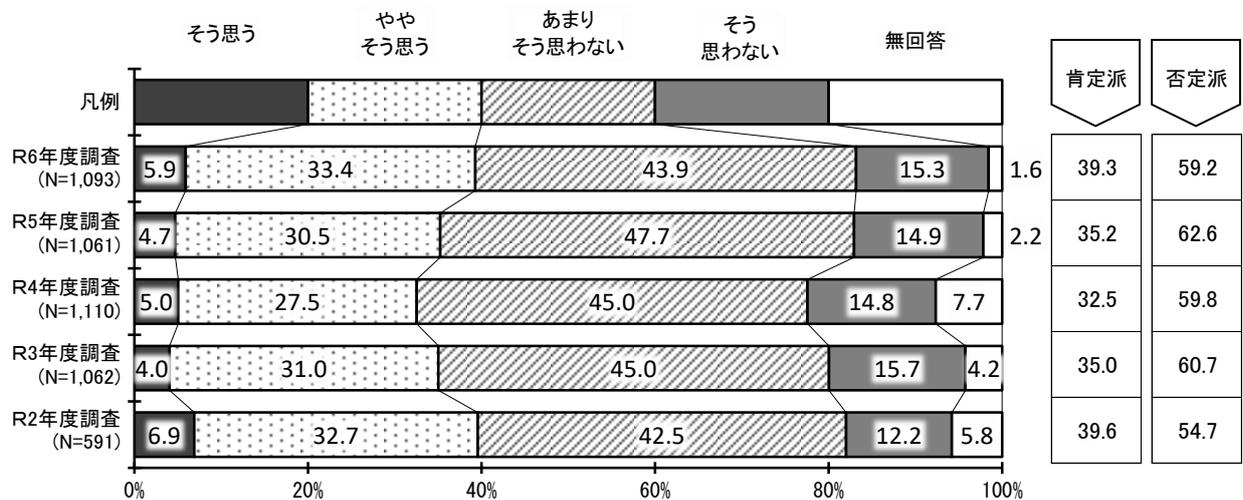
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和 5 年度調査より 4.1 ポイント増加している。

性別にみると、男女とも、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。なお、『否定派』は 50 歳代 (66.2%) で最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

問 26. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,093	5.9	33.4	43.9	15.3	1.6	39.3	59.2
性別	男性	464	7.5	32.1	42.7	16.6	1.1	39.6	59.3
	女性	603	4.6	35.0	44.3	14.1	2.0	39.6	58.4
	無回答	26	3.8	19.2	57.7	19.2	-	23.0	76.9
年代別	20歳代	74	4.1	40.5	39.2	16.2	-	44.6	55.4
	30歳代	126	4.0	37.3	38.9	19.8	-	41.3	58.7
	40歳代	187	7.5	36.4	42.2	13.9	-	43.9	56.1
	50歳代	228	6.1	26.8	48.7	17.5	0.9	32.9	66.2
	60歳代	193	3.6	32.6	47.7	13.5	2.6	36.2	61.2
	70歳代以上	282	7.4	33.3	42.2	13.5	3.5	40.7	55.7
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	8.6	30.9	42.8	13.8	3.9	39.5	56.6
	太宰府東小学校区	123	3.3	38.2	45.5	13.0	-	41.5	58.5
	太宰府南小学校区	92	4.3	31.5	44.6	18.5	1.1	35.8	63.1
	水城小学校区	187	4.8	33.2	46.0	15.5	0.5	38.0	61.5
	水城西小学校区	137	7.3	36.5	42.3	13.9	-	43.8	56.2
	太宰府西小学校区	165	8.5	39.4	40.0	10.9	1.2	47.9	50.9
	国分小学校区	152	3.3	34.9	44.7	13.2	3.9	38.2	57.9
	わからない	77	6.5	13.0	45.5	33.8	1.3	19.5	79.3
	無回答	8	-	25.0	62.5	12.5	-	25.0	75.0

### 9. 健康状態(問 27)

● ここ数週間の健康状態は『健康』は82.4%、『不調』は16.8%となっている。

ここ数週間の健康状態について、『健康』（「健康である」と「健康な方である」の合計）は82.4%で、8割以上が『健康』と感じている。一方、『不調』（「健康ではない」と「あまり健康ではない」の合計）は16.8%となっている。

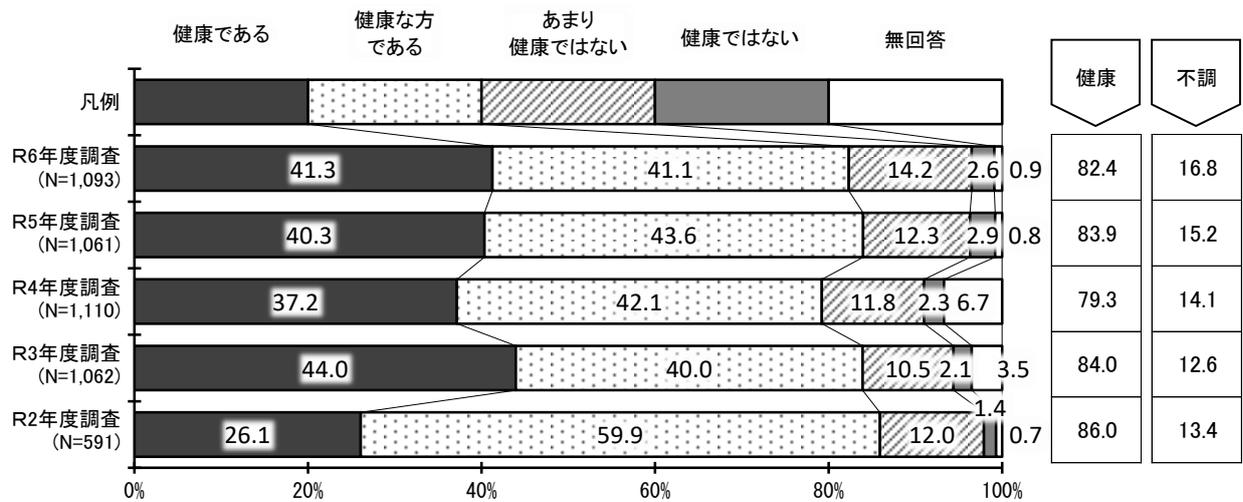
過去の調査結果と比べると、『健康』は令和5年度調査より1.5ポイント減少している。

性別にみると、『健康』は男性が80.4%、女性が84.1%で女性の方が高くなっている。

年代別にみると、『不調』は70歳代以上（22.3%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『健康』はすべての小学校区で8割を超えている。

#### 問 27. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は1つ）



		標本数	健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康	不調
全体		1,093	451	449	155	28	10	900	183
			41.3	41.1	14.2	2.6	0.9	82.4	16.8
性別	男性	464	42.9	37.5	16.4	2.2	1.1	80.4	18.6
	女性	603	40.8	43.3	12.3	2.8	0.8	84.1	15.1
	無回答	26	23.1	53.8	19.2	3.8	-	76.9	23.0
年代別	20歳代	74	56.8	29.7	13.5	-	-	86.5	13.5
	30歳代	126	46.8	36.5	13.5	3.2	-	83.3	16.7
	40歳代	187	47.1	40.6	11.8	0.5	-	87.7	12.3
	50歳代	228	46.9	37.7	14.5	0.9	-	84.6	15.4
	60歳代	193	38.3	42.5	11.9	4.1	3.1	80.8	16.0
	70歳代以上	282	28.7	47.5	17.7	4.6	1.4	76.2	22.3
	無回答	3	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	45.4	36.2	14.5	2.0	2.0	81.6	16.5
	太宰府東小学校区	123	37.4	43.1	17.1	2.4	-	80.5	19.5
	太宰府南小学校区	92	39.1	42.4	14.1	4.3	-	81.5	18.4
	水城小学校区	187	39.6	46.0	12.8	1.6	-	85.6	14.4
	水城西小学校区	137	48.2	36.5	13.9	1.5	-	84.7	15.4
	太宰府西小学校区	165	41.8	39.4	14.5	2.4	1.8	81.2	16.9
	国分小学校区	152	40.1	47.4	6.6	3.9	2.0	87.5	10.5
	わからない	77	37.7	32.5	26.0	2.6	1.3	70.2	28.6
無回答	8	12.5	50.0	25.0	12.5	-	62.5	37.5	

### 10. 健康増進の取り組み状況(問 28)

● 健康増進のために取り組んでいるものが「ある」と答えた人は6割以上となっている。

健康増進の取り組み状況について、取り組んでいるものが「ある」と答えた割合は 60.5%、「ない」と答えた割合は 38.6%となっている。

過去の調査結果と比べると、『取り組んでいる派』は令和5年度調査より 3.8 ポイント減少している。

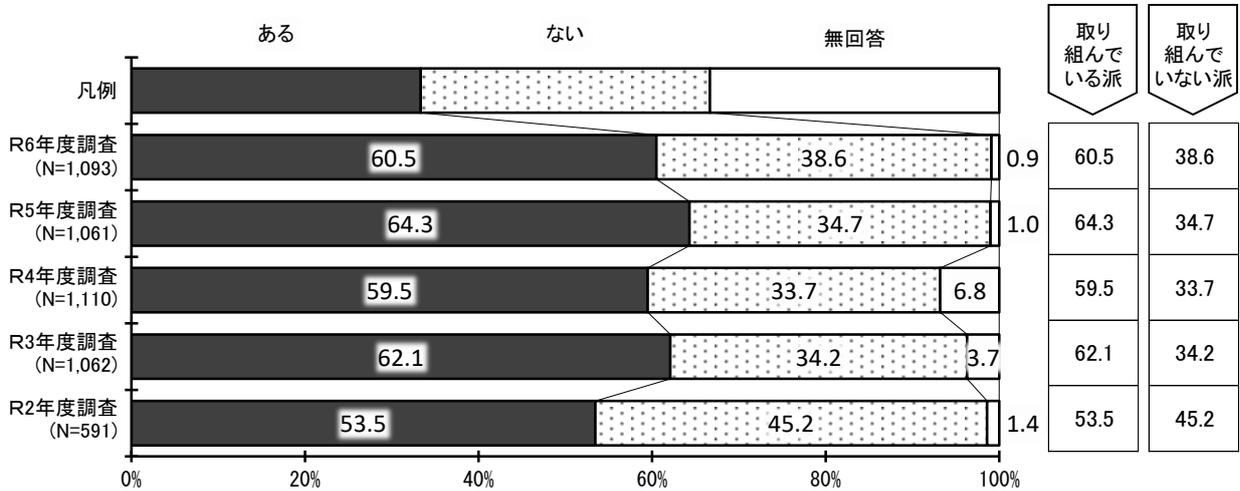
性別にみると、『取り組んでいる派』は男性 (63.4%) の方が女性 (58.2%) より高くなっている。

年代別にみると、20 歳代では同率だが、30 歳代『取り組んでいない派』が高く、40 歳代以上の年代では、『取り組んでいる派』の方が割合は高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『取り組んでいる派』の方が『取り組んでいない派』より高くなっている。

健康状態別にみると、健康ではない方では『取り組んでいない派』の割合が高くなっている。

問 28. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		1,093	60.5	38.6	0.9
性別	男性	464	63.4	35.8	0.9
	女性	603	58.2	40.8	1.0
	無回答	26	61.5	38.5	-
年代別	20歳代	74	50.0	50.0	-
	30歳代	126	40.5	59.5	-
	40歳代	187	55.6	44.4	-
	50歳代	228	59.2	40.8	-
	60歳代	193	66.3	31.1	2.6
	70歳代以上	282	72.0	26.2	1.8
	無回答	3	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	61.8	36.2	2.0
	太宰府東小学校区	123	63.4	36.6	-
	太宰府南小学校区	92	53.3	46.7	-
	水城小学校区	187	56.7	42.8	0.5
	水城西小学校区	137	61.3	38.7	-
	太宰府西小学校区	165	67.9	30.9	1.2
	国分小学校区	152	59.9	38.2	2.0
	わからない	77	54.5	44.2	1.3
無回答	8	62.5	37.5	-	
健康状態別	健康である	451	67.4	32.6	-
	健康な方である	449	59.5	40.5	-
	あまり健康でない	155	50.3	49.0	0.6
	健康ではない	28	39.3	60.7	-
	無回答	10	10.0	-	90.0

### 11. 健康診査の受診状況(問 29)

● この一年間の健康診査の受診率は 73.2%となっている。

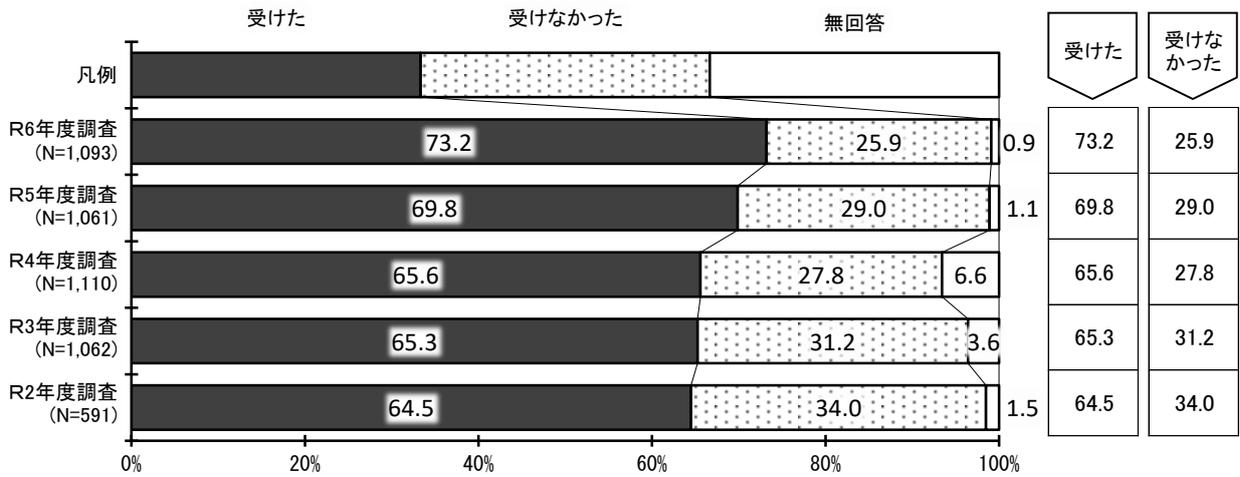
健康診査の受診状況について、一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が 73.2%、「受けなかった」は 25.9%となっている。

過去の調査結果をみると、「受けた」が令和 5 年度調査より 3.4 ポイント増加している。

性別・年代別にみると、男性：20 歳代以外で「受けた」の方が「受けなかった」より高くなっている。また、男性（74.6%）の方が女性（71.6%）よりも受診率が高くなっている。

健康状態別に受診率をみると、健康な人は「受けた」の割合が 7 割を超えている。

問 29. あなたはこの一年間に、「健康診査」（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。  
（○は1つ）



		標本数	受けた (%)	か受つたな (%)	無回答 (%)
全体		1,093	800	283	10
		100.0	73.2	25.9	0.9
性別	男性	464	74.6	24.6	0.9
	女性	603	71.6	27.4	1.0
	無回答	26	84.6	15.4	-
性別・年代別	男性:20歳代	22	45.5	54.5	-
	男性:30歳代	51	78.4	21.6	-
	男性:40歳代	81	74.1	25.9	-
	男性:50歳代	103	78.6	21.4	-
	男性:60歳代	76	78.9	18.4	2.6
	男性:70歳代以上	131	72.5	26.0	1.5
	女性:20歳代	52	59.6	40.4	-
	女性:30歳代	75	65.3	34.7	-
	女性:40歳代	102	76.5	23.5	-
	女性:50歳代	119	75.6	24.4	-
	女性:60歳代	115	74.8	22.6	2.6
	女性:70歳代以上	138	69.6	28.3	2.2
	無回答	28	85.7	14.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	73.0	25.0	2.0
	太宰府東小学校区	123	74.0	26.0	-
	太宰府南小学校区	92	73.9	26.1	-
	水城小学校区	187	73.3	26.2	0.5
	水城西小学校区	137	75.2	24.8	-
	太宰府西小学校区	165	73.9	24.8	1.2
	国分小学校区	152	69.7	28.3	2.0
	わからない	77	71.4	27.3	1.3
無回答	8	87.5	12.5	-	
健康状態別	健康である	451	75.2	24.8	-
	健康な方である	449	78.4	21.4	0.2
	あまり健康でない	155	64.5	35.5	-
	健康ではない	28	32.1	67.9	-
	無回答	10	-	10.0	90.0

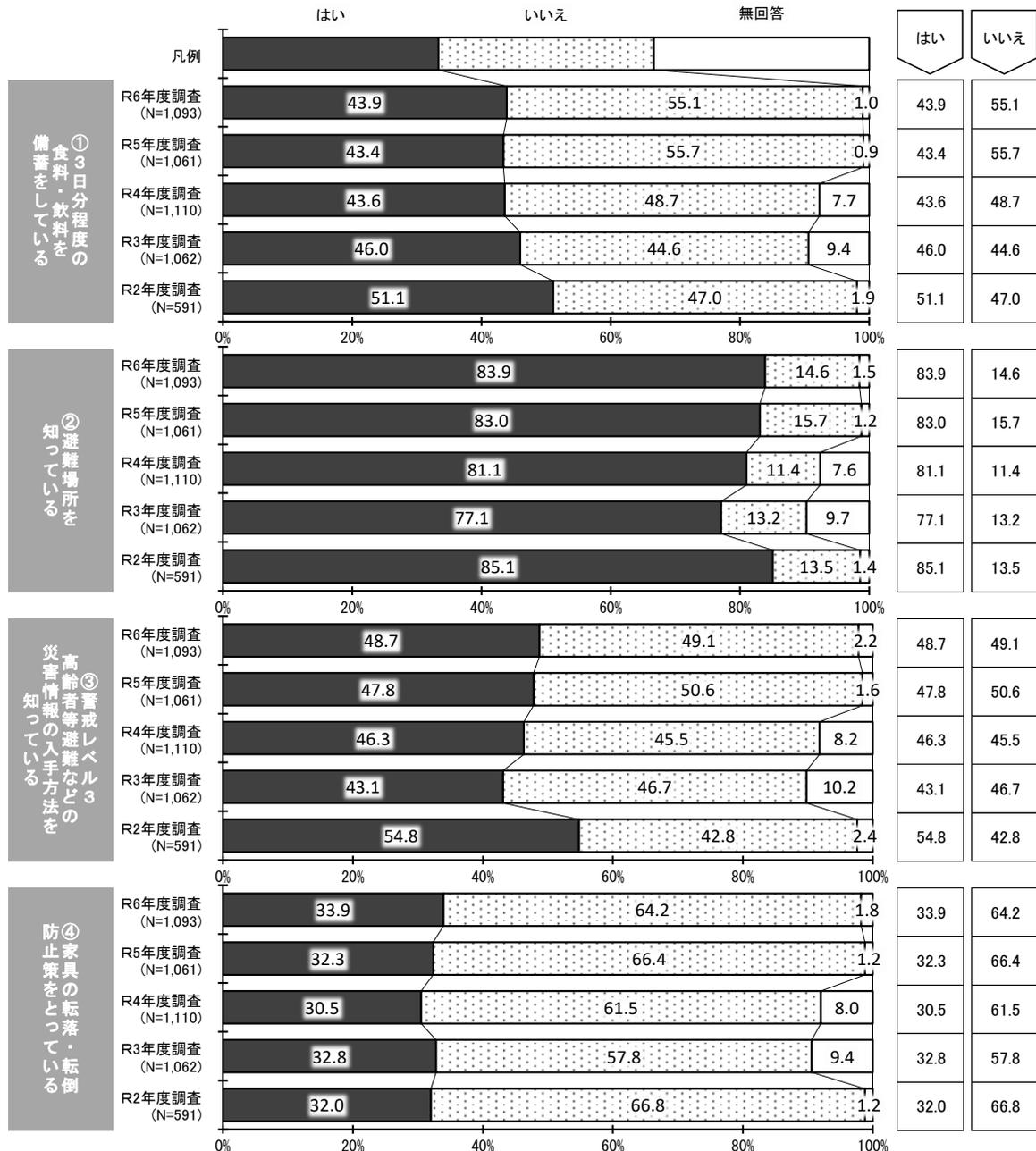
## 12. 災害に対する日頃の備え(問 30)

- 日頃の災害に対する備えができていないのは「②避難場所を知っている」、「③災害情報源の認知」、「①食料の備蓄」、「④家具の転倒防止策」の順となっている。

防災・消防体制の整備充実について、実施率（「はい」の割合）をみると「②避難場所を知っている」（83.9％）が最も高く、次いで「③災害情報源の認知」（48.7％）、「①食料の備蓄」（43.9％）、「④家具の転倒防止策」（33.9％）の順となっている。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」と回答した人）より高いのは、「①食料の備蓄」（55.1％）と「③災害情報源の認知」（49.1％）、「④家具の転倒防止策」（64.2％）の3項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「①食料の備蓄」（0.5ポイント増）、「②避難場所を知っている」（0.9ポイント増）、「③災害情報源の認知」（0.9ポイント増）、「④家具の転倒防止策」（1.6ポイント増）とすべての項目で令和5年度調査から増加している。

問 30. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）



性別にみると、実施率は、すべての項目で女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、実施率は、すべての年代で「②避難場所を知っている」が最も高くなっており、30歳代以外の年代で8割を超えている。

小学校区別にみると、「②避難場所を知っている」の実施率が最も低いのは水城小学校区(81.3%)となっている。

(%)

	標本数	①3日分程度の食料・飲料を備蓄をしている			②避難場所を知っている			③警戒レベル3 高齢者等避難などの災害情報の入手方法を知っている			④家具の転落・転倒防止策をとっている		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全体	1,093 100.0	480 43.9	602 55.1	11 1.0	917 83.9	160 14.6	16 1.5	532 48.7	537 49.1	24 2.2	371 33.9	702 64.2	20 1.8
性別													
男性	464	42.5	56.5	1.1	82.3	16.4	1.3	45.9	51.3	2.8	33.6	64.2	2.2
女性	603	44.6	54.4	1.0	85.4	13.1	1.5	51.7	46.4	1.8	34.0	64.3	1.7
無回答	26	53.8	46.2	-	76.9	19.2	3.8	26.9	73.1	-	38.5	61.5	-
年代別													
20歳代	74	36.5	63.5	-	87.8	12.2	-	51.4	48.6	-	39.2	60.8	-
30歳代	126	39.7	60.3	-	73.8	25.4	0.8	54.0	45.2	0.8	33.3	65.9	0.8
40歳代	187	39.0	61.0	-	84.5	15.5	-	54.0	45.5	0.5	36.4	62.6	1.1
50歳代	228	44.3	55.7	-	80.3	18.9	0.9	41.7	57.5	0.9	32.5	66.7	0.9
60歳代	193	47.7	49.7	2.6	86.5	8.8	4.7	50.3	45.6	4.1	33.2	63.7	3.1
70歳代以上	282	47.9	50.0	2.1	87.9	10.6	1.4	46.8	48.9	4.3	33.0	63.8	3.2
無回答	3	66.7	33.3	-	100.0	-	-	33.3	66.7	-	33.3	66.7	-
小学校区別													
太宰府小学校区	152	47.4	50.7	2.0	85.5	12.5	2.0	56.6	38.8	4.6	34.2	62.5	3.3
太宰府東小学校区	123	45.5	54.5	-	89.4	10.6	-	43.9	56.1	-	26.0	74.0	-
太宰府南小学校区	92	39.1	60.9	-	90.2	8.7	1.1	45.7	53.3	1.1	33.7	65.2	1.1
水城小学校区	187	39.6	59.9	0.5	81.3	18.2	0.5	51.9	47.6	0.5	38.0	61.0	1.1
水城西小学校区	137	41.6	57.7	0.7	84.7	14.6	0.7	50.4	47.4	2.2	36.5	61.3	2.2
太宰府西小学校区	165	51.5	47.3	1.2	87.3	11.5	1.2	49.1	49.1	1.8	34.5	64.2	1.2
国分小学校区	152	45.4	52.6	2.0	87.5	9.2	3.3	50.0	46.1	3.9	34.9	62.5	2.6
わからない	77	36.4	62.3	1.3	58.4	39.0	2.6	31.2	64.9	3.9	27.3	68.8	3.9
無回答	8	37.5	62.5	-	50.0	37.5	12.5	37.5	62.5	-	50.0	50.0	-

### 13. 防犯面の安心度(問 31)

● 防犯面について『安心派』は63.0%、『不安派』は36.0%となっている。

防犯面の安心度について、『安心派』（「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計）は63.0%となっている。一方、『不安派』（「不安である」と「どちらかといえば不安である」の合計）は36.0%で、『安心派』の方が『不安派』よりも27.0ポイント高くなっている。

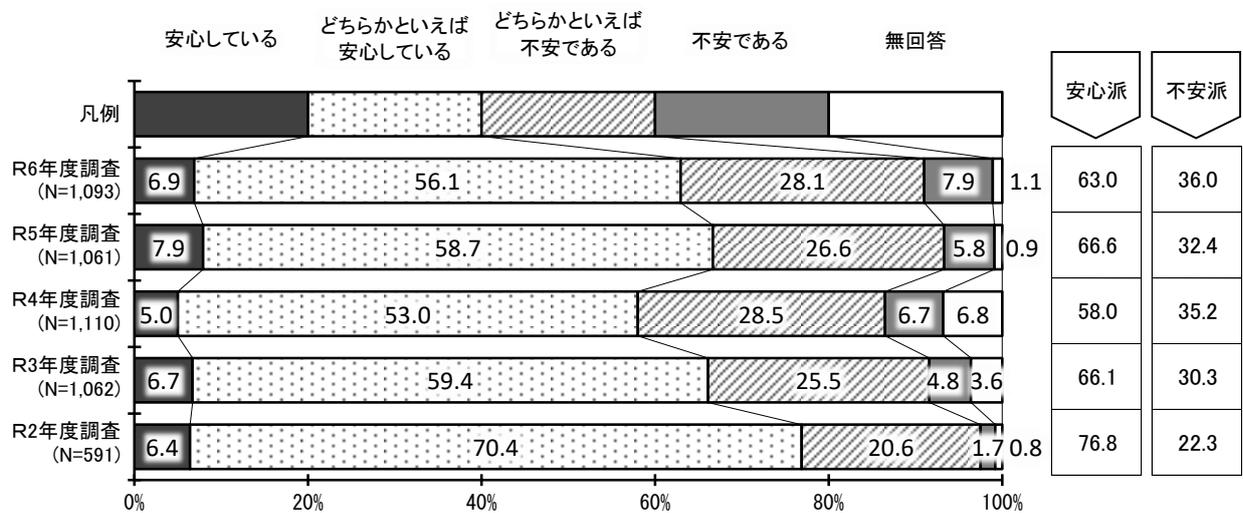
過去の調査結果と比べると、『安心派』は令和5年度調査から3.6ポイント減少している。

性別にみると、男性（66.8%）の方が女性（60.8%）よりも『安心派』の割合が高くなっている。

年代別にみると、『安心派』はすべての年代で『不安派』よりも高く、40歳代と70歳代以上が同率の65.3%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が最も高いのは水城西小学校区（73.7%）となっている。

#### 問 31. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である	無回答	安心派 (%)	不安派 (%)
全体		1,093	75	613	307	86	12	63.0	36.0
性別	男性	464	7.3	59.5	25.4	6.5	1.3	66.8	31.9
	女性	603	6.6	54.2	29.5	8.6	1.0	60.8	38.1
	無回答	26	3.8	38.5	42.3	15.4	-	42.3	57.7
年代別	20歳代	74	13.5	50.0	24.3	9.5	2.7	63.5	33.8
	30歳代	126	7.9	54.8	26.2	11.1	-	62.7	37.3
	40歳代	187	10.2	55.1	28.3	5.9	0.5	65.3	34.2
	50歳代	228	5.7	59.2	28.9	6.1	-	64.9	35.0
	60歳代	193	4.1	50.8	31.1	11.4	2.6	54.9	42.5
	70歳代以上	282	5.0	60.3	27.3	6.0	1.4	65.3	33.3
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	10.5	48.7	29.6	9.2	2.0	59.2	38.8
	太宰府東小学校区	123	2.4	50.4	35.8	10.6	0.8	52.8	46.4
	太宰府南小学校区	92	6.5	57.6	26.1	9.8	-	64.1	35.9
	水城小学校区	187	6.4	60.4	27.8	4.8	0.5	66.8	32.6
	水城西小学校区	137	7.3	66.4	21.2	5.1	-	73.7	26.3
	太宰府西小学校区	165	6.1	60.6	27.3	4.8	1.2	66.7	32.1
	国分小学校区	152	7.2	52.0	30.9	7.9	2.0	59.2	38.8
	わからない	77	7.8	50.6	26.0	13.0	2.6	58.4	39.0
	無回答	8	12.5	25.0	12.5	50.0	-	37.5	62.5

### 14. 人権侵害の経験の有無(問 32)

● 人権を侵害されたことが「ある」は4.3%となっている。

人権侵害の経験の有無について、この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が93.9%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は4.3%となっている。

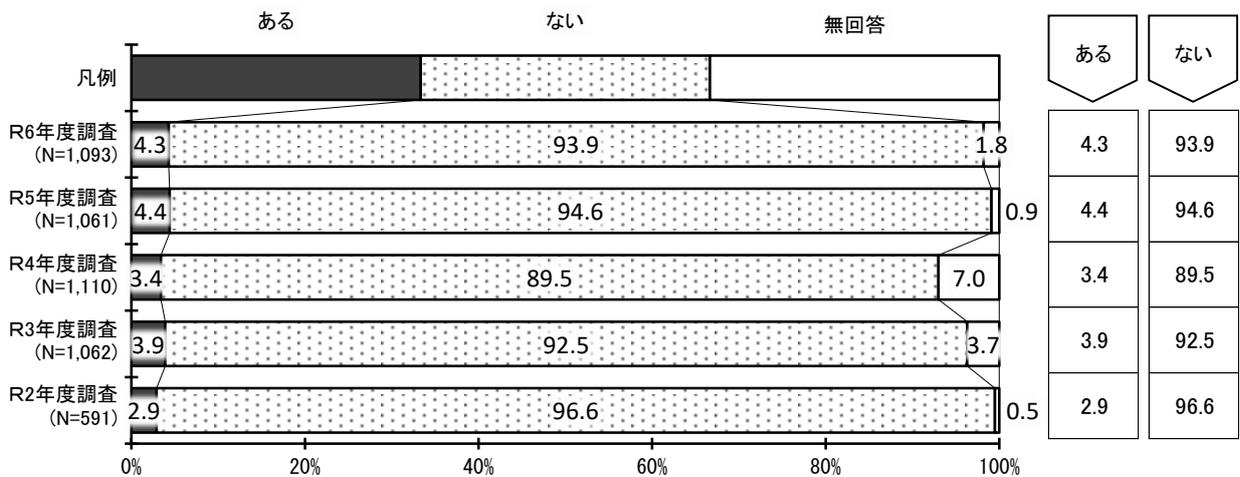
過去の調査結果と比べると、「ある」と答えた人は令和5年度調査とほぼ変わらない値で、5か年の調査でみると高くなった割合が続いている。

性別にみると、女性(4.6%)の方が男性(3.9%)よりも「ある」が高くなっている。

年代別にみると、20歳代(8.1%)において「ある」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「ある」が最も高いのは太宰府東小学校区(7.3%)となっている。

#### 問 32. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		1,093	4.3	93.9	1.8
性別	男性	464	3.9	94.6	1.5
	女性	603	4.6	93.5	1.8
	無回答	26	3.8	88.5	7.7
年代別	20歳代	74	8.1	90.5	1.4
	30歳代	126	4.0	93.7	2.4
	40歳代	187	4.3	94.7	1.1
	50歳代	228	4.4	94.3	1.3
	60歳代	193	4.7	92.7	2.6
	70歳代以上	282	3.2	95.0	1.8
	無回答	3	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	3.9	93.4	2.6
	太宰府東小学校区	123	7.3	91.9	0.8
	太宰府南小学校区	92	6.5	93.5	-
	水城小学校区	187	4.8	94.7	0.5
	水城西小学校区	137	3.6	96.4	-
	太宰府西小学校区	165	0.6	97.0	2.4
	国分小学校区	152	4.6	90.8	4.6
	わからない	77	5.2	92.2	2.6
無回答	8	-	87.5	12.5	

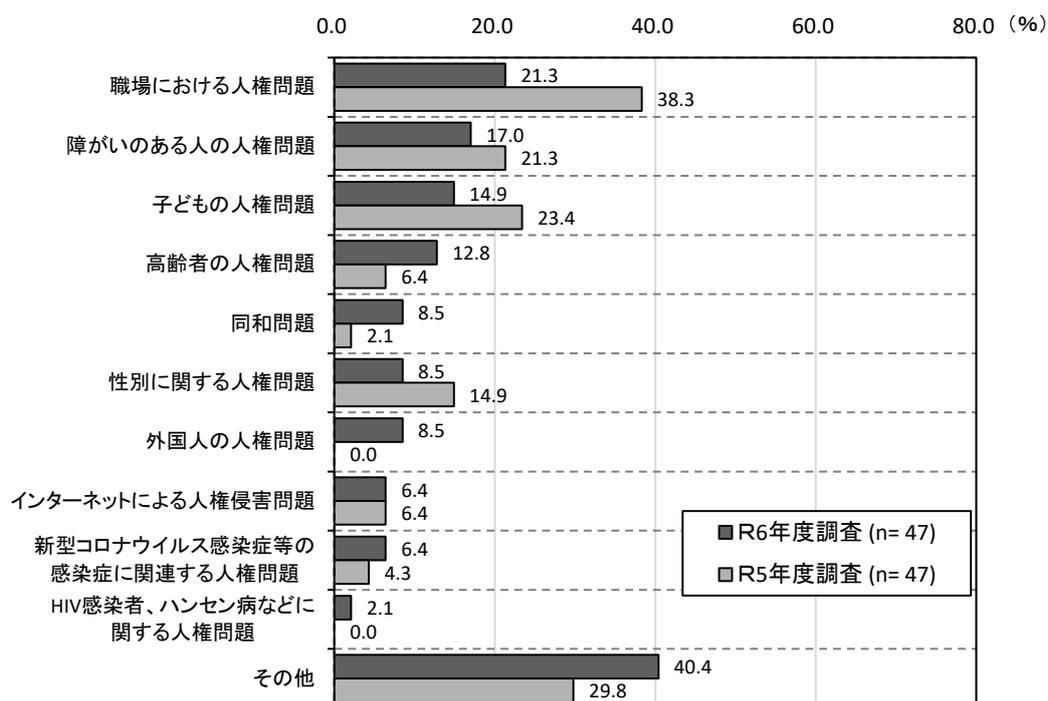
### 15. 人権侵害の経験の内容(問 33)

● 人権侵害の経験の内容は「その他」(40.4%) が最も高い。

人権侵害の経験の内容について、「その他」(40.4%) が最も高く、次いで「職場における人権問題」(21.3%)、「障がいのある人の人権問題」(17.0%)、「子どもの人権問題」(14.9%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、令和5年度調査と比べて「その他」(10.6ポイント増)、「外国人の人権問題」(8.5ポイント増)、「高齢者の人権問題」「同和問題」(同数で6.4ポイント増)などが増加している。

#### 問 33. 【人権を侵害されたことがあると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



性別にみると、男女ともに「その他」（男性 38.9%、女性 42.9%）が最も高くなっている。続いて、男性は「職場における人権問題」（27.8%）と「子どもの人権問題」（22.2%）となっている。一方、女性は「障がいのある人の人権問題」（21.4%）、「職場における人権問題」（17.9%）の順になっている。

年代別にみると、50歳代以上で回答された項目が増えており、多くの種類の問題に直面している状況が見られる。

小学校区別にみると、「職場における人権問題」と「子どもの人権問題」が5か所の小学校区で回答があり、他の問題と比べて広い地域で発生している状況が見られる。

（%）

	標本数	職場における人権問題	障がいのある人の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	同和問題	性別に関する人権問題	外国人の人権問題	インターネットによる人権侵害問題	感染症等の人権問題	新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	H1N1感染者、ハンセン病などに関する人権問題	その他
全体	47	10	8	7	6	4	4	4	3	3	1	19	
	-	21.3	17.0	14.9	12.8	8.5	8.5	8.5	6.4	6.4	2.1	40.4	
性別	男性	18	27.8	11.1	22.2	16.7	16.7	-	11.1	11.1	16.7	5.6	38.9
	女性	28	17.9	21.4	10.7	10.7	3.6	14.3	7.1	3.6	-	-	42.9
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	6	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	30歳代	5	40.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0
	40歳代	8	-	12.5	25.0	-	-	-	12.5	-	-	-	50.0
	50歳代	10	40.0	40.0	10.0	10.0	-	10.0	-	10.0	10.0	-	20.0
	60歳代	9	11.1	22.2	-	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	44.4
	70歳代以上	9	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	66.7
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	6	-	16.7	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	50.0
	太宰府東小学校区	9	22.2	22.2	11.1	-	-	-	-	22.2	-	-	44.4
	太宰府南小学校区	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	33.3
	水城小学校区	9	33.3	-	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	-	-	-	33.3
	水城西小学校区	5	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0
	太宰府西小学校区	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	国分小学校区	7	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	28.6
	わからない	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

### 16. 市内での人権の尊重(問 34)

● 人権が『尊重されている派』は67.4%、『尊重されていない派』は12.3%となっている。

市内での人権の尊重について、『尊重されている派』（「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計）は67.4%となっている。一方、『尊重されていない派』（「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」の合計）は12.3%で、『尊重されている派』が55.1ポイント高くなっている。

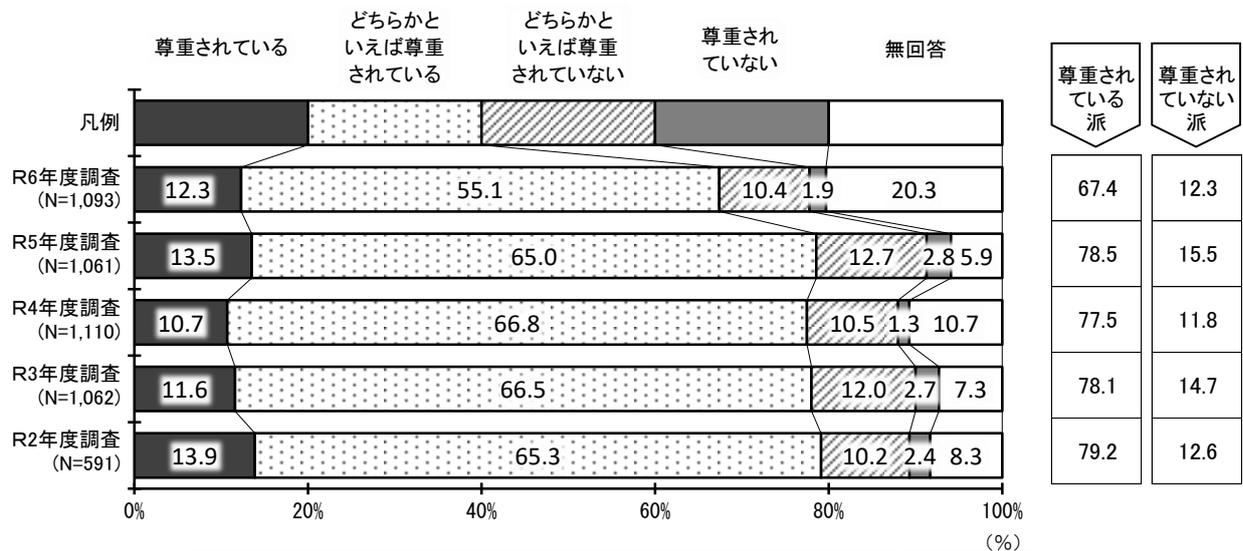
過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』は令和5年度調査より11.1ポイント減少して、7割を超えていたものが6割台になっている。

性別にみると、『尊重されている派』は男性が69.6%、女性が66.0%で男性の方が高くなっている。

年代別にみると、『尊重されている派』は70歳代以上の77.6%が最も高く、20歳代の58.1%が最も低い。『尊重されていない派』は60歳代（18.6%）が高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（74.0%）となっている。一方、最も低いのは太宰府南小学校区（60.9%）となっている。

#### 問 34. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(〇は1つ)



	標本数	尊重されている				尊重されていない		無回答	
		尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	尊重されている派	尊重されていない派		
全体	1,093	134	602	114	21	222	736	135	
	100.0	12.3	55.1	10.4	1.9	20.3	67.4	12.3	
性別									
男性	464	13.1	56.5	9.7	1.9	18.8	69.6	11.6	
女性	603	11.9	54.1	10.4	1.7	21.9	66.0	12.1	
無回答	26	3.8	53.8	23.1	7.7	11.5	57.6	30.8	
年代別									
20歳代	74	17.6	40.5	5.4	-	36.5	58.1	5.4	
30歳代	126	11.9	51.6	7.1	2.4	27.0	63.5	9.5	
40歳代	187	15.5	44.4	9.1	-	31.0	59.9	9.1	
50歳代	228	11.4	55.3	10.1	2.6	20.6	66.7	12.7	
60歳代	193	6.7	59.6	15.5	3.1	15.0	66.3	18.6	
70歳代以上	282	13.1	64.5	10.6	2.1	9.6	77.6	12.7	
無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3	
小学校区別									
太宰府小学校区	152	13.8	55.3	9.9	3.3	17.8	69.1	13.2	
太宰府東小学校区	123	7.3	66.7	10.6	3.3	12.2	74.0	13.9	
太宰府南小学校区	92	3.3	57.6	10.9	2.2	26.1	60.9	13.1	
水城小学校区	187	15.0	53.5	10.2	-	21.4	68.5	10.2	
水城西小学校区	137	14.6	53.3	9.5	-	22.6	67.9	9.5	
太宰府西小学校区	165	10.3	51.5	11.5	2.4	24.2	61.8	13.9	
国分小学校区	152	14.5	55.3	9.2	3.9	17.1	69.8	13.1	
わからない	77	16.9	45.5	13.0	-	24.7	62.4	13.0	
無回答	8	12.5	75.0	12.5	-	-	87.5	12.5	

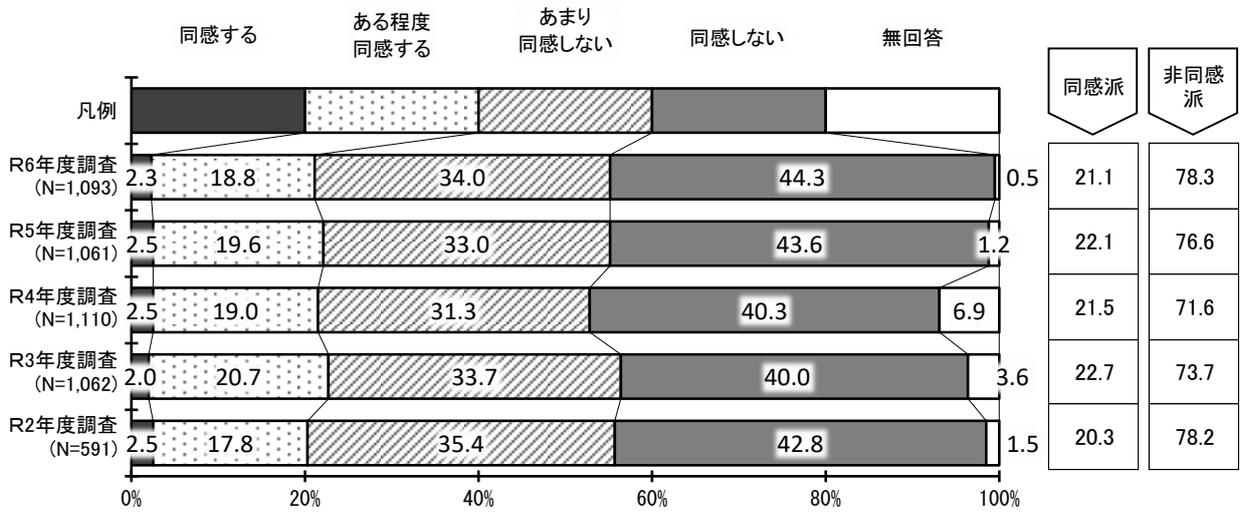
17. 固定的な役割分担に対する考え方(問 35)

● 固定的な役割分担に『非同感派』(78.3%)の方が、『同感派』(21.1%)よりも高い。

固定的な役割分担に対する考え方について、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に、『同感派』(「同感する」と「ある程度同感する」の合計)は21.1%となっている。一方、『非同感派』(「同感しない」と「あまり同感しない」の合計)は78.3%で、『非同感派』の方が『同感派』より57.2ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『非同感派』は令和5年度調査より1.7ポイント増加している。性別・年代別にみると、『非同感派』はすべての年代で女性の方が男性より高くなっている。小学校区別にみると、『非同感派』が最も高いのは、水城小学校区(80.8%)となっている。

問 35. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



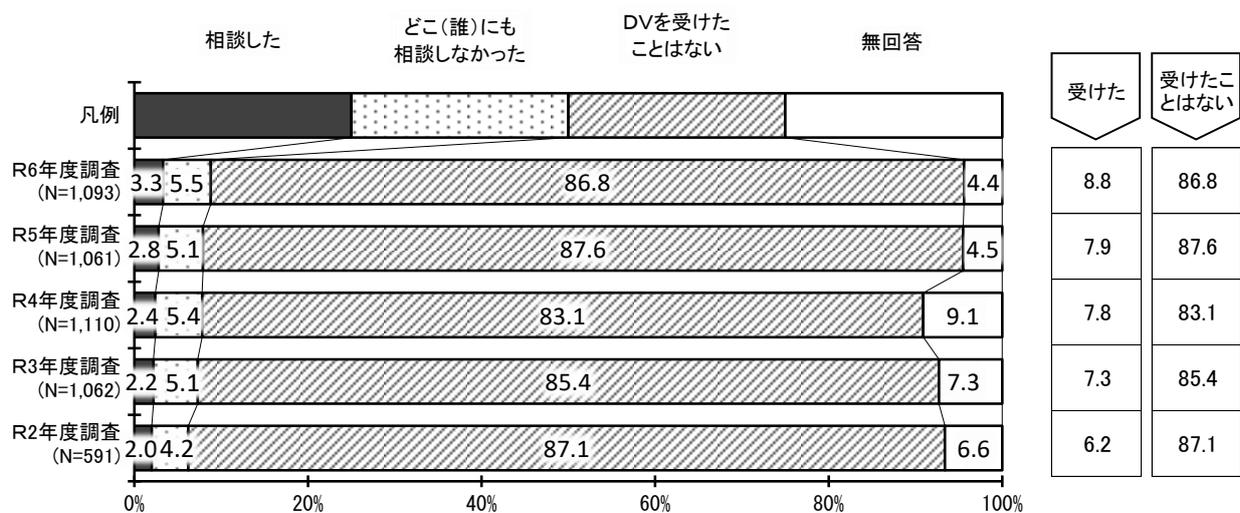
		標本数	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派	非同感派
全体		1,093	2.3	18.8	34.0	44.3	0.5	21.1	78.3
性別	男性	464	3.9	23.7	34.5	37.7	0.2	27.6	72.2
	女性	603	1.0	14.9	33.8	49.4	0.8	15.9	83.2
	無回答	26	3.8	23.1	30.8	42.3	-	26.9	73.1
性別・年代別	男性：20歳代	22	4.5	18.2	18.2	54.5	4.5	22.7	77.2
	男性：30歳代	51	5.9	27.5	35.3	31.4	-	33.4	66.6
	男性：40歳代	81	6.2	18.5	27.2	48.1	-	24.7	75.3
	男性：50歳代	103	2.9	25.2	35.0	36.9	-	28.1	71.9
	男性：60歳代	76	2.6	17.1	38.2	42.1	-	19.7	80.3
	男性：70歳以上	131	3.1	29.0	38.9	29.0	-	32.1	67.9
	女性：20歳代	52	-	9.6	23.1	67.3	-	9.6	90.4
	女性：30歳代	75	1.3	8.0	32.0	58.7	-	9.3	90.7
	女性：40歳代	102	2.0	9.8	40.2	47.1	1.0	11.8	87.3
	女性：50歳代	119	0.8	12.6	36.1	49.6	0.8	13.4	85.7
	女性：60歳代	115	-	14.8	30.4	53.0	1.7	14.8	83.4
	女性：70歳以上	138	1.4	26.1	34.8	37.0	0.7	27.5	71.8
無回答	28	3.6	25.0	32.1	39.3	-	28.6	71.4	
小学校区別	太宰府小学校区	152	2.6	17.8	28.9	50.0	0.7	20.4	78.9
	太宰府東小学校区	123	2.4	22.8	31.7	41.5	1.6	25.2	73.2
	太宰府南小学校区	92	2.2	19.6	37.0	41.3	-	21.8	78.3
	水城小学校区	187	2.1	16.6	36.4	44.4	0.5	18.7	80.8
	水城西小学校区	137	3.6	19.0	36.5	40.9	-	22.6	77.4
	太宰府西小学校区	165	1.8	17.6	33.3	47.3	-	19.4	80.6
	国分小学校区	152	2.6	17.8	36.2	42.1	1.3	20.4	78.3
	わからない	77	-	22.1	31.2	46.8	-	22.1	78.0
	無回答	8	-	37.5	37.5	25.0	-	37.5	62.5

### 18. DVを受けた経験がある場合の相談経験(問 36)

● DVを『受けた』は8.8%、『受けたことはない』は86.8%となっている。

DVを受けた経験がある場合の相談経験について、「DVを受けたことはない」と答えた人が86.8%と8割以上を占めている。なお、DVを「相談した」と答えた人(3.3%)と「どこ(誰)にも相談しなかった」(5.5%)を合わせたDVを『受けた』経験がある人は8.8%となっている。過去の調査結果と比べると、令和5年度調査より『受けた』は0.9ポイント増加している。性別・年代別にみると、男性：20歳代以外でDVを『受けた』経験があると回答している。小学校区別にみると、すべての小学校区でDVを『受けた』経験があると回答している。

#### 問 36. 配偶者(元配偶者も含む)や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ(誰)かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む](○は1つ)



		標本数	相談した	なにもかも相談しなかった(誰)	いたDVをうけたことはない	無回答	受けた	は受けたことはない
全体		1,093	36	60	949	48	96	949
		100.0	3.3	5.5	86.8	4.4	8.8	86.8
性別・年代別	男性：20歳代	22	-	-	90.9	9.1	-	90.9
	男性：30歳代	51	2.0	2.0	92.2	3.9	4.0	92.2
	男性：40歳代	81	-	2.5	96.3	1.2	2.5	96.3
	男性：50歳代	103	-	7.8	86.4	5.8	7.8	86.4
	男性：60歳代	76	1.3	3.9	88.2	6.6	5.2	88.2
	男性：70歳以上	131	0.8	3.1	91.6	4.6	3.9	91.6
	女性：20歳代	52	5.8	1.9	88.5	3.8	7.7	88.5
	女性：30歳代	75	6.7	4.0	89.3	-	10.7	89.3
	女性：40歳代	102	2.0	5.9	89.2	2.9	7.9	89.2
	女性：50歳代	119	11.8	5.9	80.7	1.7	17.7	80.7
女性：60歳代	115	0.9	9.6	81.7	7.8	10.5	81.7	
女性：70歳以上	138	5.8	9.4	80.4	4.3	15.2	80.4	
無回答		28	-	3.6	82.1	14.3	3.6	82.1
小学校区別	太宰府小学校区	152	2.0	6.6	84.9	6.6	8.6	84.9
	太宰府東小学校区	123	2.4	4.9	89.4	3.3	7.3	89.4
	太宰府南小学校区	92	2.2	7.6	85.9	4.3	9.8	85.9
	水城小学校区	187	4.3	4.8	87.7	3.2	9.1	87.7
	水城西小学校区	137	4.4	6.6	83.9	5.1	11.0	83.9
	太宰府西小学校区	165	1.8	3.6	89.7	4.8	5.4	89.7
	国分小学校区	152	2.6	4.6	90.1	2.6	7.2	90.1
	わからない	77	9.1	7.8	79.2	3.9	16.9	79.2
	無回答	8	-	-	75.0	25.0	-	75.0

### 19. 生涯学習活動の取り組み状況(問 37)

● 生涯学習の『週1回以上の実施率』は31.0%となっている。

生涯学習活動の取り組み状況について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」と「週に1回程度取り組んでいる」の合計）は31.0%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は42.3%となっている。

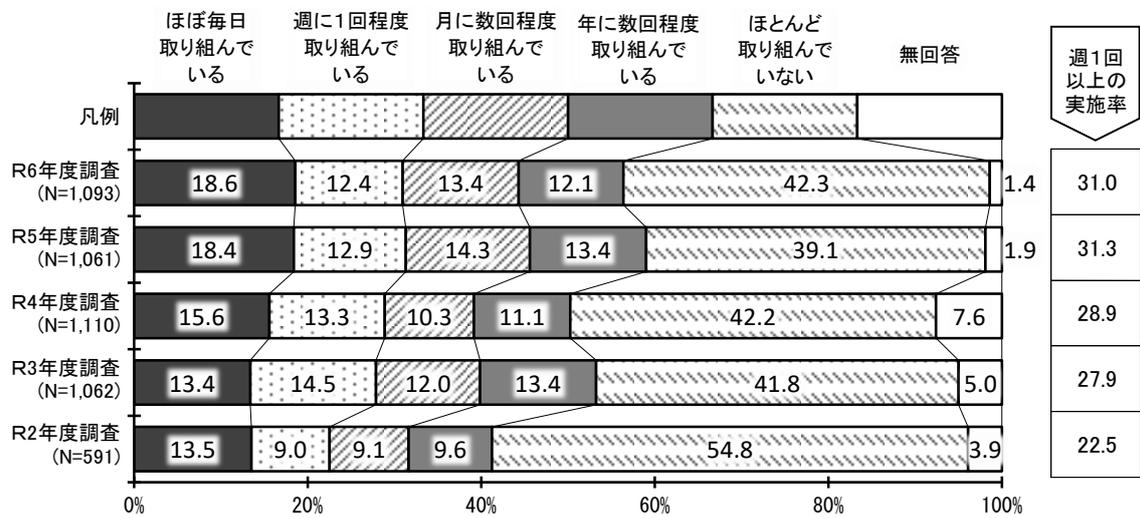
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は0.3ポイント減少とほぼ変わらない。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は、男性（31.3%）、女性（30.9%）と、男女に大きな差はない。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（50.0%）、次いで、70歳代以上（35.8%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（35.8%）となっている。

#### 問 37. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(○は1つ)



		標本数	組 ん ぼ ど 毎 日 取 り 組 み て い る	週 に 1 回 程 度 取 り 組 み て い る	月 に 数 回 程 度 取 り 組 み て い る	年 に 数 回 程 度 取 り 組 み て い る	組 ん ど 取 り 組 み て い な い	無 回 答	実 週 施 1 回 以 上 の 実 施 率
全 体		1,093	203	135	146	132	462	15	338
性 別	男 性	464	18.8	12.5	12.9	11.6	43.8	0.4	31.3
	女 性	603	18.6	12.3	13.4	12.6	41.1	2.0	30.9
	無回答	26	15.4	11.5	19.2	7.7	42.3	3.8	26.9
年 代 別	20歳代	74	33.8	16.2	9.5	6.8	32.4	1.4	50.0
	30歳代	126	7.1	17.5	17.5	7.9	50.0	-	24.6
	40歳代	187	16.0	10.2	12.3	20.3	40.6	0.5	26.2
	50歳代	228	18.9	7.9	13.2	14.9	43.9	1.3	26.8
	60歳代	193	18.1	11.4	11.9	12.4	45.6	0.5	29.5
	70歳代以上	282	21.3	14.5	14.5	7.4	39.0	3.2	35.8
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	66.6
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	152	23.7	11.8	14.5	8.6	38.8	2.6	35.5
	太宰府東小学校区	123	24.4	11.4	14.6	13.8	34.1	1.6	35.8
	太宰府南小学校区	92	25.0	8.7	14.1	7.6	42.4	2.2	33.7
	水城小学校区	187	12.3	13.9	16.0	12.3	43.9	1.6	26.2
	水城西小学校区	137	18.2	14.6	10.2	14.6	41.6	0.7	32.8
	太宰府西小学校区	165	17.6	9.1	15.2	15.2	43.0	-	26.7
	国分小学校区	152	16.4	15.8	10.5	13.2	42.8	1.3	32.2
	わからない	77	11.7	10.4	9.1	9.1	58.4	1.3	22.1
	無回答	8	37.5	25.0	12.5	-	25.0	-	62.5

## 20. 運動・スポーツの取り組み頻度(問 38)

● 運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は46.2%となっている。

運動・スポーツの取り組み頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に3回程度行っている」、「週に1回程度行っている」の合計）は46.2%となっている。

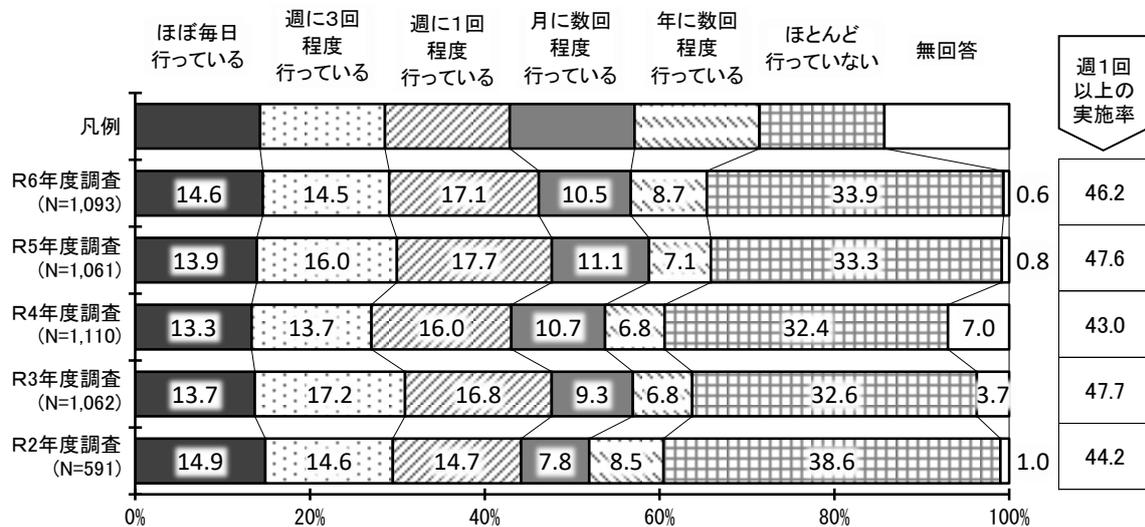
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は令和5年度の調査から1.4ポイント減少している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（51.2%）の方が女性（41.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳代以上（60.3%）が最も高く、次いで60歳代（48.1%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府西小学校区（58.7%）となっている。一方、最も低いのは水城小学校区（40.6%）となっている。

### 問 38. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に3回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	の週1回以上の実施率
全体		1,093	160	158	187	115	95	371	7	505
		100.0	14.6	14.5	17.1	10.5	8.7	33.9	0.6	46.2
性別	男性	464	18.5	15.5	17.2	10.3	9.1	29.3	-	51.2
	女性	603	11.6	13.4	16.9	10.9	8.5	37.5	1.2	41.9
	無回答	26	15.4	19.2	19.2	3.8	7.7	34.6	-	53.8
年代別	20歳代	74	14.9	10.8	18.9	17.6	10.8	27.0	-	44.6
	30歳代	126	3.2	10.3	18.3	11.1	12.7	44.4	-	31.8
	40歳代	187	10.7	8.6	20.3	12.3	12.8	34.8	0.5	39.6
	50歳代	228	12.3	10.1	18.4	13.6	8.8	36.0	0.9	40.8
	60歳代	193	15.0	18.1	15.0	5.2	6.7	38.9	1.0	48.1
	70歳代以上	282	24.1	22.0	14.2	8.5	4.6	25.9	0.7	60.3
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	152	11.8	13.8	17.8	9.9	6.6	38.8	1.3	43.4
	太宰府東小学校区	123	14.6	13.0	18.7	6.5	14.6	32.5	-	46.3
	太宰府南小学校区	92	17.4	8.7	16.3	8.7	9.8	39.1	-	42.4
	水城小学校区	187	10.7	11.2	18.7	15.0	8.0	35.8	0.5	40.6
	水城西小学校区	137	14.6	15.3	21.2	9.5	6.6	32.8	-	51.1
	太宰府西小学校区	165	21.8	24.2	12.7	12.1	4.8	24.2	-	58.7
	国分小学校区	152	15.1	13.2	16.4	10.5	9.9	32.9	2.0	44.7
	わからない	77	11.7	10.4	13.0	9.1	13.0	41.6	1.3	35.1
	無回答	8	-	37.5	25.0	-	12.5	25.0	-	62.5

## 21. 文化芸術活動の取り組み状況(問 39)

● 文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が54.0%となっている。

文化芸術の取り組み状況について、日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」の合計）は16.6%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は28.7%、「ほとんど行っていない」は54.0%となっている。

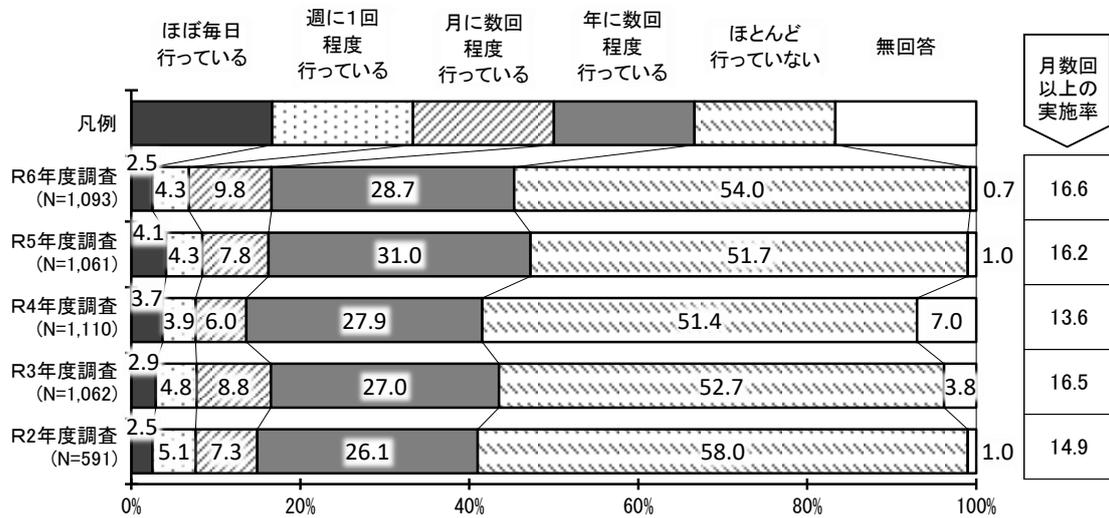
過去の調査結果と比べると、令和5年度の調査から『月数回以上の実施率』は0.4ポイント増とほぼ変わらないが、「ほぼ毎日行っている」が下がり「月に数回程度行っている」が増加している。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は女性（17.2%）の方が男性（15.5%）より高くなっている。

年代別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（28.5%）となっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府小学校区（22.3%）となっている。

### 問 39. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	率上月の数実回施以
全体		1,093	2.5	4.3	10.7	28.7	54.0	0.7	16.6
性別	男性	464	3.2	4.5	7.8	25.0	59.5	-	15.5
	女性	603	2.0	4.1	11.1	31.8	49.8	1.2	17.2
	無回答	26	-	3.8	15.4	23.1	53.8	3.8	19.2
年代別	20歳代	74	6.8	12.2	9.5	12.2	59.5	-	28.5
	30歳代	126	2.4	3.2	7.9	24.6	61.1	0.8	13.5
	40歳代	187	3.7	2.1	5.3	29.4	58.8	0.5	11.1
	50歳代	228	1.3	1.8	9.6	28.5	58.3	0.4	12.7
	60歳代	193	3.1	3.6	9.3	29.5	53.4	1.0	16.0
	70歳代以上	282	1.1	6.7	13.8	34.0	43.3	1.1	21.6
	無回答	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	2.6	3.3	16.4	24.3	52.0	1.3	22.3
	太宰府東小学校区	123	2.4	6.5	10.6	35.0	45.5	-	19.5
	太宰府南小学校区	92	3.3	1.1	8.7	21.7	64.1	1.1	13.1
	水城小学校区	187	3.2	2.7	9.1	26.7	57.2	1.1	15.0
	水城西小学校区	137	1.5	8.8	6.6	32.8	50.4	-	16.9
	太宰府西小学校区	165	1.2	4.8	9.7	32.7	51.5	-	15.7
	国分小学校区	152	3.3	2.6	9.2	31.6	52.0	1.3	15.1
	わからない	77	1.3	3.9	6.5	22.1	64.9	1.3	11.7
	無回答	8	12.5	12.5	-	-	75.0	-	25.0

## 22. 地域の環境マナーの順守状況(問 40)

- 地域の環境マナーについて『守られている』は 77.5%、『守られていない』は 22.3%となっている。

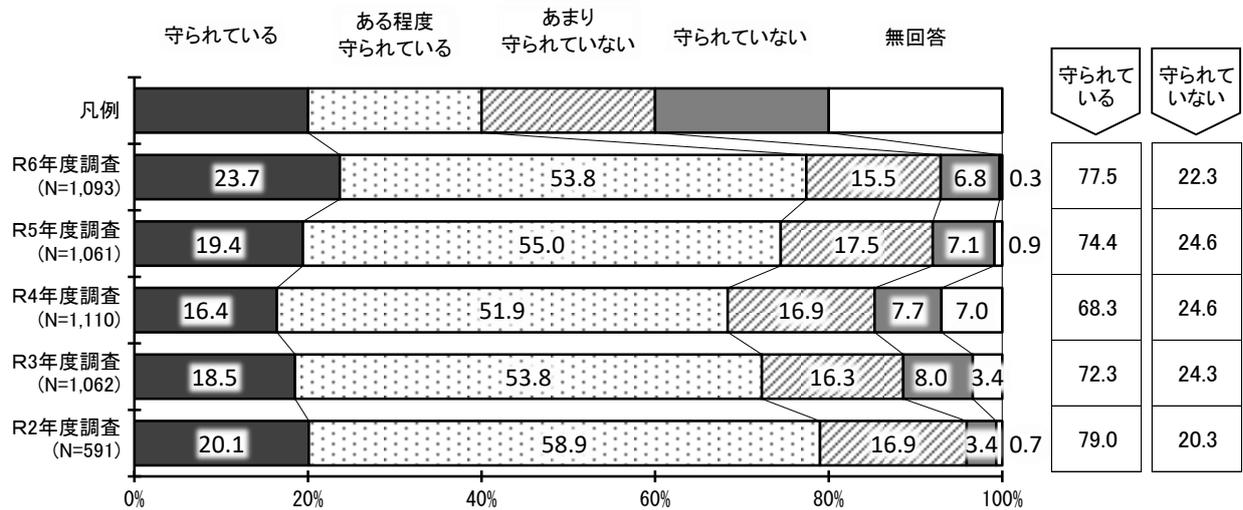
地域の環境マナーの順守状況について、『守られている』（「守られている」と「ある程度守られている」の合計）は 77.5%となっている。一方、『守られていない』（「守られていない」と「あまり守られていない」の合計）は 22.3%で、『守られている』が『守られていない』を 55.2 ポイント上回っている。

過去の調査結果と比べると、『守られている』は令和 5 年度調査から 3.1 ポイント増加している。

性別にみると、『守られている』は女性（78.8%）の方が男性（75.8%）より高くなっている。年代別にみると、『守られている』は 70 歳代以上（81.5%）の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『守られている』は、太宰府東小学校区（84.5%）が最も高く、次いで水城西小学校区（80.3%）の順になっている。

問 40. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	い守るられて	い守あるるれ程度	ならあまれりい守	い守ならいれて	無回答	い守るられて	い守ならいれて
全体		1,093	259	588	169	74	3	847	243
		100.0	23.7	53.8	15.5	6.8	0.3	77.5	22.3
性別	男性	464	23.9	51.9	17.5	6.5	0.2	75.8	24.0
	女性	603	22.9	55.9	13.9	7.0	0.3	78.8	20.9
	無回答	26	38.5	38.5	15.4	7.7	-	77.0	23.1
年代別	20歳代	74	24.3	51.4	18.9	5.4	-	75.7	24.3
	30歳代	126	20.6	56.3	8.7	14.3	-	76.9	23.0
	40歳代	187	20.9	53.5	16.6	9.1	-	74.4	25.7
	50歳代	228	22.4	56.1	17.1	4.4	-	78.5	21.5
	60歳代	193	20.2	53.9	17.6	7.8	0.5	74.1	25.4
	70歳代以上	282	30.1	51.4	14.2	3.5	0.7	81.5	17.7
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	19.7	54.6	13.8	11.2	0.7	74.3	25.0
	太宰府東小学校区	123	26.8	57.7	11.4	4.1	-	84.5	15.5
	太宰府南小学校区	92	16.3	53.3	20.7	8.7	1.1	69.6	29.4
	水城西小学校区	187	23.0	52.4	17.1	7.0	0.5	75.4	24.1
	水城西小学校区	137	26.3	54.0	15.3	4.4	-	80.3	19.7
	太宰府西小学校区	165	25.5	54.5	13.9	6.1	-	80.0	20.0
	国分小学校区	152	21.1	57.9	16.4	4.6	-	79.0	21.0
	わからない	77	29.9	44.2	15.6	10.4	-	74.1	26.0
	無回答	8	62.5	12.5	25.0	-	-	75.0	25.0

### 23. 地域の美化運動への参加状況(問 41)

● 地域の清掃活動に『参加している派』は69.3%で、年齢が上がるほど参加率が高い。

地域の美化運動への参加状況について、『参加している派』（「いつも参加している」と「たまに参加している」の合計）は69.3%となっている。一方、「参加していない」は30.3%で、『参加している派』が『参加していない派』を39.0ポイント上回っている。

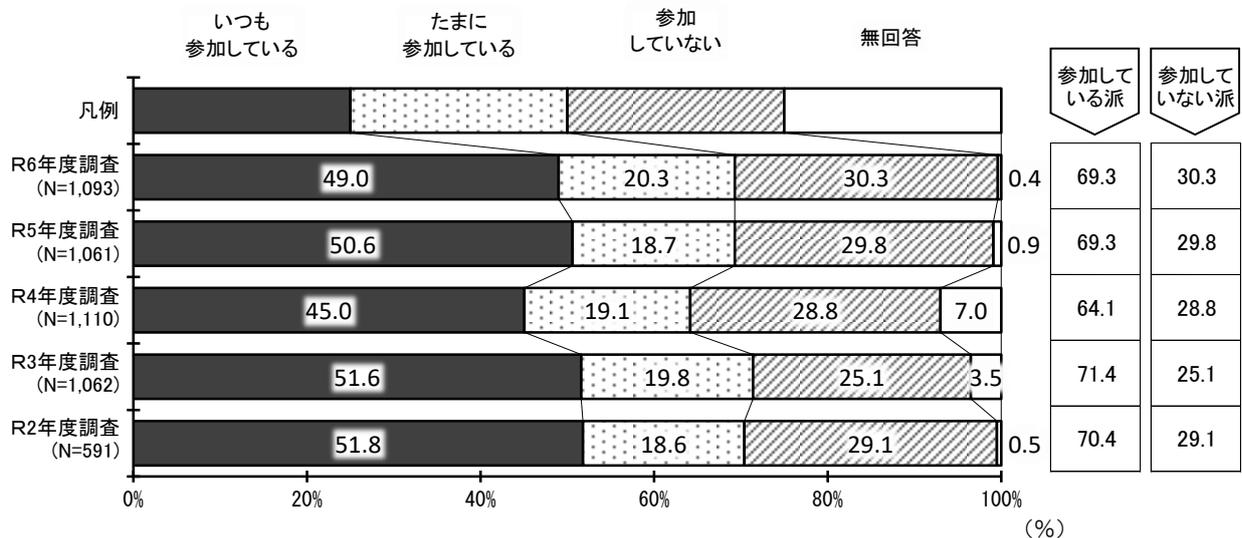
過去の調査結果と比べると、『参加している派』は、令和5年度調査と同数だが、『参加していない派』が0.5ポイント増加している。

性別にみると、『参加している派』は男性（70.4%）の方が女性（68.0%）より高くなっている。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ『参加している派』の割合が高くなる傾向となっている。20歳代と30歳代では『参加していない派』が5割を超えている。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（80.5%）となっている。一方、『参加していない派』が最も高いのは水城小学校区（41.2%）となっている。

#### 問 41. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(〇は1つ)



		標本数	いつも参加している (%)	たまに参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加している派 (%)	参加していない派 (%)
全体		1,093	49.0	20.3	30.3	0.4	69.3	30.3
性別	男性	464	49.1	21.3	29.3	0.2	70.4	29.3
	女性	603	49.3	18.7	31.5	0.5	68.0	31.5
	無回答	26	42.3	38.5	19.2	-	80.8	19.2
年代別	20歳代	74	9.5	27.0	63.5	-	36.5	63.5
	30歳代	126	28.6	19.0	52.4	-	47.6	52.4
	40歳代	187	40.1	26.7	33.2	-	66.8	33.2
	50歳代	228	43.4	24.1	32.5	-	67.5	32.5
	60歳代	193	65.8	13.5	20.2	0.5	79.3	20.2
	70歳代以上	282	67.4	16.3	15.2	1.1	83.7	15.2
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	54.6	19.7	25.0	0.7	74.3	25.0
	太宰府東小学校区	123	60.2	18.7	21.1	-	78.9	21.1
	太宰府南小学校区	92	59.8	20.7	19.6	-	80.5	19.6
	水城小学校区	187	33.2	25.1	41.2	0.5	58.3	41.2
	水城西小学校区	137	44.5	27.7	27.7	-	72.2	27.7
	太宰府西小学校区	165	54.5	20.0	25.5	-	74.5	25.5
	国分小学校区	152	61.8	13.8	23.7	0.7	75.6	23.7
	わからない	77	19.5	11.7	67.5	1.3	31.2	67.5
	無回答	8	25.0	25.0	50.0	-	50.0	50.0

## 24. 市内の自然の豊かさ(問 42)

● 自然の豊かさについて『肯定派』は91.2%、『否定派』は8.1%となっている。

市内の自然の豊かさについて、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は91.2%、一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は8.1%で、『肯定派』の方が『否定派』より83.1ポイント高くなっている。

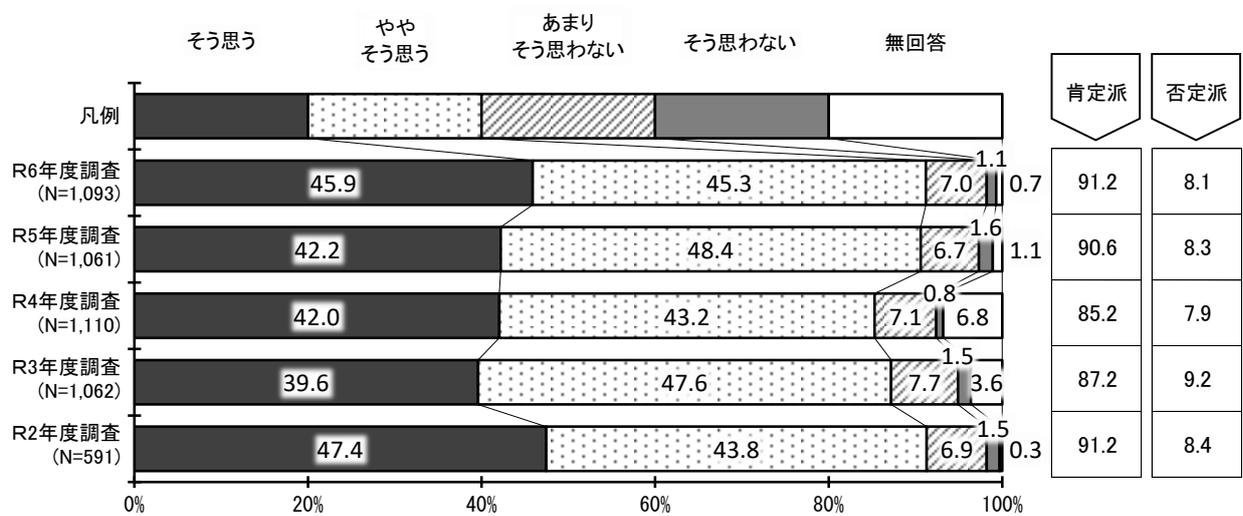
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査から0.6ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（93.0%）の方が、男性（89.0%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』は8割を超えており、20歳代（95.9%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が8割を超えており、水城小学校区（95.2%）が最も高くなっている。

### 問 42. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,093	502	495	76	12	8	997	88
		100.0	45.9	45.3	7.0	1.1	0.7	91.2	8.1
性別	男性	464	43.3	45.7	9.3	1.5	0.2	89.0	10.8
	女性	603	48.6	44.4	5.3	0.7	1.0	93.0	6.0
	無回答	26	30.8	57.7	3.8	3.8	3.8	88.5	7.6
年代別	20歳代	74	48.6	47.3	2.7	1.4	-	95.9	4.1
	30歳代	126	46.8	42.9	7.1	2.4	0.8	89.7	9.5
	40歳代	187	51.9	41.2	6.4	0.5	-	93.1	6.9
	50歳代	228	48.2	43.9	7.0	0.9	-	92.1	7.9
	60歳代	193	43.0	50.3	5.7	0.5	0.5	93.3	6.2
	70歳代以上	282	40.8	46.8	8.9	1.4	2.1	87.6	10.3
	無回答	3	66.7	-	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	49.3	42.8	4.6	1.3	2.0	92.1	5.9
	太宰府東小学校区	123	45.5	43.9	8.9	1.6	-	89.4	10.5
	太宰府南小学校区	92	35.9	52.2	9.8	1.1	1.1	88.1	10.9
	水城小学校区	187	51.9	43.3	2.1	1.6	1.1	95.2	3.7
	水城西小学校区	137	43.1	49.6	7.3	-	-	92.7	7.3
	太宰府西小学校区	165	39.4	48.5	10.3	1.2	0.6	87.9	11.5
	国分小学校区	152	52.0	40.8	5.9	0.7	0.7	92.8	6.6
	わからない	77	48.1	41.6	9.1	1.3	-	89.7	10.4
	無回答	8	12.5	62.5	25.0	-	-	75.0	25.0

25. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所(問 43)

● 市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は 48.2%となっている。

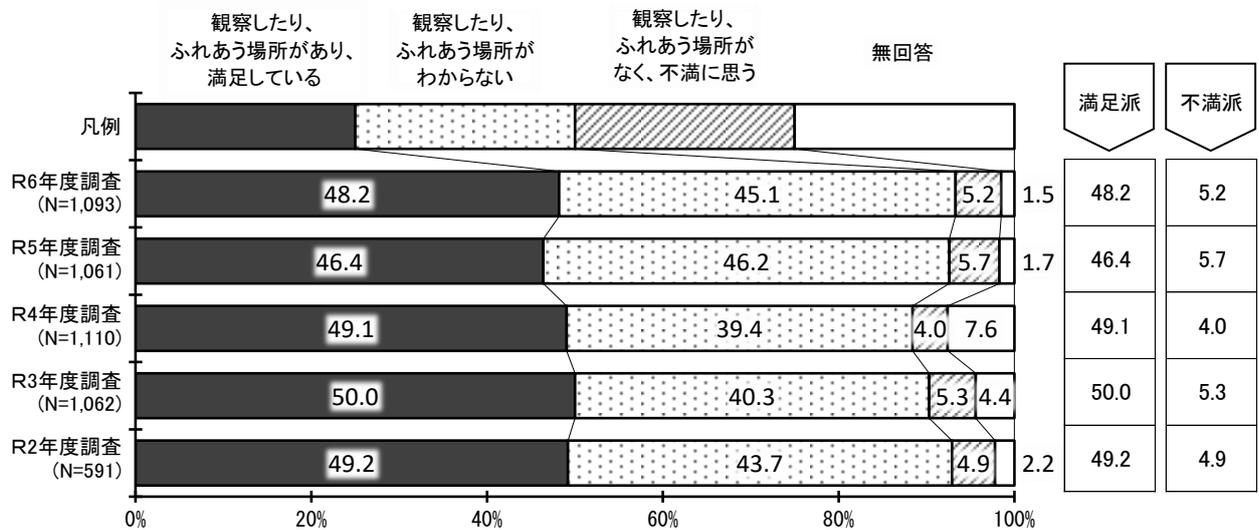
野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について、『満足派』（「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」）は 48.2%となっている。なお、『不満派』（「観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う」）は 5.2%となっている。

性別にみると、『満足派』は女性（52.1%）の方が男性（44.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『満足派』は 40 歳代（56.1%）が最も高く、次いで 30 歳代（49.2%）の順となっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府小学校区（55.3%）となっている。

問 43. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。(○は1つ)



		標本数	観察したり、ふれあう場所があり、満足している	観察したり、ふれあう場所がわからない	観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		1,093	48.2	45.1	5.2	1.5	48.2	5.2
性別	男性	464	44.8	46.6	7.5	1.1	44.8	7.5
	女性	603	52.1	43.1	3.2	1.7	52.1	3.2
	無回答	26	19.2	65.4	11.5	3.8	19.2	11.5
年代別	20歳代	74	45.9	47.3	5.4	1.4	45.9	5.4
	30歳代	126	49.2	41.3	8.7	0.8	49.2	8.7
	40歳代	187	56.1	35.3	7.5	1.1	56.1	7.5
	50歳代	228	46.5	49.1	3.5	0.9	46.5	3.5
	60歳代	193	45.6	48.2	4.7	1.6	45.6	4.7
	70歳代以上	282	46.5	47.5	3.5	2.5	46.5	3.5
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	55.3	40.1	2.0	2.6	55.3	2.0
	太宰府東小学校区	123	39.8	52.0	6.5	1.6	39.8	6.5
	太宰府南小学校区	92	42.4	52.2	3.3	2.2	42.4	3.3
	水城小学校区	187	53.5	40.1	4.8	1.6	53.5	4.8
	水城西小学校区	137	46.0	51.1	2.9	-	46.0	2.9
	太宰府西小学校区	165	52.1	36.4	10.9	0.6	52.1	10.9
	国分小学校区	152	51.3	42.8	3.3	2.6	51.3	3.3
	わからない	77	35.1	59.7	5.2	-	35.1	5.2
	無回答	8	12.5	50.0	37.5	-	12.5	37.5

## 26. 生ごみ堆肥化の取り組み状況(問 44)

● 生ごみ堆肥化の取り組みについて『実践派』は 16.8%で、『非実践派』(82.6%)の方が多い。

生ごみ堆肥化の取り組み状況について、『実践派』(「取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計)は 16.8%となっている。一方、『非実践派』(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は 82.6%で、『非実践派』が8割を占めている。

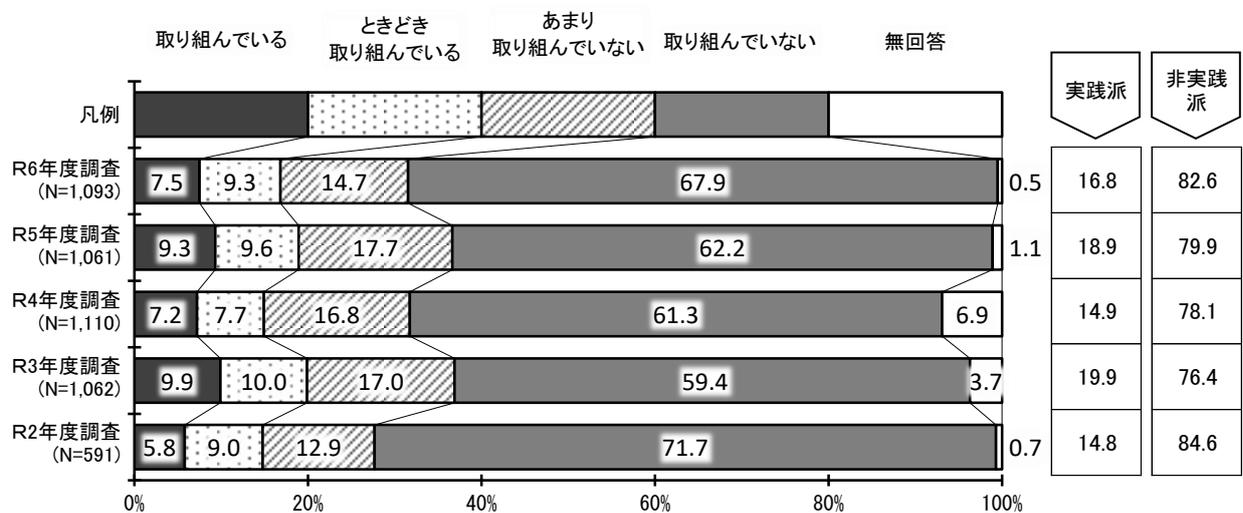
過去の調査結果と比べると、『実践派』は令和5年度調査から 2.1ポイント減少している。

性別にみると、『実践派』は女性(18.3%)の方が男性(15.3%)より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『非実践派』が7割を超えており、30歳代(89.7%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは国分小学校区(22.4%)となっている。一方、『非実践派』が最も高いのは水城西小学校区(88.3%)となっている。

### 問 44. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)



		標本数	で取 い る 組 ん	で取 と い り き る 組 ん ど ん き	い り あ な 組 ま い り な 組 み ん り で 取	で取 い り な 組 い ん	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全 体		1,093	82	102	161	742	6	16.8	82.6
性 別	男 性	464	6.7	8.6	14.9	69.4	0.4	15.3	84.3
	女 性	603	8.0	10.3	14.3	66.8	0.7	18.3	81.1
	無回答	26	11.5	-	23.1	65.4	-	11.5	88.5
年 代 別	20歳代	74	5.4	16.2	13.5	63.5	1.4	21.6	77.0
	30歳代	126	4.8	5.6	14.3	75.4	-	10.4	89.7
	40歳代	187	6.4	8.6	15.0	70.1	-	15.0	85.1
	50歳代	228	7.0	6.1	13.2	73.7	-	13.1	86.9
	60歳代	193	7.3	9.8	15.0	66.3	1.6	17.1	81.3
	70歳代以上	282	10.3	12.1	16.3	60.6	0.7	22.4	76.9
	無回答	3	33.3	-	-	66.7	-	33.3	66.7
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	152	9.9	9.9	17.1	62.5	0.7	19.8	79.6
	太宰府東小学校区	123	9.8	8.1	13.8	67.5	0.8	17.9	81.3
	太宰府南小学校区	92	8.7	10.9	16.3	64.1	-	19.6	80.4
	水城西小学校区	187	4.8	9.1	13.4	71.1	1.6	13.9	84.5
	水城西小学校区	137	3.6	8.0	15.3	73.0	-	11.6	88.3
	太宰府西小学校区	165	10.3	7.3	16.4	66.1	-	17.6	82.5
	国分小学校区	152	7.9	14.5	11.8	65.8	-	22.4	77.6
	わからない	77	2.6	6.5	13.0	77.9	-	9.1	90.9
無回答	8	25.0	-	25.0	37.5	12.5	25.0	62.5	

27. 省エネルギー・省資源の活動状況(問 45)

● 省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は 87.5%、『非実践派』は 12.0%となっている。

省エネルギー・省資源の活動状況（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）について、『実践派』（「行っている」と「ある程度行っている」）の合計は 87.5%となっている。一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」）の合計は 12.0%で、『実践派』が 75.5 ポイント高くなっている。

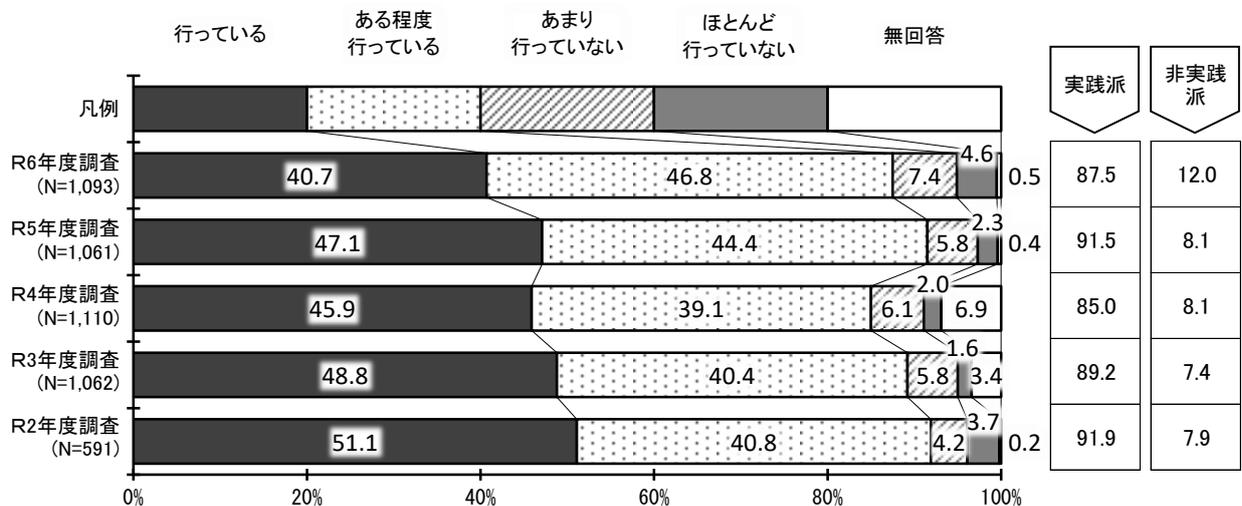
過去の調査結果と比べると、『実践派』は令和 5 年度調査から 4.0 ポイント減少している。

性別にみると、『実践派』は女性（91.2%）の方が男性（82.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『実践派』が 60 歳代以上で 9 割以上となっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（91.1%）となっている。

問 45. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）



		標本数	行っている	ある程度行っている	な行あ いづま てりい	な行ほ いづと てんい ど	無回答	実践派 (%)	非実践派 (%)
全体		1,093	445	511	81	50	6	956	131
		100.0	40.7	46.8	7.4	4.6	0.5	87.5	12.0
性別	男性	464	31.7	50.9	9.5	7.3	0.6	82.6	16.8
	女性	603	47.6	43.6	5.6	2.7	0.5	91.2	8.3
	無回答	26	42.3	46.2	11.5	-	-	88.5	11.5
年代別	20歳代	74	44.6	40.5	5.4	9.5	-	85.1	14.9
	30歳代	126	31.7	46.8	10.3	10.3	0.8	78.5	20.6
	40歳代	187	35.8	48.1	9.1	7.0	-	83.9	16.1
	50歳代	228	39.5	46.9	10.1	3.1	0.4	86.4	13.2
	60歳代	193	44.0	46.1	6.7	2.6	0.5	90.1	9.3
	70歳代以上	282	45.4	47.9	3.9	1.8	1.1	93.3	5.7
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	46.7	43.4	6.6	2.6	0.7	90.1	9.2
	太宰府東小学校区	123	43.1	48.0	4.9	4.1	-	91.1	9.0
	太宰府南小学校区	92	39.1	47.8	3.3	8.7	1.1	86.9	12.0
	水城小学校区	187	34.2	52.9	7.0	4.8	1.1	87.1	11.8
	水城西小学校区	137	42.3	46.0	9.5	2.2	-	88.3	11.7
	太宰府西小学校区	165	45.5	39.4	10.9	4.2	-	84.9	15.1
	国分小学校区	152	38.8	49.3	7.2	3.9	0.7	88.1	11.1
	わからない	77	35.1	45.5	9.1	9.1	1.3	80.6	18.2
	無回答	8	25.0	62.5	-	12.5	-	87.5	12.5

## 28. 環境に関する学習会等の参加状況(問 46)

● 環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 11.6%となっている。

環境に関する学習会等の参加状況について、『参加率』（「年に2回以上参加した」と「年に1回程度は参加した」の合計）は 11.6%となっている。一方、「参加したことはない」は 87.8%で、8割以上を占め、高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『参加率』は令和5年度調査より 0.3ポイント減少とほぼ変わらない。

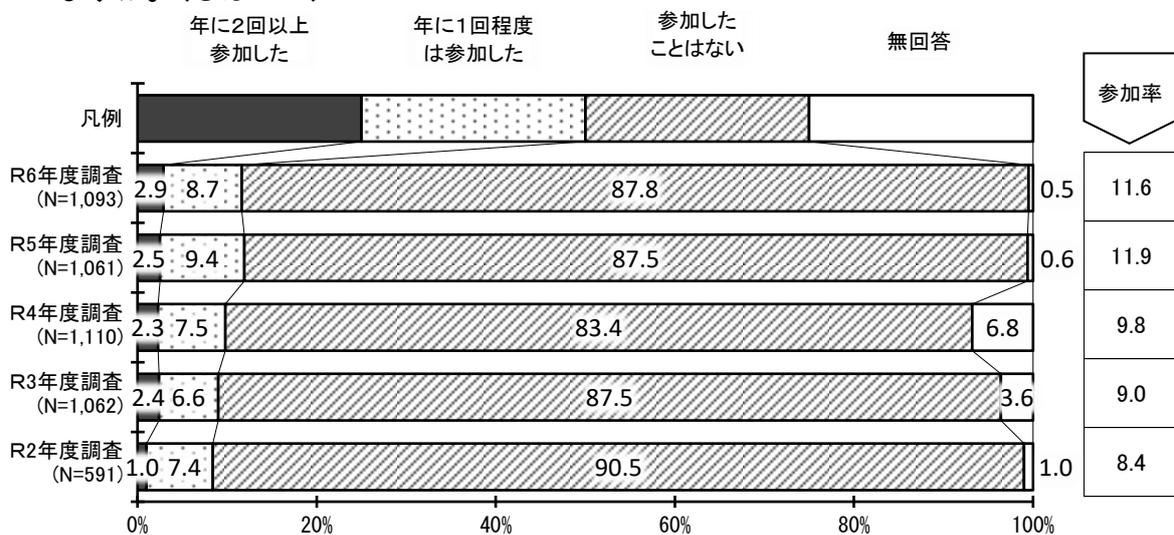
性別にみると、『参加率』は、男性（11.5%）、女性（11.6%）と、男女に大きな差はない。

年代別にみると、『参加率』が最も高いのは、70歳代以上（17.7%）となっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは、水城西小学校区（15.3%）となっている。

一方、『参加率』が最も低いのは、太宰府東小学校区（10.5%）となっている。

### 問 46. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	年に2回以上参加した	年に1回程度参加した	参加したことはない	無回答	参加率
全体		1,093	32	95	960	6	127
		100.0	2.9	8.7	87.8	0.5	11.6
性別	男性	464	2.2	9.3	87.9	0.6	11.5
	女性	603	3.3	8.3	87.9	0.5	11.6
	無回答	26	7.7	7.7	84.6	-	15.4
年代別	20歳代	74	-	8.1	91.9	-	8.1
	30歳代	126	0.8	6.3	92.1	0.8	7.1
	40歳代	187	3.7	7.5	88.2	0.5	11.2
	50歳代	228	1.3	6.6	92.1	-	7.9
	60歳代	193	3.1	8.8	87.6	0.5	11.9
	70歳代以上	282	5.3	12.4	81.2	1.1	17.7
	無回答	3	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	3.9	7.2	88.2	0.7	11.1
	太宰府東小学校区	123	1.6	8.9	89.4	-	10.5
	太宰府南小学校区	92	3.3	8.7	87.0	1.1	12.0
	水城小学校区	187	3.2	9.1	86.1	1.6	12.3
	水城西小学校区	137	3.6	11.7	84.7	-	15.3
	太宰府西小学校区	165	3.0	8.5	88.5	-	11.5
	国分小学校区	152	2.0	9.9	88.2	-	11.9
	わからない	77	2.6	2.6	93.5	1.3	5.2
	無回答	8	-	12.5	87.5	-	12.5

## 29. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価(問 47)

● 歴史的な景観が美しいと感じている人は91.1%となっている。

市内の歴史的な景観の美しさに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は91.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は8.1%で、『肯定派』が9割以上を占め、高くなっている。

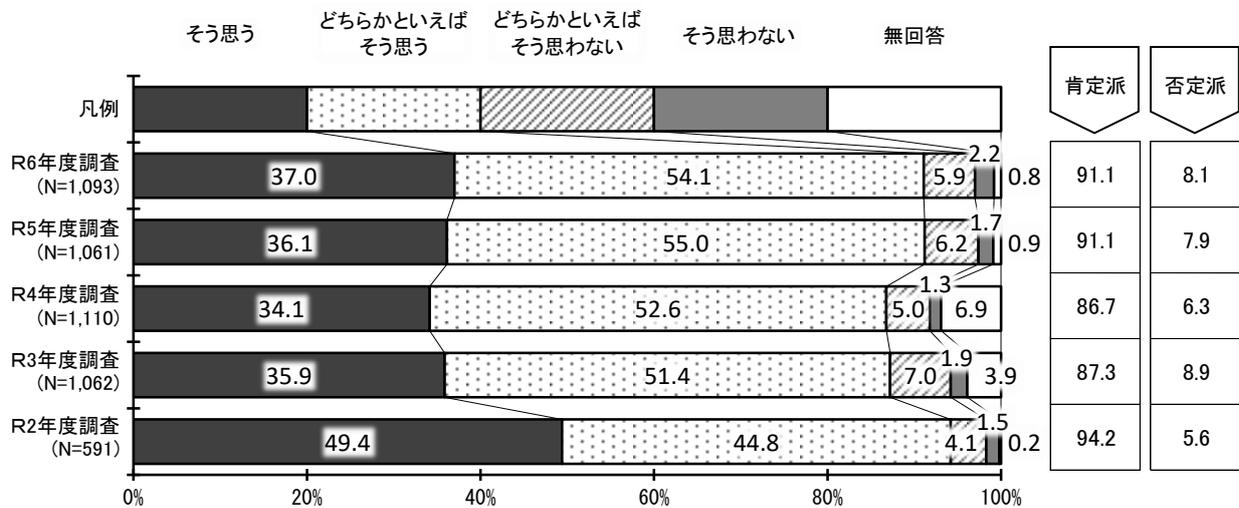
過去の調査結果と比べると、令和5年度調査よりほぼ変わらず、『肯定派』は同率で、『否定派』も0.2ポイント増加となっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（93.0%）の方が男性（88.8%）より高くなっている。

年代別にみると、50歳代以上で『肯定派』が9割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは、水城西小学校区（92.7%）となっている。

### 問 47. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



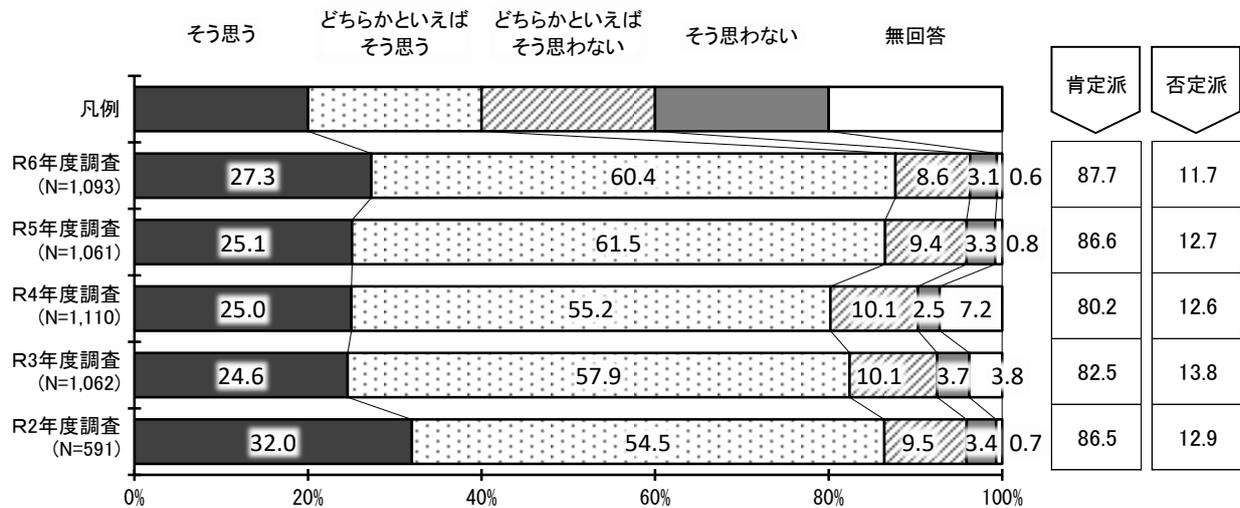
		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)	
全体		1,093	404	591	65	24	9	995	89	
			100.0	37.0	54.1	5.9	2.2	0.8	91.1	8.1
性別	男性	464	35.6	53.2	6.7	3.2	1.3	88.8	9.9	
	女性	603	38.6	54.4	5.1	1.3	0.5	93.0	6.4	
	無回答	26	23.1	61.5	11.5	3.8	-	84.6	15.3	
年代別	20歳代	74	41.9	47.3	8.1	2.7	-	89.2	10.8	
	30歳代	126	39.7	49.2	4.8	5.6	0.8	88.9	10.4	
	40歳代	187	42.2	47.6	5.9	3.7	0.5	89.8	9.6	
	50歳代	228	37.7	55.3	6.1	0.9	-	93.0	7.0	
	60歳代	193	35.2	58.0	5.2	1.0	0.5	93.2	6.2	
	70歳代以上	282	31.6	58.5	6.4	1.4	2.1	90.1	7.8	
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	152	39.5	51.3	5.9	2.6	0.7	90.8	8.5	
	太宰府東小学校区	123	34.1	55.3	8.9	0.8	0.8	89.4	9.7	
	太宰府南小学校区	92	25.0	62.0	8.7	3.3	1.1	87.0	12.0	
	水城小学校区	187	41.7	50.8	2.7	3.2	1.6	92.5	5.9	
	水城西小学校区	137	40.1	52.6	5.8	1.5	-	92.7	7.3	
	太宰府西小学校区	165	38.2	53.3	6.1	1.2	1.2	91.5	7.3	
	国分小学校区	152	34.2	55.9	5.9	3.9	-	90.1	9.8	
	わからない	77	39.0	55.8	3.9	-	1.3	94.8	3.9	
	無回答	8	12.5	62.5	25.0	-	-	75.0	25.0	

### 30. 居住地区のまちなみに対する評価(問 48)

● 住んでいる地区のまちなみが良好だと思う人は87.7%となっている。

居住地区のまちなみに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は87.7%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は11.7%で、『肯定派』が8割以上を占め、高くなっている。  
 過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査から1.1ポイント増加している。  
 性別にみると、『肯定派』は女性が88.9%、男性が86.0%と、女性の方が高くなっている。  
 年代別にみると、『肯定派』は20歳代（91.9%）が最も高くなっている。  
 小学校区別にみると、すべての小学校区で8割を超えた割合となっている。また、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（91.6%）となっている。

#### 問 48. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,093	298	660	94	34	7	958	128
		100.0	27.3	60.4	8.6	3.1	0.6	87.7	11.7
性別	男性	464	28.7	57.3	9.5	3.7	0.9	86.0	13.2
	女性	603	26.4	62.5	8.0	2.7	0.5	88.9	10.7
	無回答	26	23.1	65.4	7.7	3.8	-	88.5	11.5
年代別	20歳代	74	37.8	54.1	5.4	2.7	-	91.9	8.1
	30歳代	126	26.2	58.7	8.7	5.6	0.8	84.9	14.3
	40歳代	187	31.0	59.4	7.0	2.7	-	90.4	9.7
	50歳代	228	26.3	61.0	9.6	3.1	-	87.3	12.7
	60歳代	193	21.8	64.2	10.4	3.1	0.5	86.0	13.5
	70歳代以上	282	26.6	60.6	8.5	2.5	1.8	87.2	11.0
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	23.0	61.2	10.5	4.6	0.7	84.2	15.1
	太宰府東小学校区	123	22.8	63.4	8.1	4.9	0.8	86.2	13.0
	太宰府南小学校区	92	18.5	68.5	9.8	2.2	1.1	87.0	12.0
	水城小学校区	187	27.8	60.4	8.0	2.1	1.6	88.2	10.1
	水城西小学校区	137	30.7	57.7	9.5	2.2	-	88.4	11.7
	太宰府西小学校区	165	36.4	55.2	5.5	3.0	-	91.6	8.5
	国分小学校区	152	28.3	59.2	9.2	3.3	-	87.5	12.5
	わからない	77	26.0	61.0	10.4	1.3	1.3	87.0	11.7
	無回答	8	12.5	75.0	-	12.5	-	87.5	12.5

### 31. 住環境の快適さに対する評価(問 49)

● 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 75.7%となっている。

住環境の快適さに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 75.7%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 23.6%で、『肯定派』が 52.1 ポイント高くなっている。

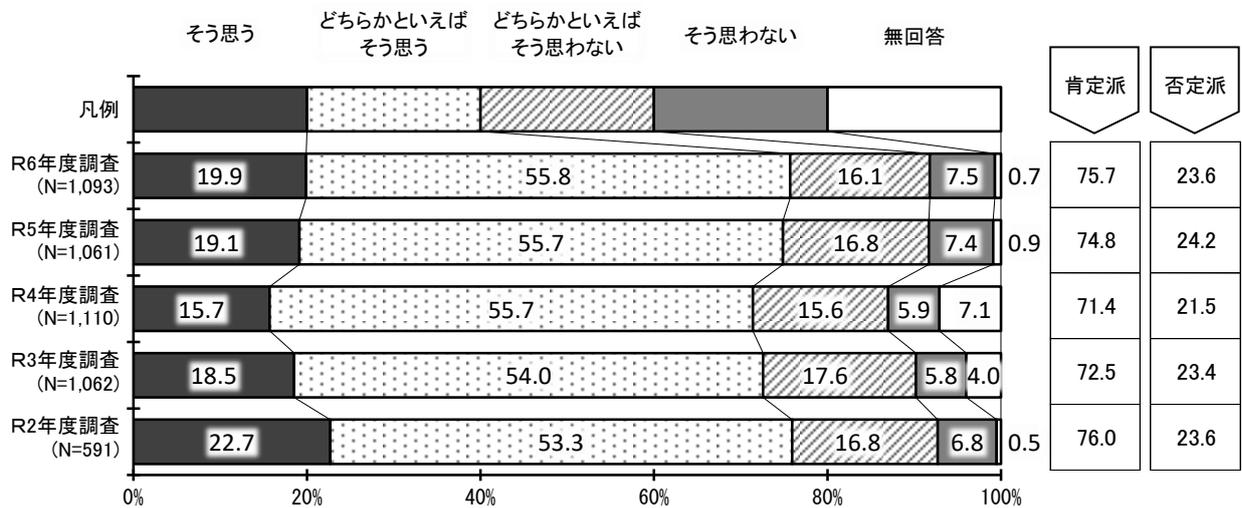
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和 5 年度調査から 0.9 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は、男性が 76.0%、女性が 75.1%と、男性の方が少し高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 70 歳代以上（79.8%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは 60 歳代（28.5%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（87.9%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区（30.9%）となっている。

#### 問 49. あなたのお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,093	217	610	176	82	8	75.7	23.6
性別	男性	464	21.3	54.7	15.3	7.8	0.9	76.0	23.1
	女性	603	18.7	56.4	16.9	7.3	0.7	75.1	24.2
	無回答	26	19.2	61.5	11.5	7.7	-	80.7	19.2
年代別	20歳代	74	28.4	50.0	16.2	5.4	-	78.4	21.6
	30歳代	126	19.8	53.2	15.1	11.1	0.8	73.0	26.2
	40歳代	187	17.6	58.3	15.5	8.6	-	75.9	24.1
	50歳代	228	18.4	57.5	15.8	8.3	-	75.9	24.1
	60歳代	193	18.1	51.8	21.2	7.3	1.6	69.9	28.5
	70歳代以上	282	21.3	58.5	13.5	5.3	1.4	79.8	18.8
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	17.8	50.7	21.7	9.2	0.7	68.5	30.9
	太宰府東小学校区	123	15.4	55.3	15.4	13.0	0.8	70.7	28.4
	太宰府南小学校区	92	14.1	57.6	19.6	7.6	1.1	71.7	27.2
	水城小学校区	187	19.8	60.4	10.7	8.0	1.1	80.2	18.7
	水城西小学校区	137	24.1	53.3	19.0	3.6	-	77.4	22.6
	太宰府西小学校区	165	30.3	57.6	7.9	3.6	0.6	87.9	11.5
	国分小学校区	152	13.2	55.9	21.1	9.2	0.7	69.1	30.3
	わからない	77	22.1	51.9	18.2	6.5	1.3	74.0	24.7
	無回答	8	12.5	75.0	12.5	-	-	87.5	12.5

### 32. 商業施設等の利便性に対する評価(問 50)

● 商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は74.9%となっている。

商業施設等の利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は74.9%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は24.5%で、『肯定派』の方が『否定派』より50.4ポイント高くなっている。

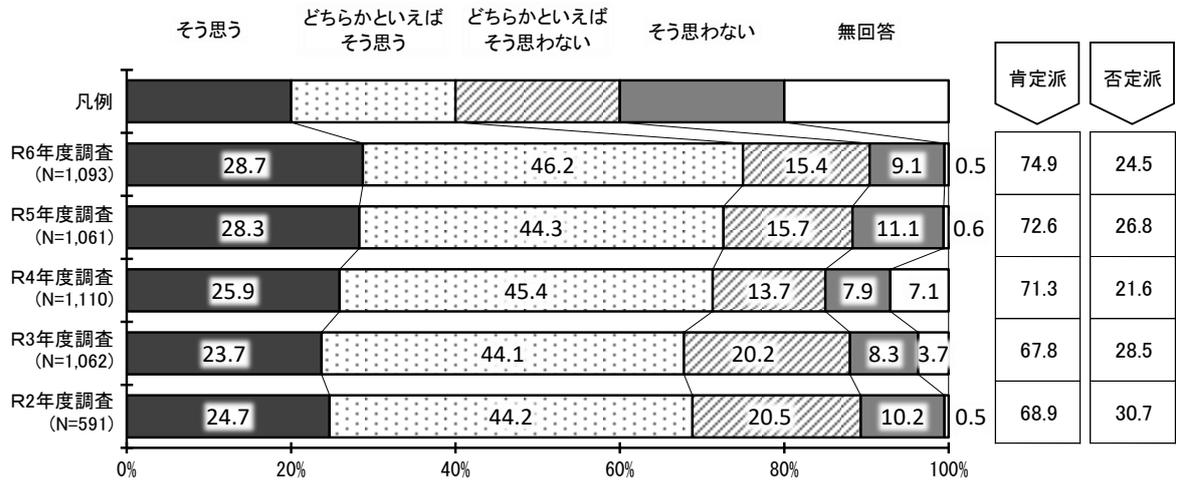
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査から2.3ポイント増加し、5か年で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性（78.4%）の方が女性（72.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代（79.7%）が最も高く、次いで30歳代（79.3%）、40歳代（78.6%）の順となり、20歳代から40歳代までの割合が高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（95.2%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が高いのは太宰府南小学校区（40.2%）、太宰府東小学校区（39.0%）となっている。

#### 問 50. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,093	314	505	168	100	6	819	268
		100.0	28.7	46.2	15.4	9.1	0.5	74.9	24.5
性別	男性	464	28.4	50.0	12.7	8.2	0.6	78.4	20.9
	女性	603	28.5	43.8	17.4	9.8	0.5	72.3	27.2
	無回答	26	38.5	34.6	15.4	11.5	-	73.1	26.9
年代別	20歳代	74	33.8	45.9	10.8	9.5	-	79.7	20.3
	30歳代	126	34.9	44.4	11.1	8.7	0.8	79.3	19.8
	40歳代	187	28.3	50.3	15.0	6.4	-	78.6	21.4
	50歳代	228	27.2	45.6	15.8	11.0	0.4	72.8	26.8
	60歳代	193	22.8	46.6	19.7	10.4	0.5	69.4	30.1
	70歳代以上	282	30.1	44.7	15.2	8.9	1.1	74.8	24.1
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	27.0	41.4	19.1	11.8	0.7	68.4	30.9
	太宰府東小学校区	123	19.5	41.5	17.9	21.1	-	61.0	39.0
	太宰府南小学校区	92	14.1	44.6	25.0	15.2	1.1	58.7	40.2
	水城小学校区	187	29.4	48.1	16.0	5.3	1.1	77.5	21.3
	水城西小学校区	137	38.7	52.6	5.8	2.9	-	91.3	8.7
	太宰府西小学校区	165	49.1	46.1	3.6	1.2	-	95.2	4.8
	国分小学校区	152	16.4	46.1	23.7	13.2	0.7	62.5	36.9
	わからない	77	24.7	51.9	15.6	6.5	1.3	76.6	22.1
	無回答	8	37.5	25.0	25.0	12.5	-	62.5	37.5

### 33. インターネットサービスの利便性に対する評価(問 51)

● インターネット等を使用したサービスを便利と感じている人は81.4%となっている。

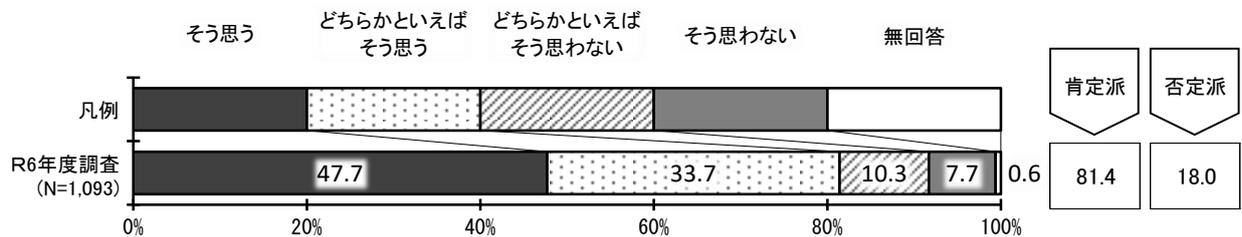
インターネットサービスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は81.4%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は18.0%で、『肯定派』は8割を超えている。

性別にみると、『肯定派』は男性（83.8%）の方が女性（79.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は30歳代（93.6%）が最も高くなっている。一方、『否定派』は70歳代以上が36.6%で高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、水城西小学校区（84.7%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区（21.9%）となっている。

問 51. あなたはインターネット等を使用したサービス（住民票発行、納税、食料品・日用品購入、預金口座残高確認・振込など）は、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
凡例									
R6年度調査 (N=1,093)			47.7	33.7	10.3	7.7	0.6	81.4	18.0
								(%)	
全体		1,093	521	368	113	84	7	889	197
			100.0	47.7	33.7	10.3	7.7	0.6	
性別	男性	464	51.7	32.1	8.2	7.1	0.9	83.8	15.3
	女性	603	45.1	34.8	11.8	7.8	0.5	79.9	19.6
	無回答	26	34.6	34.6	15.4	15.4	-	69.2	30.8
年代別	20歳代	74	67.6	21.6	6.8	4.1	-	89.2	10.9
	30歳代	126	70.6	23.0	2.4	3.2	0.8	93.6	5.6
	40歳代	187	55.1	33.2	5.3	6.4	-	88.3	11.7
	50歳代	228	54.8	32.9	9.6	2.2	0.4	87.7	11.8
	60歳代	193	42.0	42.5	8.3	6.7	0.5	84.5	15.0
	70歳代以上	282	25.5	36.5	19.9	16.7	1.4	62.0	36.6
無回答		3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	42.1	37.5	7.9	11.8	0.7	79.6	19.7
	太宰府東小学校区	123	44.7	32.5	13.0	8.9	0.8	77.2	21.9
	太宰府南小学校区	92	53.3	29.3	8.7	7.6	1.1	82.6	16.3
	水城西小学校区	187	47.1	36.4	7.0	8.0	1.6	83.5	15.0
	水城西小学校区	137	43.8	40.9	8.0	7.3	-	84.7	15.3
	太宰府西小学校区	165	49.7	30.9	11.5	7.9	-	80.6	19.4
	国分小学校区	152	50.0	29.6	17.1	3.3	-	79.6	20.4
	わからない	77	59.7	24.7	9.1	5.2	1.3	84.4	14.3
	無回答	8	12.5	62.5	12.5	12.5	-	75.0	25.0

### 34. 市内のバスの利便性に対する評価(問 52)

● バスの利便性について『肯定派』は45.2%、『否定派』は27.0%となっている。

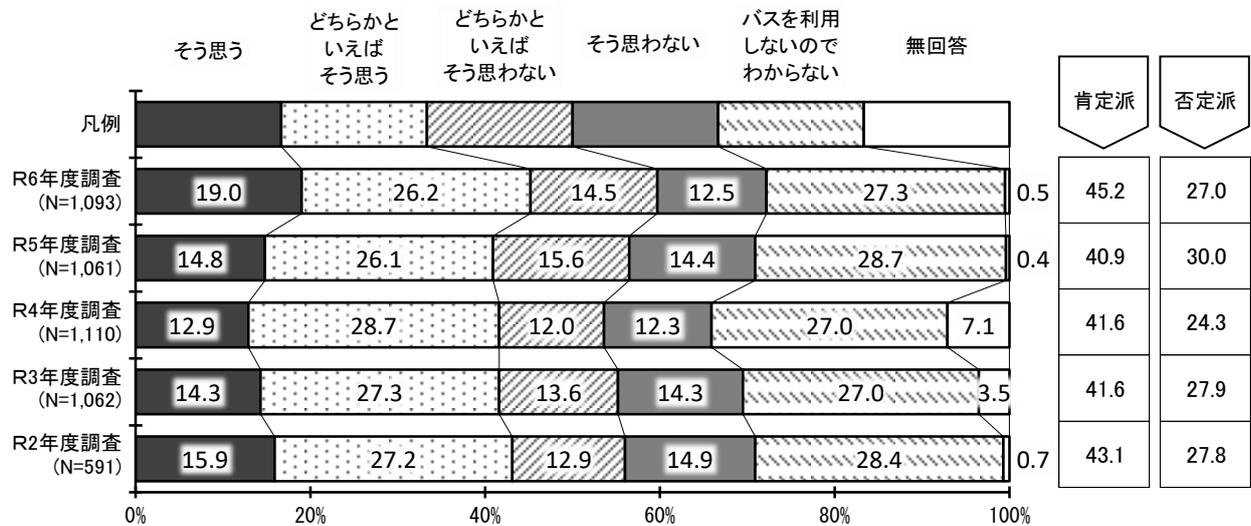
市内のバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は45.2%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は27.0%で、『肯定派』の方が『否定派』より18.2ポイント高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は27.3%となっている。

性別にみると、『肯定派』は男性（47.0%）の方が女性（44.0%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、20歳代（58.1%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府小学校区（52.6%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区（46.4%）となっている。

#### 問 52. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	らなバ ス ないの で利 用 かし	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		1,093	208	286	158	137	298	6	494	295
		100.0	19.0	26.2	14.5	12.5	27.3	0.5	45.2	27.0
性別	男性	464	17.9	29.1	14.4	11.9	26.1	0.6	47.0	26.3
	女性	603	20.1	23.9	14.8	13.1	27.7	0.5	44.0	27.9
	無回答	26	15.4	26.9	7.7	11.5	38.5	-	42.3	19.2
年代別	20歳代	74	31.1	27.0	10.8	9.5	21.6	-	58.1	20.3
	30歳代	126	15.9	30.2	14.3	10.3	28.6	0.8	46.1	24.6
	40歳代	187	17.6	22.5	16.6	16.0	27.3	-	40.1	32.6
	50歳代	228	14.9	25.9	15.4	11.0	32.9	-	40.8	26.4
	60歳代	193	18.7	22.8	14.0	15.0	28.5	1.0	41.5	29.0
	70歳代以上	282	21.6	28.7	13.8	11.7	23.0	1.1	50.3	25.5
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	20.4	32.2	12.5	5.3	28.3	1.3	52.6	17.8
	太宰府東小学校区	123	16.3	16.3	16.3	30.1	21.1	-	32.6	46.4
	太宰府南小学校区	92	16.3	27.2	13.0	17.4	25.0	1.1	43.5	30.4
	水城小学校区	187	19.3	29.4	12.3	5.3	32.6	1.1	48.7	17.6
	水城西小学校区	137	17.5	27.7	13.1	14.6	27.0	-	45.2	27.7
	太宰府西小学校区	165	19.4	24.8	18.2	15.2	22.4	-	44.2	33.4
	国分小学校区	152	21.7	27.6	16.4	11.2	23.0	-	49.3	27.6
	わからない	77	20.8	15.6	14.3	5.2	42.9	1.3	36.4	19.5
無回答	8	12.5	50.0	-	-	37.5	-	62.5	-	

### 35. コミュニティバスの利用頻度(問 53)

● コミュニティバスの『週1回以上の利用率』は6.2%となっている。

コミュニティバスの利用頻度について、『週1回以上の利用率』（「週5日以上」と「週3～4日」、「週1～2日」の合計）は6.2%となっている。

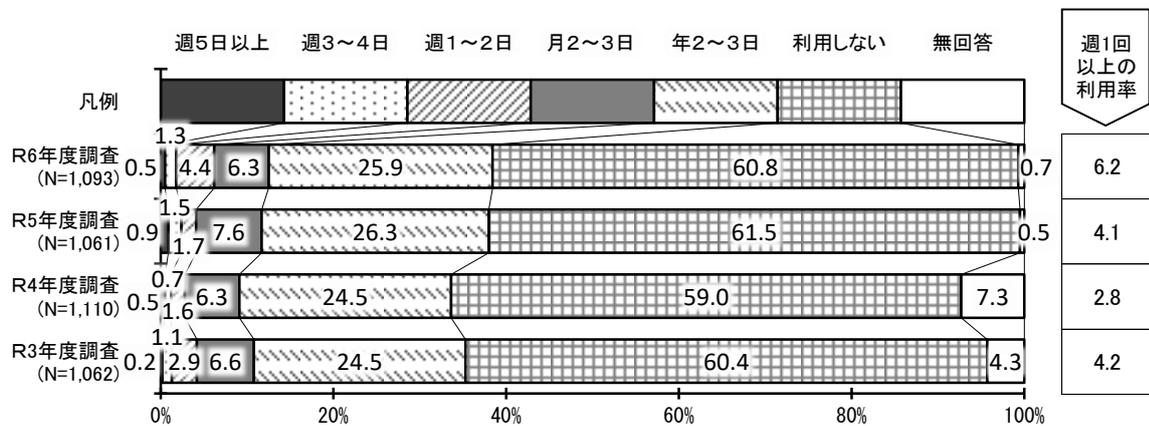
性別にみると、『週1回以上の利用率』は女性（7.5%）の方が男性（4.5%）より高くなっている。

過去調査結果と比較すると、『週1回以上の利用率』は令和5年度調査から2.1ポイント増加している。

年代別にみると、『週1回以上の利用率』は70歳代以上（10.7%）が最も高く、次いで60歳代（9.3%）、50歳代（4.8%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の利用率』が最も高いのは太宰府小学校区（12.5%）となっている。

問 53. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。（〇は1つ）



		標本数	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3日	年2～3日	利用しない	無回答	週1回以上の利用率
全体		1,093	0.5	1.3	4.4	6.3	25.9	60.8	0.7	6.2
性別	男性	464	1.1	0.4	3.0	5.0	26.7	62.5	1.3	4.5
	女性	603	0.2	2.0	5.3	7.1	25.0	60.0	0.3	7.5
	無回答	26	-	-	7.7	11.5	30.8	50.0	-	7.7
年代別	20歳代	74	-	2.7	1.4	5.4	14.9	75.7	-	4.1
	30歳代	126	-	1.6	0.8	4.0	31.7	61.1	0.8	2.4
	40歳代	187	0.5	-	0.5	5.9	28.9	62.6	1.6	1.0
	50歳代	228	0.4	1.8	2.6	3.5	23.2	68.4	-	4.8
	60歳代	193	1.6	1.0	6.7	7.8	25.9	56.5	0.5	9.3
	70歳代以上	282	0.4	1.4	8.9	9.2	26.2	52.8	1.1	10.7
	無回答	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	1.3	2.6	8.6	8.6	22.4	55.9	0.7	12.5
	太宰府東小学校区	123	-	-	1.6	4.9	22.8	69.9	0.8	1.6
	太宰府南小学校区	92	-	-	2.2	5.4	15.2	76.1	1.1	2.2
	水城小学校区	187	-	0.5	-	6.4	29.9	62.0	1.1	0.5
	水城西小学校区	137	-	1.5	5.1	2.9	26.3	64.2	-	6.6
	太宰府西小学校区	165	1.2	3.0	7.9	6.1	33.3	48.5	-	12.1
	国分小学校区	152	1.3	0.7	4.6	9.2	30.9	52.6	0.7	6.6
	わからない	77	-	-	5.2	6.5	14.3	71.4	2.6	5.2
	無回答	8	-	12.5	-	-	25.0	62.5	-	12.5

### 36. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価(問 54)

● コミュニティバスの運賃や利便性について現行のままで良いと思っている人は 34.5%となっている。

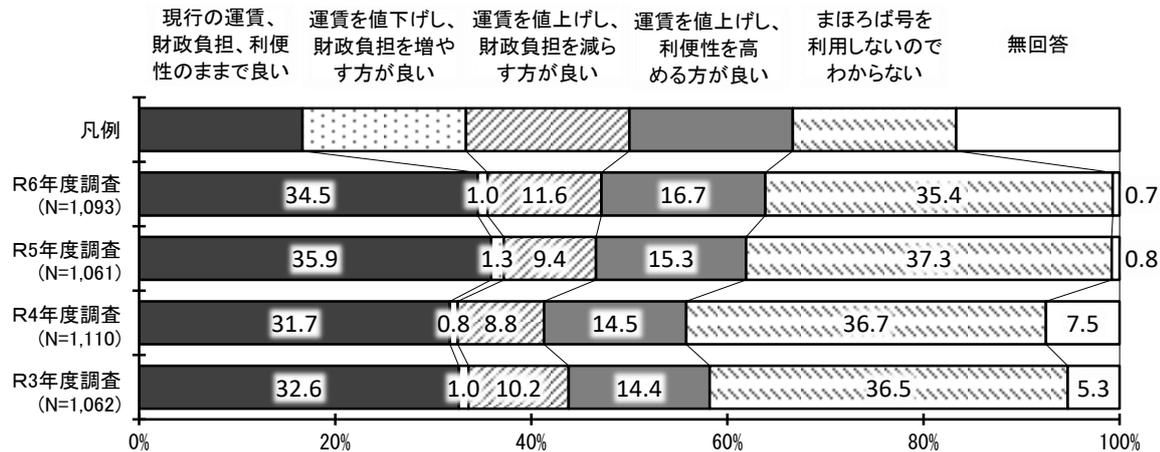
コミュニティバスの運賃や利便性について、「まほろば号を利用しないのでわからない」(35.4%)が最も高く、次いで「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」(34.5%)、「運賃を値上げし、利便性を高める方が良い」(16.7%)の順となっている。

性別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」(男性：35.8%、女性：33.8%)が男性の方が2.0ポイント高く、「運賃を値上げし、利便性を高める方が良い」(男性：14.9%、女性：18.2%)が女性の方が3.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は60歳代(40.4%)が最も高く、次いで30歳代(35.7%)の順となっている。

小学校区別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は国分小学校区(44.7%)が最も高く、次いで太宰府西小学校区(41.2%)となっている。

#### 問 54. まほろば号は運行費用を運賃収入(年間約5千万円)と本市の財政負担(年間約1億5千万円)で運行しており、一律運賃100円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。(○は1つ)



		標本数	現行の運賃、利便性の財政	運賃を下げ、財政負担を増やす	運賃を上げ、財政負担を減らす	運賃を上げ、利便性を高める	まほろば号を利用しない	無回答
全体		1,093	377	11	127	183	387	8
		100.0	34.5	1.0	11.6	16.7	35.4	0.7
性別	男性	464	35.8	1.5	11.6	14.9	35.3	0.9
	女性	603	33.8	0.7	11.8	18.2	35.0	0.5
	無回答	26	26.9	-	7.7	15.4	46.2	3.8
年代別	20歳代	74	35.1	1.4	14.9	12.2	36.5	-
	30歳代	126	35.7	1.6	11.9	15.1	34.1	1.6
	40歳代	187	31.0	0.5	10.7	23.0	34.2	0.5
	50歳代	228	32.9	-	12.3	14.5	40.4	-
	60歳代	193	40.4	1.6	9.8	16.6	31.1	0.5
	70歳代以上	282	32.6	1.4	12.1	16.7	35.8	1.4
	無回答	3	100.0	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	38.2	2.0	11.2	11.2	36.8	0.7
	太宰府東小学校区	123	23.6	0.8	8.9	24.4	40.7	1.6
	太宰府南小学校区	92	27.2	-	5.4	13.0	52.2	2.2
	水城小学校区	187	31.6	-	11.8	19.8	35.8	1.1
	水城西小学校区	137	32.8	2.2	13.9	18.2	32.8	-
	太宰府西小学校区	165	41.2	0.6	17.0	16.4	24.8	-
	国分小学校区	152	44.7	1.3	12.5	15.8	25.7	-
	わからない	77	28.6	1.3	7.8	14.3	46.8	1.3
	無回答	8	37.5	-	-	-	62.5	-

### 37. 市内の鉄道の利便性に対する評価(問 55)

● 鉄道の利便性について『肯定派』は70.5%、『否定派』は19.2%となっている。

市内の鉄道に対する利便性について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は70.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は19.2%で、『肯定派』の方が『否定派』より51.3ポイント高くなっている。

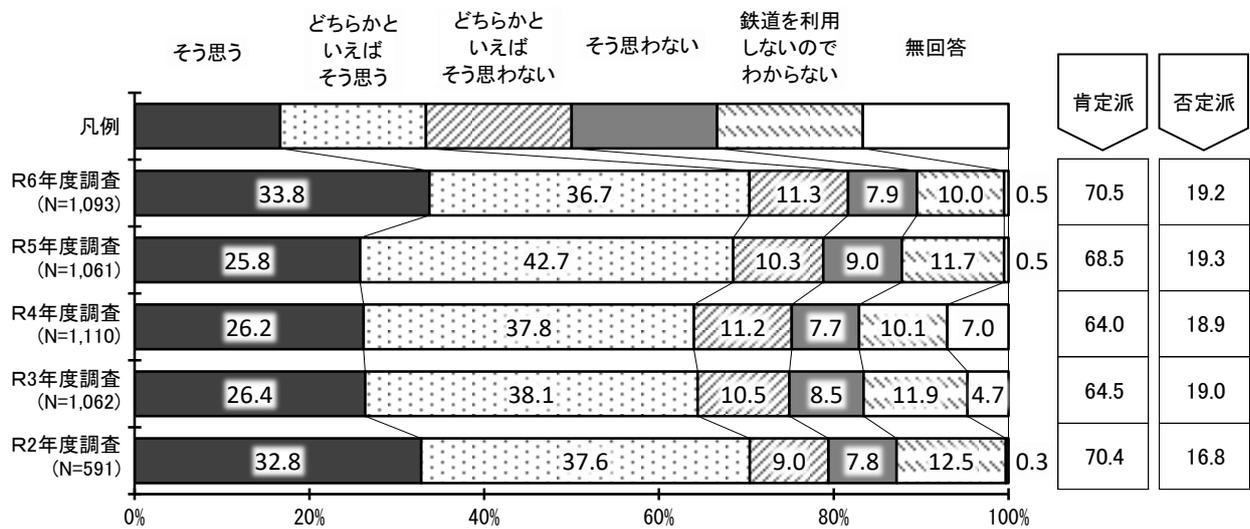
過去調査結果と比較すると、『肯定派』は令和5年度調査から2.0ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（71.7%）の方が男性（68.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは60歳代（75.2%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区（81.3%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（33.3%）となっており、次いで、国分小学校区（27.0%）の順になっている。

#### 問 55. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 と う い	な え ど い ば ち そ う か 思 と わ い	そ う 思 わ な い	ら な い 鉄 道 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,093	369	401	123	86	109	5	770	209
		100.0	33.8	36.7	11.3	7.9	10.0	0.5	70.5	19.2
性別	男性	464	33.6	35.3	12.3	8.8	9.3	0.6	68.9	21.1
	女性	603	34.2	37.5	10.3	7.1	10.6	0.3	71.7	17.4
	無回答	26	26.9	42.3	15.4	7.7	7.7	-	69.2	23.1
年代別	20歳代	74	47.3	24.3	14.9	6.8	6.8	-	71.6	21.7
	30歳代	126	31.0	35.7	11.9	9.5	11.1	0.8	66.7	21.4
	40歳代	187	39.0	32.6	11.2	8.6	8.6	-	71.6	19.8
	50歳代	228	32.0	42.1	11.0	7.0	7.9	-	74.1	18.0
	60歳代	193	33.2	42.0	9.3	6.7	8.3	0.5	75.2	16.0
	70歳代以上	282	29.4	35.1	11.7	8.5	14.2	1.1	64.5	20.2
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	44.7	36.2	4.6	6.6	7.2	0.7	80.9	11.2
	太宰府東小学校区	123	23.6	49.6	9.8	10.6	6.5	-	73.2	20.4
	太宰府南小学校区	92	30.4	28.3	10.9	10.9	18.5	1.1	58.7	21.8
	水城小学校区	187	47.1	34.2	8.6	2.7	6.4	1.1	81.3	11.3
	水城西小学校区	137	41.6	38.0	8.8	5.8	5.8	-	79.6	14.6
	太宰府西小学校区	165	18.8	33.9	20.0	13.3	13.9	-	52.7	33.3
	国分小学校区	152	25.0	36.2	17.8	9.2	11.8	-	61.2	27.0
	わからない	77	36.4	37.7	7.8	3.9	13.0	1.3	74.1	11.7
	無回答	8	25.0	37.5	-	12.5	25.0	-	62.5	12.5

### 38. 市内の道路の円滑性に対する評価(問 56)

● 道路の円滑性について『肯定派』が55.5%で、『否定派』(40.2%)より高い。

市内の道路の円滑性に対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は55.5%で、一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は40.2%で、『肯定派』の方が『否定派』より15.3ポイント高くなっている。

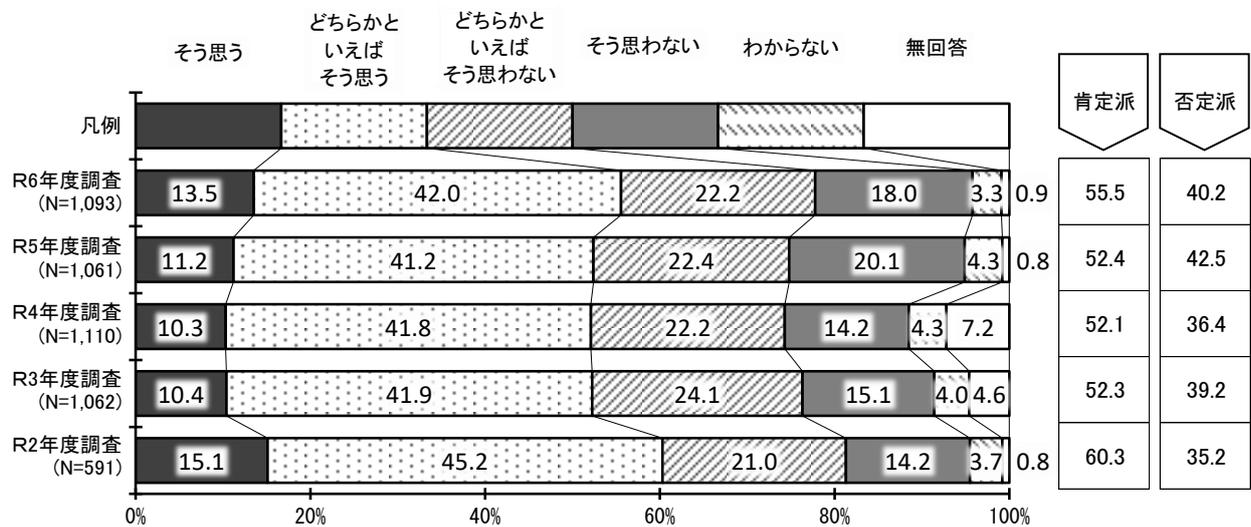
過去調査結果と比較すると、『肯定派』は令和5年度調査から3.1ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(56.9%)の方が女性(54.6%)より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、『肯定派』が最も高いのは20歳代(62.1%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区を除く小学校区で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高く5割を超えている。なお、太宰府小学校区の『否定派』は54.6%、太宰府東小学校区の『否定派』は52.1%となっている。

#### 問 56. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 う い	えど ばち そう か 思 と わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		1,093	148	459	243	197	36	10	607	440
		100.0	13.5	42.0	22.2	18.0	3.3	0.9	55.5	40.2
性別	男性	464	12.9	44.0	23.3	17.2	2.2	0.4	56.9	40.5
	女性	603	14.1	40.5	21.7	18.6	4.0	1.2	54.6	40.3
	無回答	26	11.5	42.3	15.4	19.2	7.7	3.8	53.8	34.6
年代別	20歳代	74	27.0	35.1	18.9	13.5	4.1	1.4	62.1	32.4
	30歳代	126	17.5	34.1	21.4	23.0	3.2	0.8	51.6	44.4
	40歳代	187	17.6	39.6	22.5	17.1	3.2	-	57.2	39.6
	50歳代	228	12.7	47.4	20.2	16.7	2.6	0.4	60.1	36.9
	60歳代	193	9.3	45.6	21.8	18.7	3.1	1.6	54.9	40.5
	70歳代以上	282	9.2	42.2	24.8	18.4	3.9	1.4	51.4	43.2
	無回答	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	152	11.2	32.9	22.4	32.2	-	1.3	44.1	54.6
	太宰府東小学校区	123	6.5	36.6	28.5	23.6	3.3	1.6	43.1	52.1
	太宰府南小学校区	92	17.4	41.3	20.7	16.3	3.3	1.1	58.7	37.0
	水城小学校区	187	18.2	46.0	17.1	14.4	3.2	1.1	64.2	31.5
	水城西小学校区	137	13.1	51.8	21.2	10.9	2.2	0.7	64.9	32.1
	太宰府西小学校区	165	15.8	46.1	17.6	15.2	4.8	0.6	61.9	32.8
	国分小学校区	152	10.5	41.4	30.3	14.5	2.6	0.7	51.9	44.8
	わからない	77	16.9	35.1	22.1	19.5	6.5	-	52.0	41.6
	無回答	8	-	37.5	25.0	-	37.5	-	37.5	25.0

### 39. 外出時の移動手段(問 57)

● 日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(68.3%)が最も高い。

外出時の移動手段について、日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」(68.3%)が最も高くなっている。次いで「徒歩」「鉄道」(同率の8.0%)、「自転車」(6.5%)、「コミュニティバス(まほろば号)」(2.6%)、「路線バス」(1.6%)、「タクシー」(0.5%)の順となっている。

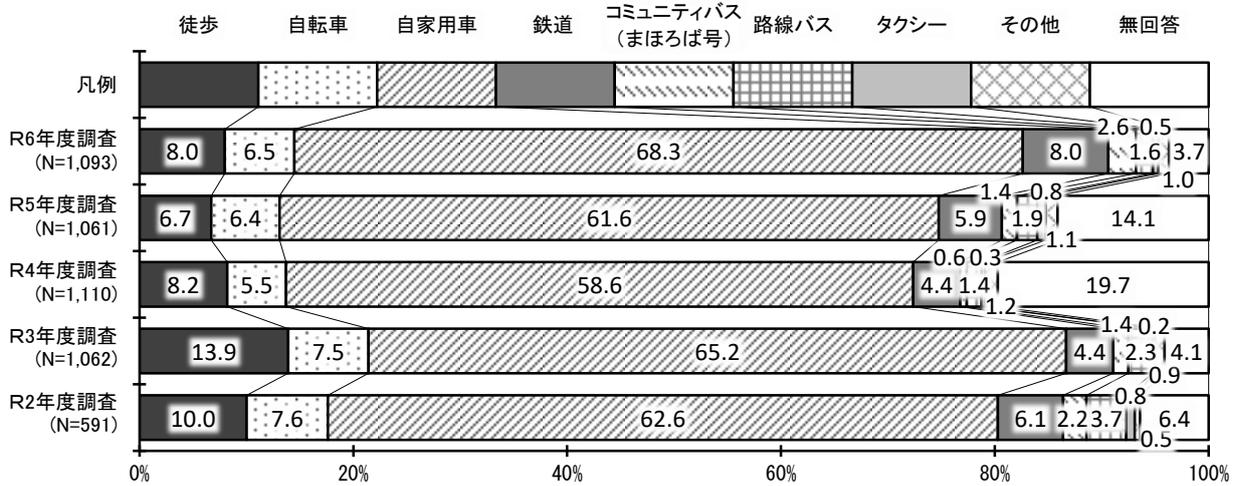
過去調査結果と比較すると、令和5年度調査より「自家用車」(6.7ポイント増)、「鉄道」(2.1ポイント増)、「徒歩」(1.3ポイント増)などが増加している。

性別にみると、男女とも「自家用車」が最も高くなっているが、男性は73.1%、女性は64.8%と男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは太宰府南小学校区(79.3%)となっている。

#### 問 57. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なものの1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス(まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		1,093	87	71	746	87	28	18	5	11	40
		100.0	8.0	6.5	68.3	8.0	2.6	1.6	0.5	1.0	3.7
性別	男性	464	6.0	7.5	73.1	6.0	1.1	1.7	0.2	1.1	3.2
	女性	603	9.5	5.6	64.8	9.8	3.5	1.3	0.7	0.7	4.1
	無回答	26	7.7	7.7	61.5	-	7.7	7.7	-	7.7	-
年代別	20歳代	74	12.2	14.9	44.6	21.6	2.7	2.7	-	1.4	-
	30歳代	126	5.6	8.7	68.3	11.9	0.8	-	-	1.6	3.2
	40歳代	187	4.3	3.7	81.3	8.6	-	-	-	-	2.1
	50歳代	228	5.7	4.8	74.6	6.6	1.8	0.4	0.9	1.3	3.9
	60歳代	193	9.3	7.3	64.2	8.8	2.1	2.6	-	0.5	5.2
	70歳代以上	282	11.0	6.0	63.5	2.8	6.0	3.5	1.1	1.4	4.6
	無回答	3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	13.2	4.6	65.1	7.2	5.3	0.7	-	-	3.9
	太宰府東小学校区	123	9.8	5.7	65.0	8.1	-	5.7	-	1.6	4.1
	太宰府南小学校区	92	5.4	3.3	79.3	3.3	-	4.3	-	-	4.3
	水城小学校区	187	9.6	5.9	65.8	12.8	0.5	-	1.1	0.5	3.7
	水城西小学校区	137	9.5	11.7	61.3	13.1	0.7	-	-	1.5	2.2
	太宰府西小学校区	165	3.0	7.3	73.3	1.2	7.9	2.4	-	1.2	3.6
	国分小学校区	152	6.6	5.3	73.7	5.3	2.6	0.7	0.7	2.0	3.3
	わからない	77	3.9	7.8	63.6	14.3	1.3	1.3	2.6	1.3	3.9
	無回答	8	12.5	12.5	62.5	-	-	-	-	-	12.5

### 40. 日頃の買い物場所(問 58)

● 日頃買い物する場所は「太宰府市」(59.3%) が最も高い。

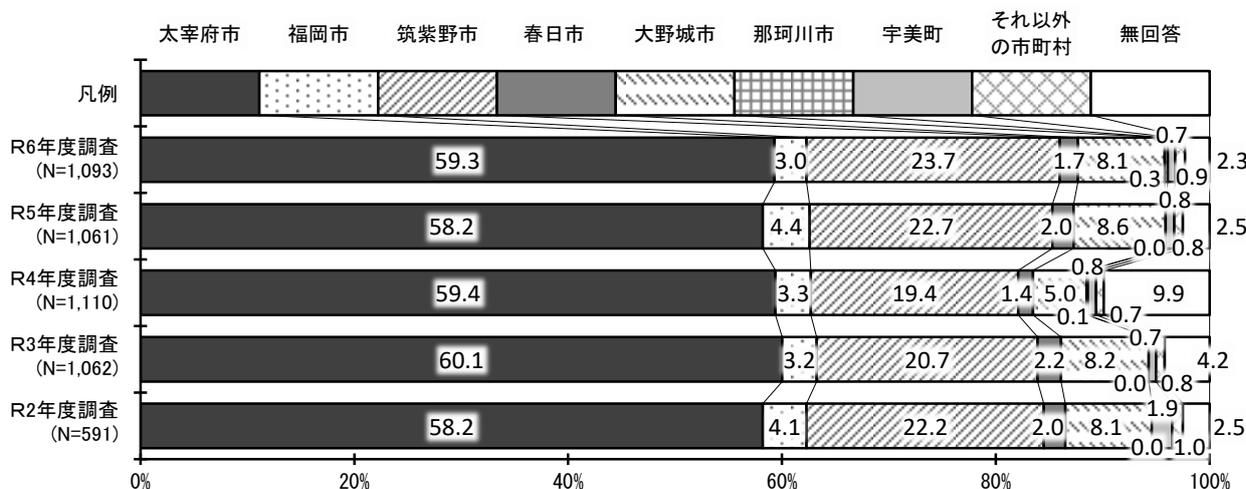
日頃主に買い物する場所について、「太宰府市」(59.3%) が最も高く、全体の約6割を占めている。次いで、「筑紫野市」(23.7%)、「大野城市」(8.1%)、「福岡市」(3.0%)の順となっている。

性別にみると、「太宰府市」は、男性(63.8%)の方が女性(55.7%)より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「太宰府市」が最も高くなっており、次いで、「筑紫野市」が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」(69.6%)が最も高くなっている。

#### 問 58. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川市	宇美町	のそ市 それ 町以 村外	無 回 答
全 体		1,093 100.0	648 59.3	33 3.0	259 23.7	19 1.7	88 8.1	3 0.3	8 0.7	10 0.9	25 2.3
性別	男 性	464	63.8	2.4	20.0	1.1	8.8	0.6	0.4	0.6	2.2
	女 性	603	55.7	3.6	26.5	2.2	7.6	-	0.8	1.2	2.3
	無回答	26	61.5	-	23.1	3.8	3.8	-	3.8	-	3.8
年代別	20歳代	74	41.9	12.2	31.1	2.7	9.5	1.4	-	-	1.4
	30歳代	126	55.6	4.8	23.0	0.8	10.3	-	0.8	1.6	3.2
	40歳代	187	54.5	2.1	27.3	3.7	8.0	0.5	-	1.6	2.1
	50歳代	228	58.3	3.1	25.4	0.9	8.8	0.4	1.3	-	1.8
	60歳代	193	57.5	2.6	24.4	2.1	8.3	-	1.6	0.5	3.1
	70歳代以上	282	70.6	0.7	18.1	1.1	6.0	-	0.4	1.4	1.8
無回答	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	
小学校区別	太宰府小学校区	152	59.9	2.6	26.3	1.3	2.0	-	3.9	1.3	2.6
	太宰府東小学校区	123	54.5	3.3	35.8	-	1.6	0.8	-	3.3	0.8
	太宰府南小学校区	92	23.9	1.1	69.6	1.1	-	-	-	1.1	3.3
	水城小学校区	187	64.2	3.2	25.7	0.5	2.7	0.5	-	0.5	2.7
	水城西小学校区	137	71.5	3.6	15.3	1.5	7.3	-	-	0.7	-
	太宰府西小学校区	165	70.3	1.8	6.7	4.8	12.7	0.6	-	0.6	2.4
	国分小学校区	152	57.9	3.9	9.9	2.0	23.7	-	-	-	2.6
	わからない	77	53.2	5.2	20.8	1.3	14.3	-	2.6	-	2.6
無回答	8	62.5	-	-	12.5	-	-	-	-	25.0	

### 41. 歴史・文化遺産に対する評価(問 59)

● 市の歴史・文化遺産を誇りに思っている人は 93.3%となっている。

歴史・文化遺産に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 93.3%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 5.9%となっており、『肯定派』が9割を超え、高くなっている。

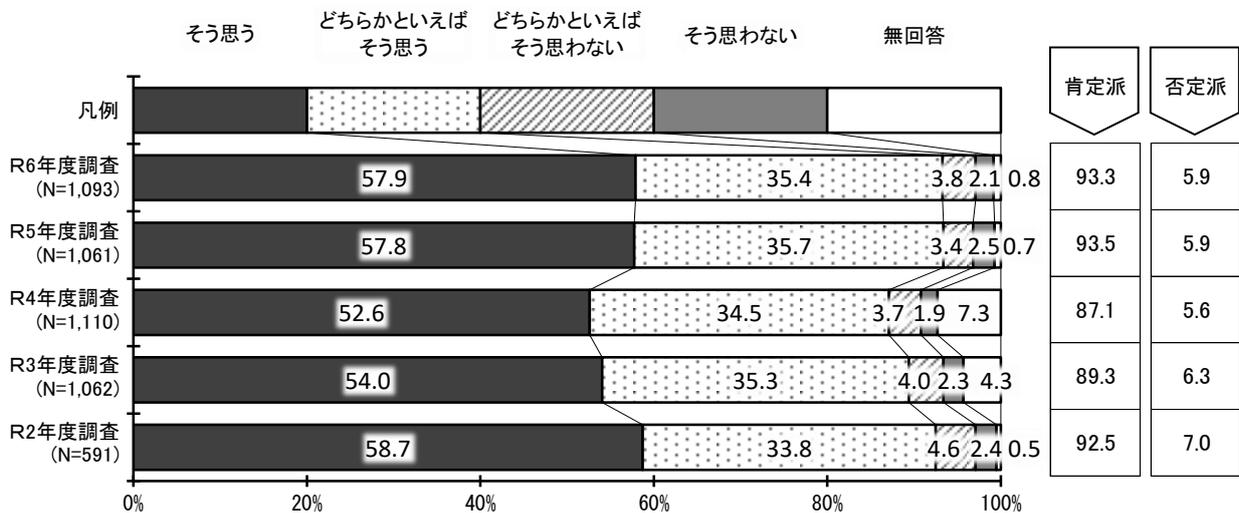
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和5年度調査から 0.2 ポイント減少とほぼ変わらず、『否定派』は同率となっている。

性別にみると、『肯定派』は、女性（94.9%）の方が男性（91.6%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が9割を超えており、特に 60 歳代（94.3%）、70 歳代以上（94.0%）の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府南小学校区（95.6%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区（9.8%）となっている。

#### 問 59. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,093	633	387	41	23	9	1,020	64
		100.0	57.9	35.4	3.8	2.1	0.8	93.3	5.9
性別	男性	464	55.4	36.2	5.0	2.8	0.6	91.6	7.8
	女性	603	60.4	34.5	2.7	1.5	1.0	94.9	4.2
	無回答	26	46.2	42.3	7.7	3.8	-	88.5	11.5
年代別	20歳代	74	60.8	31.1	2.7	4.1	1.4	91.9	6.8
	30歳代	126	42.9	49.2	1.6	5.6	0.8	92.1	7.2
	40歳代	187	59.4	32.6	5.3	2.7	-	92.0	8.0
	50歳代	228	59.6	34.2	3.5	2.2	0.4	93.8	5.7
	60歳代	193	61.1	33.2	4.7	-	1.0	94.3	4.7
	70歳代以上	282	59.2	34.8	3.5	1.1	1.4	94.0	4.6
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	56.6	36.2	3.9	2.0	1.3	92.8	5.9
	太宰府東小学校区	123	56.1	36.6	4.9	0.8	1.6	92.7	5.7
	太宰府南小学校区	92	57.6	38.0	3.3	1.1	-	95.6	4.4
	水城小学校区	187	57.2	36.4	2.7	2.7	1.1	93.6	5.4
	水城西小学校区	137	62.8	32.1	4.4	0.7	-	94.9	5.1
	太宰府西小学校区	165	59.4	35.8	1.8	3.0	-	95.2	4.8
	国分小学校区	152	55.3	32.9	5.9	3.9	2.0	88.2	9.8
	わからない	77	61.0	33.8	3.9	1.3	-	94.8	5.2
	無回答	8	37.5	62.5	-	-	-	100.0	-

## 42. 本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度(問 60)

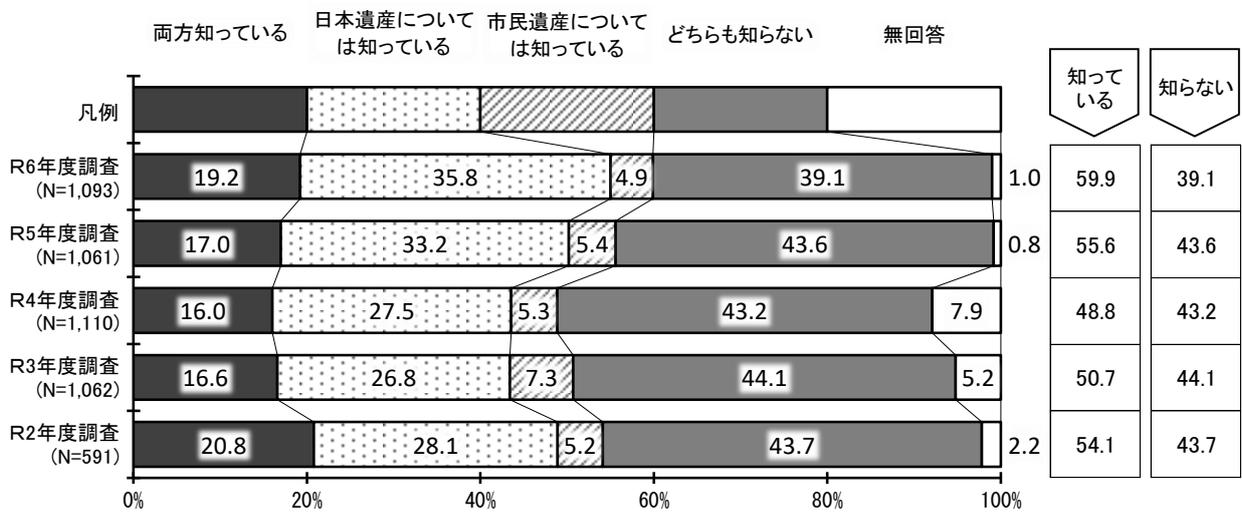
● 本市の日本遺産や市民遺産について知っている人は59.9%となっている。

本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度について、『知っている』（「両方知っている」と「日本遺産については知っている」と「市民遺産については知っている」の合計）は59.9%となっている。一方、『知らない』は39.1%となっている。

過去の調査結果と比べると、『知っている』は令和5年度調査から4.3ポイント増加している。性別にみると、「両方知っている」は男性（20.3%）の方が女性（18.6%）より高くなっている。年代別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、40歳代（23.5%）次いで、60歳代（22.8%）となっている。

小学校区別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、太宰府小学校区（27.0%）となっている。

### 問 60. あなたは本市の日本遺産や市民遺産についてご存知ですか。(○は1つ)



		標本数	両方知っている	日本遺産については知っている	市民遺産については知っている	どちらも知らない	無回答	知っている (%)	知らない (%)
全体		1,093	210	391	54	427	11	59.9	39.1
性別	男性	464	20.3	36.9	3.9	37.7	1.3	61.1	37.7
	女性	603	18.6	35.2	5.5	40.1	0.7	59.3	40.1
	無回答	26	15.4	30.8	11.5	38.5	3.8	57.7	38.5
年代別	20歳代	74	13.5	36.5	2.7	47.3	-	52.7	47.3
	30歳代	126	13.5	38.9	3.2	43.7	0.8	55.6	43.7
	40歳代	187	23.5	31.0	4.8	39.6	1.1	59.3	39.6
	50歳代	228	14.9	38.2	3.5	43.4	-	56.6	43.4
	60歳代	193	22.8	34.2	6.2	34.7	2.1	63.2	34.7
	70歳代以上	282	20.9	36.5	6.7	34.4	1.4	64.1	34.4
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	27.0	32.9	5.3	33.6	1.3	65.2	33.6
	太宰府東小学校区	123	22.0	34.1	8.1	35.8	-	64.2	35.8
	太宰府南小学校区	92	18.5	30.4	4.3	44.6	2.2	53.2	44.6
	水城小学校区	187	22.5	32.1	5.9	38.0	1.6	60.5	38.0
	水城西小学校区	137	16.8	41.6	2.9	38.7	-	61.3	38.7
	太宰府西小学校区	165	14.5	43.0	3.6	38.2	0.6	61.1	38.2
	国分小学校区	152	15.1	36.2	5.3	42.1	1.3	56.6	42.1
	わからない	77	13.0	35.1	3.9	46.8	1.3	52.0	46.8
無回答	8	37.5	12.5	-	50.0	-	50.0	50.0	

### 43. 観光客の来訪に対する評価(問 61)

● 観光客の来訪について好ましいと思っている人は74.7%となっている。

観光客の来訪について、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と「どちらかといえば好ましいと思う」の合計）は74.7%となる。一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う」と「どちらかといえば好ましくないと思う」の合計）は24.0%となっており、『好ましい』と思う人が50.7ポイント高くなっている。

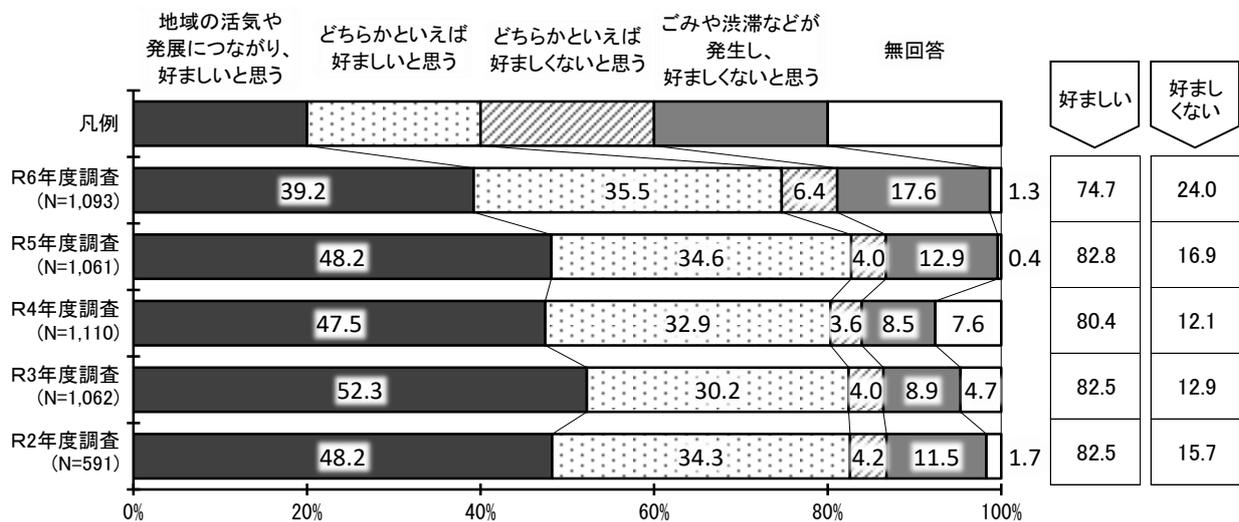
過去の調査結果と比べると、『好ましい』は令和5年度調査より8.1ポイント減少し、『好ましくない』が7.1ポイント増加している。

性別にみると、『好ましい』は、女性（75.1%）の方が男性（74.4%）より少し高くなっている。

年代別にみると、『好ましい』が最も高いのは、50歳代（80.2%）となっている。一方、『好ましくない』は70歳代以上（29.5%）が最も高い。

小学校区別にみると、『好ましい』が最も高いのは、水城小学校区（79.7%）で、『好ましくない』が最も高いのが太宰府小学校区（38.1%）となっている。

#### 問 61. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(○は1つ)



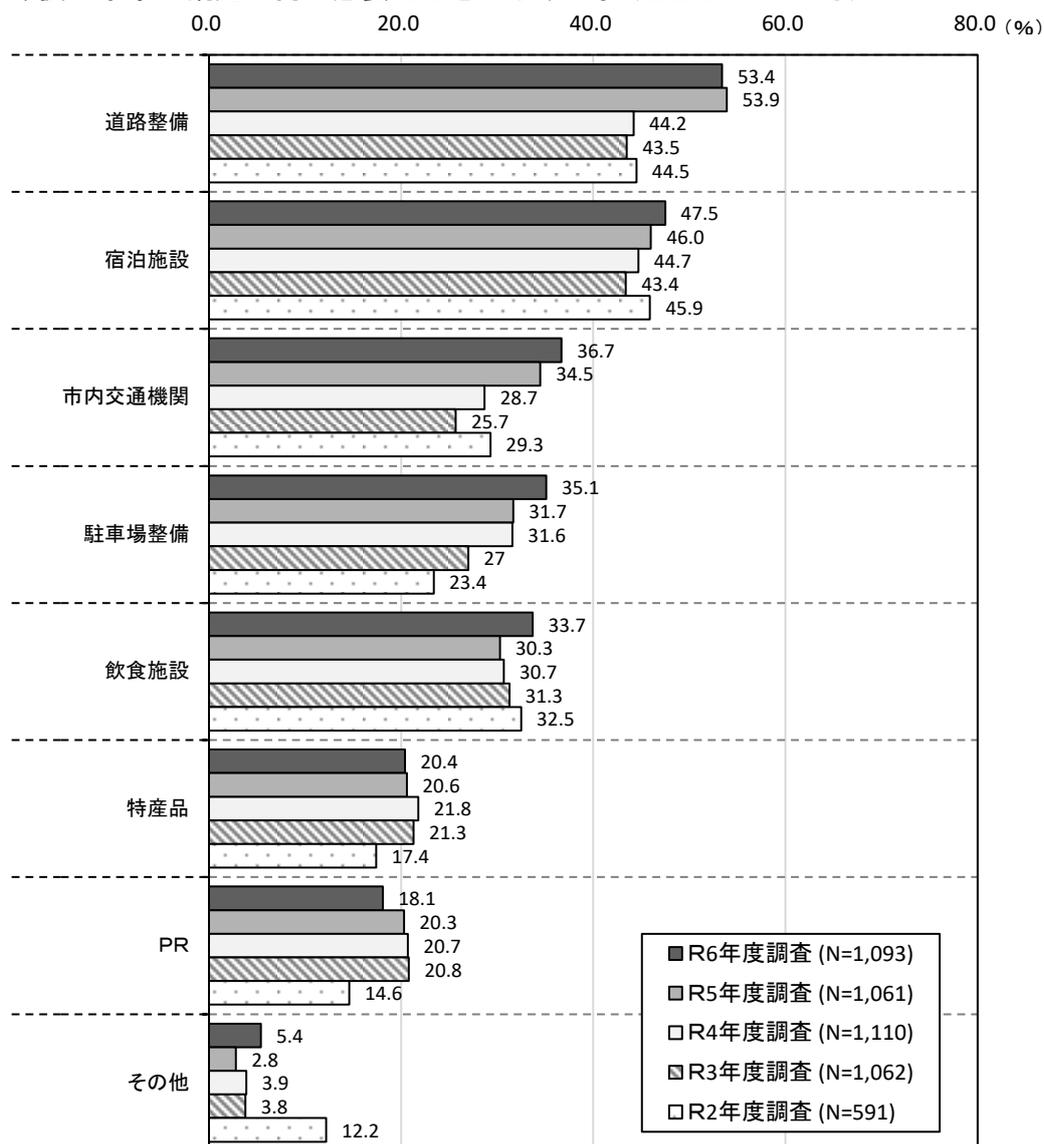
		標本数	とど、発地 思、展域 う好にの ま活 ましな気 いがや	とえど 思ばち う好ら まか し い	なえど いばち と好ら 思まか うし く い	と好ど 思まが うし く 生 滞 な い	無 回 答	好 ま し い	い 好 ま し く な い
全体		1,093	429	388	70	192	14	817	262
		100.0	39.2	35.5	6.4	17.6	1.3	74.7	24.0
性別	男性	464	40.1	34.3	6.7	17.9	1.1	74.4	24.6
	女性	603	38.8	36.3	6.1	17.4	1.3	75.1	23.5
	無回答	26	34.6	38.5	7.7	15.4	3.8	73.1	23.1
年代別	20歳代	74	45.9	32.4	1.4	18.9	1.4	78.3	20.3
	30歳代	126	39.7	32.5	6.3	19.0	2.4	72.2	25.3
	40歳代	187	44.9	33.7	5.3	15.5	0.5	78.6	20.8
	50歳代	228	44.7	35.5	3.5	15.8	0.4	80.2	19.3
	60歳代	193	30.1	42.5	9.3	16.1	2.1	72.6	25.4
	70歳代以上	282	34.8	34.4	8.9	20.6	1.4	69.2	29.5
	無回答	3	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	32.9	26.3	9.2	28.9	2.6	59.2	38.1
	太宰府東小学校区	123	35.8	34.1	4.9	23.6	1.6	69.9	28.5
	太宰府南小学校区	92	46.7	32.6	7.6	13.0	-	79.3	20.6
	水城小学校区	187	44.9	34.8	5.3	14.4	0.5	79.7	19.7
	水城西小学校区	137	35.8	40.9	8.8	14.6	-	76.7	23.4
	太宰府西小学校区	165	41.2	37.6	6.1	13.9	1.2	78.8	20.0
	国分小学校区	152	35.5	43.4	3.9	14.5	2.6	78.9	18.4
	わからない	77	44.2	31.2	5.2	19.5	-	75.4	24.7
無回答	8	37.5	37.5	12.5	-	12.5	75.0	12.5	

#### 44. 本市の観光に必要なこと(問 62)

● 本市の観光に必要なことは、「道路整備」(53.4%)が最も高い。

本市の観光に必要なことについて、「道路整備」(53.4%)が最も高くなっている。次いで、「宿泊施設」(47.5%)、「市内交通機関」(36.7%)、「駐車場整備」(35.1%)の順となっている。過去調査結果と比較すると、令和5年度調査と順位は同じだが「駐車場整備」「飲食施設」(同数で3.4ポイント増)、「市内交通機関」(2.2ポイント増)、「宿泊施設」(1.5ポイント増)の割合が増加している。

#### 問 62. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



性別にみると、「道路整備」(男性：55.4%、女性：52.6%)、「宿泊施設」(男性：47.4%、女性：47.9%)の次が男性は「駐車場整備」(36.6%)、女性は「市内交通機関」(40.0%)が高くなっている。

年代別にみると、20歳代から60歳代までは「道路整備」が最も高く、70歳代以上では「宿泊施設」が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区では「道路整備」の割合が6割を超えており、小学校区別の中でも高くなっている。

			(%)							
		標本数	道路整備	宿泊施設	市内交通機関	駐車場整備	飲食施設	特産品	P R	その他
全体		1,093	584	519	401	384	368	223	198	59
		-	53.4	47.5	36.7	35.1	33.7	20.4	18.1	5.4
性別	男性	464	55.4	47.4	32.3	36.6	35.6	22.0	18.1	6.0
	女性	603	52.6	47.9	40.0	34.2	32.2	19.1	18.1	5.1
	無回答	26	38.5	38.5	38.5	30.8	34.6	23.1	19.2	-
年代別	20歳代	74	54.1	31.1	31.1	37.8	39.2	13.5	13.5	4.1
	30歳代	126	54.0	50.0	38.9	28.6	40.5	19.8	18.3	7.1
	40歳代	187	56.7	46.5	40.6	30.5	43.9	24.1	17.6	4.3
	50歳代	228	55.3	48.7	35.5	35.1	39.5	24.1	22.8	7.0
	60歳代	193	56.0	49.2	41.5	38.3	26.9	15.0	16.1	5.2
	70歳代以上	282	47.2	48.9	31.9	37.6	22.3	20.2	17.0	4.6
	無回答	3	100.0	66.7	66.7	100.0	33.3	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	63.2	42.8	32.2	33.6	25.7	10.5	8.6	5.9
	太宰府東小学校区	123	60.2	40.7	39.0	38.2	30.1	16.3	18.7	7.3
	太宰府南小学校区	92	47.8	47.8	42.4	34.8	44.6	31.5	23.9	3.3
	水城西小学校区	187	50.8	46.5	31.0	25.1	41.7	19.3	18.7	4.3
	太宰府西小学校区	137	57.7	48.2	36.5	35.0	35.8	14.6	16.1	5.1
	国分小学校区	165	41.8	51.5	44.2	39.4	23.0	29.7	22.4	4.8
	わからない	77	55.8	41.6	35.1	41.6	36.4	22.1	19.5	5.2
	無回答	8	25.0	37.5	25.0	37.5	25.0	25.0	25.0	-

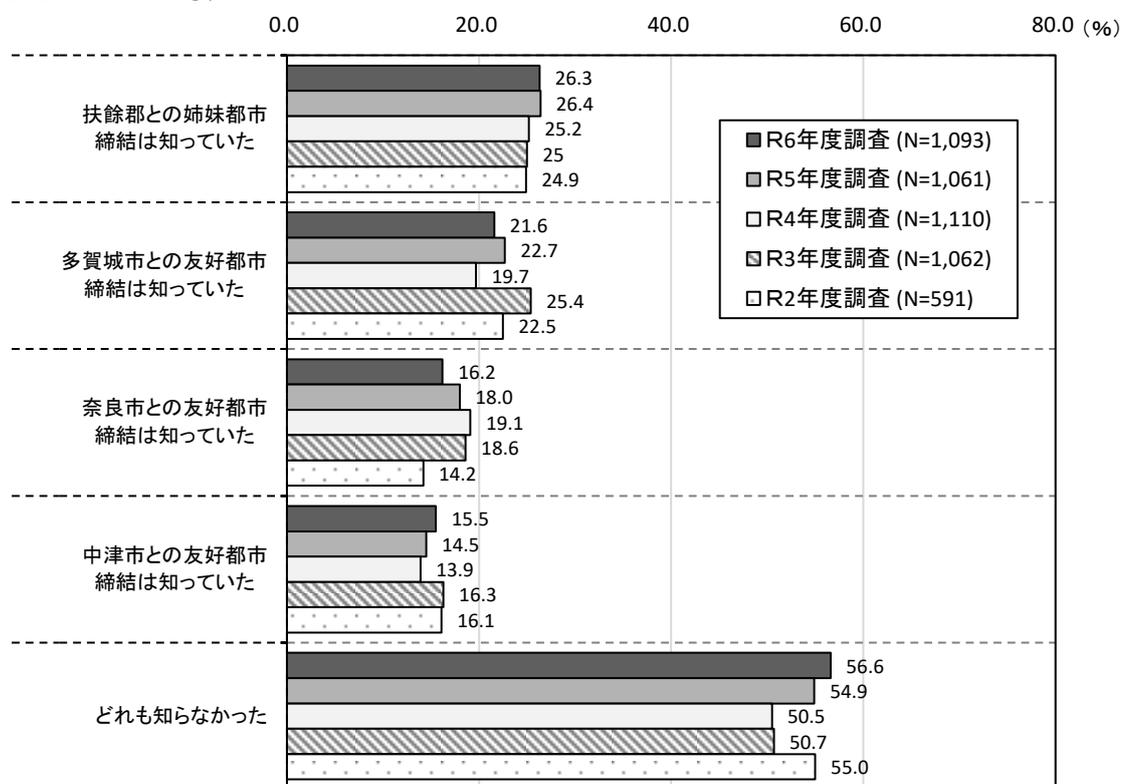
### 45. 姉妹都市、友好都市締結の認知度(問 63)

● 本市の姉妹都市・友好都市締結については5割以上が「どれも知らなかった」と回答している。

本市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(26.3%)が最も高く、次いで「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(21.6%)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(16.2%)、「中津市との友好都市締結は知っていた」(15.5%)の順となっている。なお、「どれも知らなかった」は56.6%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から「中津市との友好都市締結は知っていた」が1.0ポイント増加して、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(1.8ポイント減)、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(1.1ポイント減)、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(0.1ポイント減)が減少している。

問 63. あなたは本市が大韓民国<sup>フヨグン</sup>扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)



性別にみると、いずれの都市との締結においても女性の方が認知度の割合が高くなっている。年代別にみると、奈良市を除く都市との締結において70歳代以上の認知度の割合が最も高くなっている。なお、「どれも知らなかった」は30歳代(78.6%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区で「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(40.6%)が、太宰府東小学校区で「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(32.5%)と「奈良市との友好都市締結は知っていた」(26.8%)と「中津市との友好都市締結は知っていた」(22.8%)がそれぞれ最も高くなっている。

(%)

		標本数	知妹扶 つ都餘 て市郡 い締と た結の は姉	は友多 知好賀 つ都城 て市市 い締と た結の	知好奈 つ都良 て市市 い締と た結の は友	知好中 つ都津 て市市 い締と た結の は友	かど つれ たも 知ら な
全 体		1,093 -	287 26.3	236 21.6	177 16.2	169 15.5	619 56.6
性別	男 性	464	22.8	20.5	13.1	13.6	60.1
	女 性	603	28.7	21.9	18.7	16.7	54.1
	無回答	26	30.8	34.6	11.5	19.2	53.8
年代別	20歳代	74	18.9	23.0	27.0	9.5	60.8
	30歳代	126	13.5	4.0	5.6	4.0	78.6
	40歳代	187	23.0	19.3	16.0	13.9	62.6
	50歳代	228	21.1	21.9	11.8	13.6	58.3
	60歳代	193	31.6	21.8	17.6	16.1	47.7
	70歳代以上	282	36.5	30.5	20.9	24.5	46.5
	無回答	3	33.3	-	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	152	23.7	24.3	18.4	16.4	52.0
	太宰府東小学校区	123	28.5	32.5	26.8	22.8	46.3
	太宰府南小学校区	92	26.1	26.1	23.9	19.6	54.3
	水城小学校区	187	22.5	25.1	15.0	17.6	57.8
	水城西小学校区	137	27.0	14.6	11.7	13.9	63.5
	太宰府西小学校区	165	40.6	23.0	13.3	9.1	49.7
	国分小学校区	152	25.0	17.1	15.1	15.8	59.2
	わからない	77	7.8	5.2	6.5	7.8	79.2
無回答	8	25.0	-	-	12.5	62.5	

### 46. 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況(問 64)

- 自治会活動に参加しているのは35.4%となっている。
- 20歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況について、『参加派』（「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は35.4%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は64.2%で、『不参加派』の方が『参加派』より28.8ポイント高くなっている。

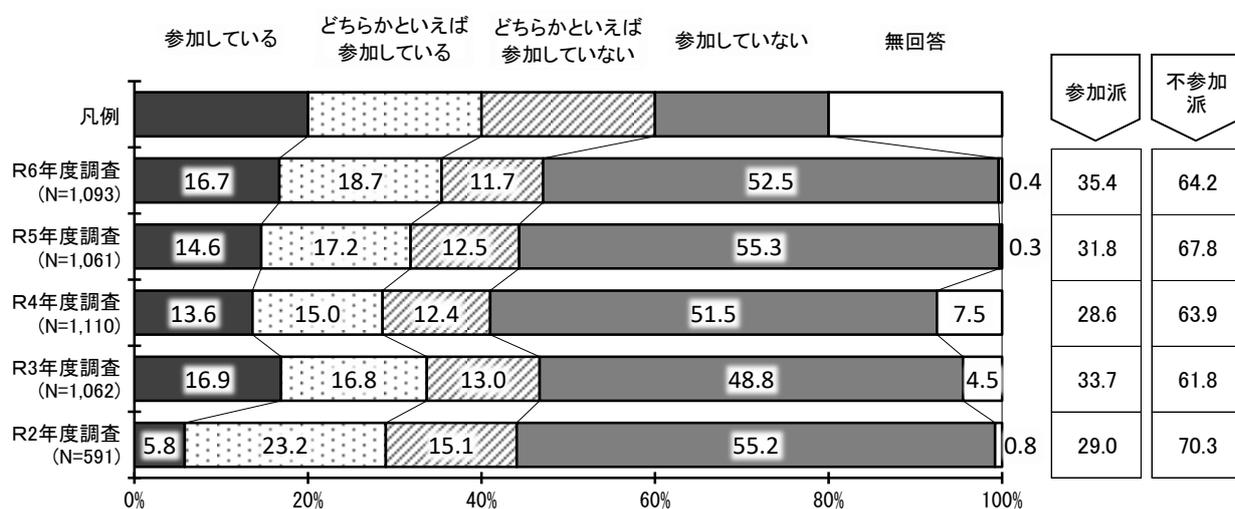
過去の調査結果と比べると、『参加派』は令和5年度調査より3.6ポイント増加している。

性別にみると、『参加派』は女性（36.5%）の方が男性（34.5%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は、40歳代（44.4%）が最も高くなっている。また、20歳代は『参加派』（8.2%）が極めて低くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』は、太宰府東小学校区（47.2%）が最も高くなっている。一方、『参加派』が最も低くなっているのは、水城小学校区（29.5%）となっている。

### 問 64. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(〇は1つ)



		標本数	参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		1,093	183	204	128	574	4	35.4	64.2
性別	男性	464	17.7	16.8	11.0	54.1	0.4	34.5	65.1
	女性	603	16.1	20.4	11.4	51.7	0.3	36.5	63.1
	無回答	26	15.4	11.5	30.8	42.3	-	26.9	73.1
年代別	20歳代	74	4.1	4.1	4.1	87.8	-	8.2	91.9
	30歳代	126	11.1	17.5	4.8	65.9	0.8	28.6	70.7
	40歳代	187	19.3	25.1	11.8	43.9	-	44.4	55.7
	50歳代	228	11.0	15.8	11.8	61.4	-	26.8	73.2
	60歳代	193	21.8	18.7	14.0	44.6	1.0	40.5	58.6
	70歳代以上	282	22.0	20.9	15.2	41.5	0.4	42.9	56.7
	無回答	3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	20.4	19.1	11.2	48.0	1.3	39.5	59.2
	太宰府東小学校区	123	22.8	24.4	12.2	40.7	-	47.2	52.9
	太宰府南小学校区	92	18.5	18.5	14.1	48.9	-	37.0	63.0
	水城小学校区	187	10.2	19.3	11.8	58.3	0.5	29.5	70.1
	水城西小学校区	137	17.5	21.2	8.0	53.3	-	38.7	61.3
	太宰府西小学校区	165	15.8	18.2	18.2	47.9	-	34.0	66.1
	国分小学校区	152	20.4	18.4	9.9	50.7	0.7	38.8	60.6
	わからない	77	7.8	3.9	6.5	81.8	-	11.7	88.3
	無回答	8	12.5	25.0	-	62.5	-	37.5	62.5

### 47. ボランティア活動への参加状況(問 65)

● ボランティア活動に参加しているのは 16.0%となっている。

ボランティア活動への参加状況について、『参加派』（「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 16.0%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 83.5%で、『不参加派』が 8割以上を占め、高くなっている。

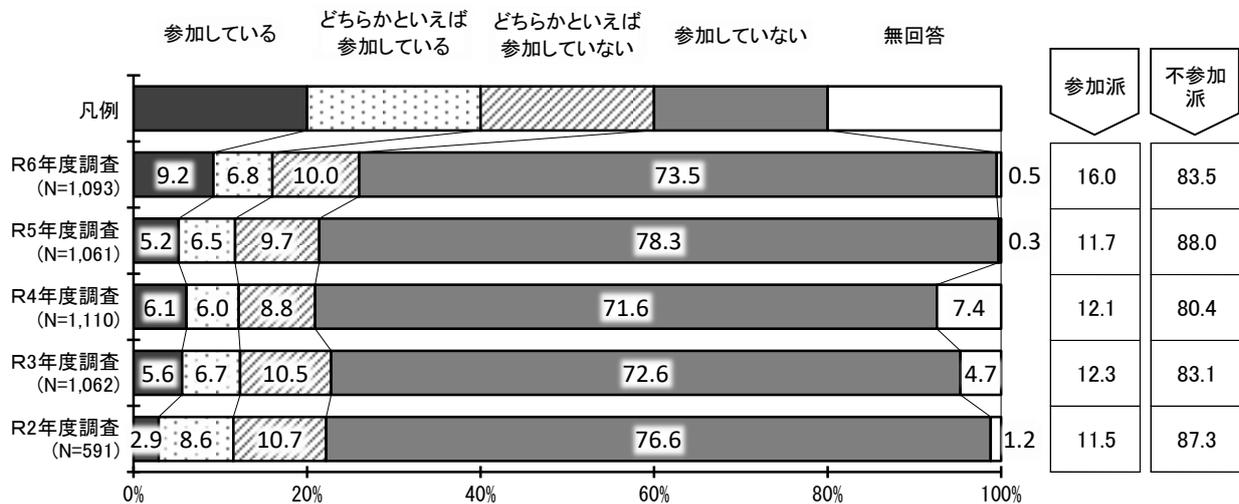
過去の調査結果と比べると、令和 5 年度調査から『参加派』は 4.3 ポイント増加し、『不参加派』は 4.5 ポイント減少している。

性別にみると、『参加派』は、男性（16.8%）の方が女性（15.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（23.8%）で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは太宰府東小学校区（21.1%）、次いで、太宰府西小学校区（20.0%）となっている。

### 問 65. あなたは自治会活動以外(問 64 以外)のボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)



		標本数	参加している	い えど るば ち ら か と い え ば 参 加 し て い る	い えど な ば ち ら か と い え ば 参 加 し て い ない	い 参 加 し て い ない	無 回 答	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		1,093	101	74	109	803	6	175	912
			9.2	6.8	10.0	73.5	0.5	16.0	83.5
性別	男性	464	9.7	7.1	10.1	72.6	0.4	16.8	82.7
	女性	603	9.0	6.3	9.8	74.3	0.7	15.3	84.1
	無回答	26	7.7	11.5	11.5	69.2	-	19.2	80.7
年代別	20歳代	74	5.4	1.4	8.1	85.1	-	6.8	93.2
	30歳代	126	4.8	4.0	8.7	81.7	0.8	8.8	90.4
	40歳代	187	11.2	7.5	12.3	69.0	-	18.7	81.3
	50歳代	228	5.7	4.4	5.7	83.8	0.4	10.1	89.5
	60歳代	193	7.8	9.3	10.9	70.5	1.6	17.1	81.4
	70歳代以上	282	14.9	8.9	12.4	63.5	0.4	23.8	75.9
	無回答	3	-	33.3	-	66.7	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	152	12.5	7.2	9.2	69.1	2.0	19.7	78.3
	太宰府東小学校区	123	12.2	8.9	13.0	65.9	-	21.1	78.9
	太宰府南小学校区	92	5.4	10.9	13.0	70.7	-	16.3	83.7
	水城小学校区	187	7.0	6.4	5.3	80.7	0.5	13.4	86.0
	水城西小学校区	137	9.5	5.8	11.7	73.0	-	15.3	84.7
	太宰府西小学校区	165	12.1	7.9	12.7	67.3	-	20.0	80.0
	国分小学校区	152	8.6	4.6	9.9	75.7	1.3	13.2	85.6
	わからない	77	3.9	1.3	5.2	89.6	-	5.2	94.8
	無回答	8	-	12.5	12.5	75.0	-	12.5	87.5

48. 市民と行政との情報共有(問 66)

● 市民と行政との情報共有ができていないかについて『否定派』が 58.2%で、『肯定派』(39.8%) より多い。

市民と行政との情報共有について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は 39.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は 58.2%で、『否定派』の方が『肯定派』より 18.4 ポイント高くなっている。

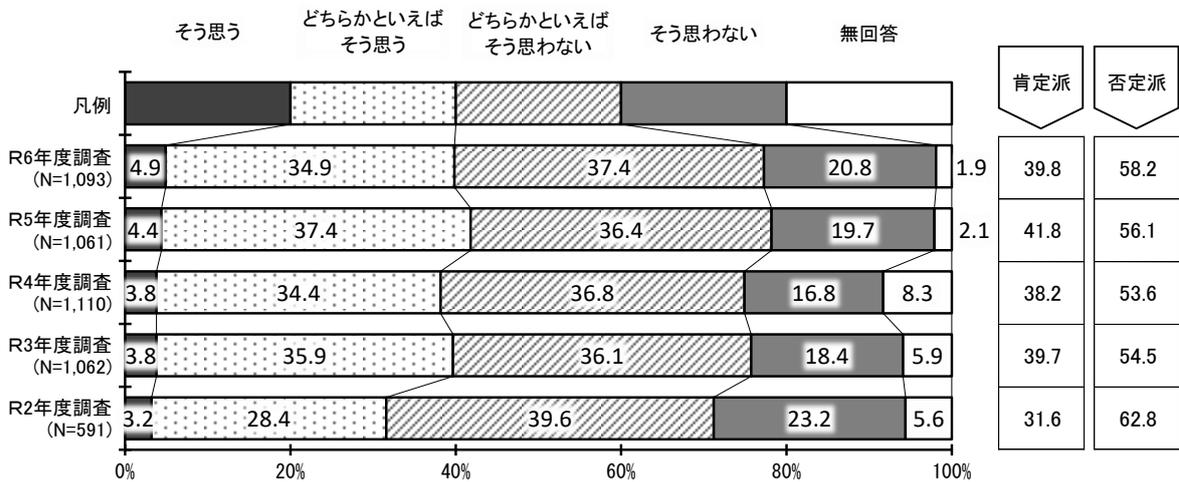
過去の調査結果と比べると、令和5年度調査から『肯定派』は 2.0 ポイント減少し、『否定派』は 2.1 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性(41.4%)の方が男性(38.8%)より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、『否定派』が最も高いのは30歳代(64.3%)となっている。

小学校区別にみると、すべての校区で『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、最も高いのは水城西小学校区(65.7%)となっている。一方、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区(44.9%)となっている。

問 66. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えどち ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	無 回 答	肯定 派	否定 派
全体		1,093	54	382	409	227	21	436	636
		100.0	4.9	34.9	37.4	20.8	1.9	39.8	58.2
性別	男性	464	5.0	33.8	38.6	21.6	1.1	38.8	60.2
	女性	603	5.1	36.3	36.0	20.2	2.3	41.4	56.2
	無回答	26	-	23.1	50.0	19.2	7.7	23.1	69.2
年代別	20歳代	74	4.1	33.8	24.3	37.8	-	37.9	62.1
	30歳代	126	2.4	32.5	39.7	24.6	0.8	34.9	64.3
	40歳代	187	5.3	35.8	38.5	19.8	0.5	41.1	58.3
	50歳代	228	4.8	32.9	36.8	23.7	1.8	37.7	60.5
	60歳代	193	3.1	34.2	38.9	20.2	3.6	37.3	59.1
	70歳代以上	282	7.4	37.6	38.7	13.5	2.8	45.0	52.2
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	5.9	34.9	38.2	19.7	1.3	40.8	57.9
	太宰府東小学校区	123	6.5	35.8	39.0	17.9	0.8	42.3	56.9
	太宰府南小学校区	92	4.3	34.8	33.7	25.0	2.2	39.1	58.7
	水城小学校区	187	5.9	39.0	33.7	20.3	1.1	44.9	54.0
	水城西小学校区	137	5.1	28.5	42.3	23.4	0.7	33.6	65.7
	太宰府西小学校区	165	3.0	38.2	35.2	21.2	2.4	41.2	56.4
	国分小学校区	152	2.6	34.9	41.4	16.4	4.6	37.5	57.8
	わからない	77	6.5	31.2	33.8	26.0	2.6	37.7	59.8
	無回答	8	12.5	12.5	50.0	25.0	-	25.0	75.0

### 49. 本市が発信している情報を得ている媒体(問 67)

● 本市の情報を得ている媒体は「広報だざいふ」が83.0%となっている。

本市の情報を得ている媒体について、「広報だざいふ」が83.0%で最も高く、次いで、「LINE」(38.1%)、「ホームページ」(24.8%)の順となっている。一方、「情報を得ていない」は6.9%となっている。

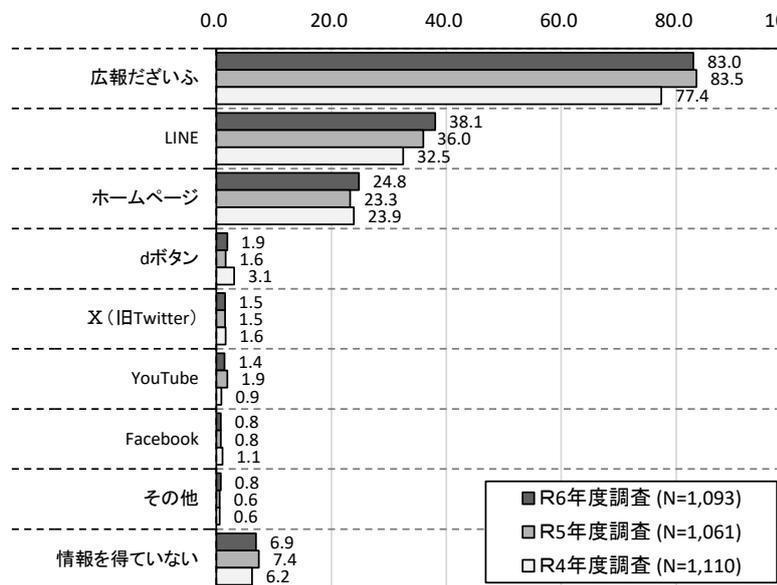
過去の調査結果と比べると、上位3項目は令和5年度調査から「広報だざいふ」は0.5ポイント減少、「LINE」(2.1ポイント増)と「ホームページ」(1.5ポイント増)は増加している。

性別にみると、上位3項目のうち、「広報だざいふ」、「LINE」は女性の方が高く、「ホームページ」は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「広報だざいふ」が最も高くなっている。また、「広報だざいふ」では70歳代以上(91.1%)、「LINE」では40歳代(47.1%)、「ホームページ」では30歳代(28.6%)がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「広報だざいふ」が最も高くなっている。

### 問 67. あなたはどのような媒体で本市が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



		標本数	広報だざいふ	LINE	ホームページ	dボタン	X(旧Twitter)	YouTube	Facebook	その他	情報を得ていない
全体		1,093	907 83.0	416 38.1	271 24.8	21 1.9	16 1.5	15 1.4	9 0.8	9 0.8	75 6.9
性別	男性	464	81.0	34.7	25.2	1.1	1.7	1.3	1.1	1.1	7.8
	女性	603	83.9	41.5	24.7	2.7	1.3	1.5	0.7	0.5	6.3
	無回答	26	96.2	19.2	19.2	-	-	-	-	-	3.8
年代別	20歳代	74	43.2	29.7	20.3	2.7	4.1	1.4	-	1.4	27.0
	30歳代	126	65.9	41.3	28.6	1.6	2.4	0.8	-	-	15.1
	40歳代	187	85.6	47.1	26.7	-	3.7	-	1.6	-	5.9
	50歳代	228	87.7	43.0	28.1	0.4	0.4	1.8	0.9	0.4	3.1
	60歳代	193	89.1	40.9	24.9	3.1	-	1.0	-	1.0	3.1
	70歳代以上	282	91.1	26.6	20.6	3.5	0.7	2.5	1.4	1.4	4.3
	無回答	3	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	87.5	37.5	27.0	2.0	2.6	1.3	2.0	0.7	5.9
	太宰府東小学校区	123	82.9	33.3	23.6	-	1.6	1.6	0.8	-	10.6
	太宰府南小学校区	92	79.3	42.4	26.1	2.2	4.3	-	-	1.1	8.7
	水城小学校区	187	83.4	44.9	26.7	4.3	0.5	2.7	0.5	1.1	4.3
	水城西小学校区	137	83.2	39.4	24.1	2.2	1.5	0.7	-	-	5.8
	太宰府西小学校区	165	86.1	33.9	23.0	1.2	1.2	-	1.8	0.6	7.3
	国分小学校区	152	83.6	39.5	29.6	2.0	0.7	2.0	0.7	0.7	5.3
	わからない	77	71.4	31.2	11.7	-	-	2.6	-	2.6	10.4
無回答	8	62.5	12.5	25.0	-	-	-	-	-	12.5	

### 50. 行政情報の接触状況(問 68)

#### ① 「広報だざいふ」の閲読状況

●「広報だざいふ」の閲読率は82.2%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は82.2%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は16.1%となっている。

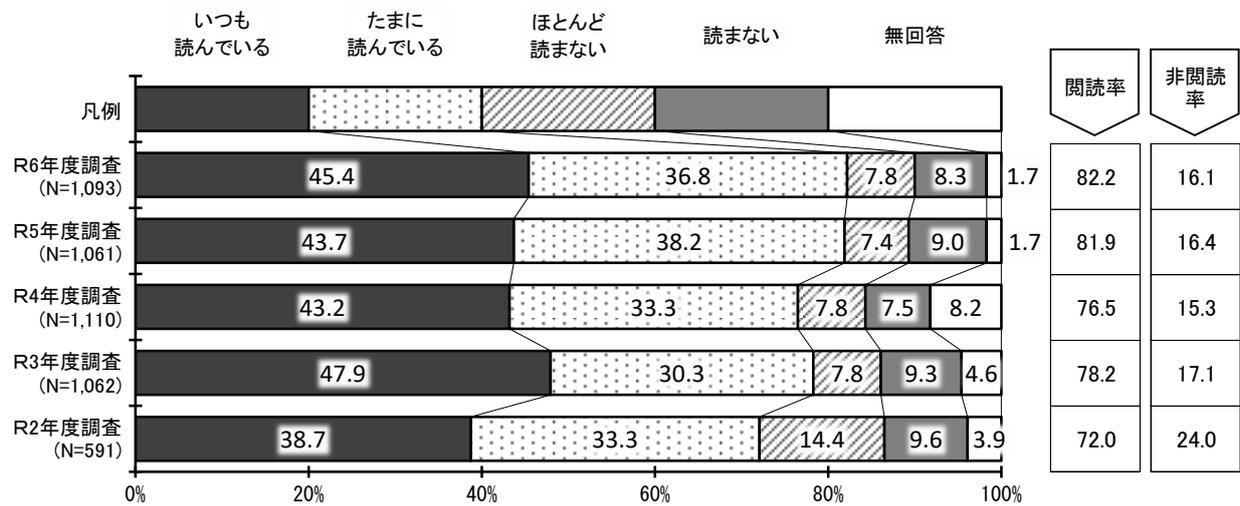
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は令和5年度調査から0.3ポイント増加とほぼ変わらないが、5か年で最も高くなっている。

性別にみると、『閲読率』は、女性（85.2%）の方が男性（77.4%）より高くなっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて『閲読率』が高くなっており、70歳代以上では91.1%となっている。『非閲読率』は20歳代が51.3%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区を除いた小学校区で『閲読率』は8割を超えており、水城小学校区でも79.7%とほぼ8割になっている。

#### 問 68. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		1,093	496	402	85	91	19	898	176
		100.0	45.4	36.8	7.8	8.3	1.7	82.2	16.1
性別	男性	464	37.7	39.7	11.0	10.1	1.5	77.4	21.1
	女性	603	50.4	34.8	5.6	7.1	2.0	85.2	12.7
	無回答	26	65.4	30.8	-	3.8	-	96.2	3.8
年代別	20歳代	74	10.8	36.5	10.8	40.5	1.4	47.3	51.3
	30歳代	126	21.4	45.2	15.1	17.5	0.8	66.6	32.6
	40歳代	187	47.1	34.2	11.2	6.4	1.1	81.3	17.6
	50歳代	228	41.7	42.5	7.9	6.1	1.8	84.2	14.0
	60歳代	193	54.4	36.3	4.7	3.1	1.6	90.7	7.8
	70歳代以上	282	60.6	30.5	3.5	2.5	2.8	91.1	6.0
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	52.0	30.9	6.6	9.2	1.3	82.9	15.8
	太宰府東小学校区	123	51.2	34.1	5.7	6.5	2.4	85.3	12.2
	太宰府南小学校区	92	46.7	35.9	7.6	9.8	-	82.6	17.4
	水城小学校区	187	41.2	38.5	12.3	5.9	2.1	79.7	18.2
	水城西小学校区	137	43.8	43.1	3.6	8.8	0.7	86.9	12.4
	太宰府西小学校区	165	52.7	30.9	8.5	5.5	2.4	83.6	14.0
	国分小学校区	152	44.1	39.5	7.9	7.2	1.3	83.6	15.1
	わからない	77	20.8	48.1	9.1	18.2	3.9	68.9	27.3
	無回答	8	50.0	12.5	-	37.5	-	62.5	37.5

② 「太宰府市ホームページ」の閲覧状況

● 「太宰府市ホームページ」の閲覧率は47.1%となっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は47.1%となっている。一方、『非閲覧率』（「見たことがない」と「ほとんど見ていない」の合計）は46.8%となっている。

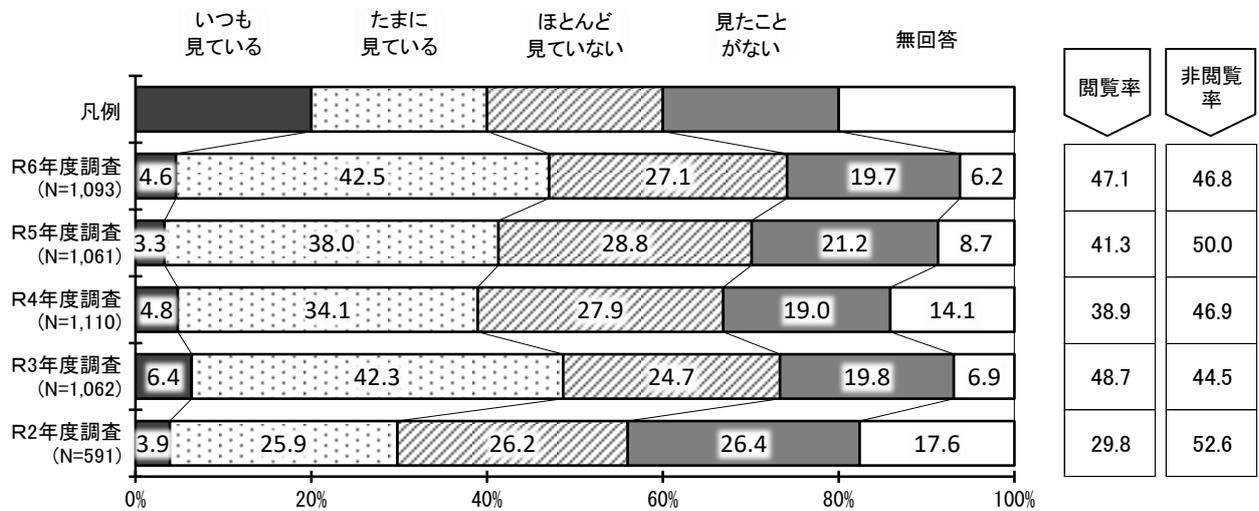
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は令和5年度調査から5.8ポイント増加している。

性別にみると、『閲覧率』は女性（48.7%）の方が男性（45.2%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』が最も高くなっているのは、60歳代（56.5%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、国分小学校区（50.6%）となっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは、太宰府西小学校区（52.2%）となっている。

問 68. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見	たまに見	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,093	50	464	296	215	68	514	511
		100.0	4.6	42.5	27.1	19.7	6.2	47.1	46.8
性別	男性	464	3.4	41.8	29.7	19.2	5.8	45.2	48.9
	女性	603	5.3	43.4	25.4	19.7	6.1	48.7	45.1
	無回答	26	7.7	30.8	19.2	26.9	15.4	38.5	46.1
年代別	20歳代	74	1.4	25.7	35.1	35.1	2.7	27.1	70.2
	30歳代	126	2.4	40.5	38.1	16.7	2.4	42.9	54.8
	40歳代	187	4.3	45.5	36.9	12.3	1.1	49.8	49.2
	50歳代	228	3.9	45.2	25.9	19.7	5.3	49.1	45.6
	60歳代	193	3.1	53.4	22.8	15.0	5.7	56.5	37.8
	70歳代以上	282	8.2	36.5	17.0	25.2	13.1	44.7	42.2
	無回答	3	-	-	66.7	-	33.3	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	152	7.2	42.8	27.0	15.1	7.9	50.0	42.1
	太宰府東小学校区	123	8.9	39.8	27.6	19.5	4.1	48.7	47.1
	太宰府南小学校区	92	3.3	45.7	21.7	23.9	5.4	49.0	45.6
	水城小学校区	187	3.7	46.0	27.3	16.6	6.4	49.7	43.9
	水城西小学校区	137	4.4	40.9	32.1	16.8	5.8	45.3	48.9
	太宰府西小学校区	165	3.6	39.4	26.1	26.1	4.8	43.0	52.2
	国分小学校区	152	2.6	48.0	25.0	16.4	7.9	50.6	41.4
	わからない	77	2.6	31.2	31.2	27.3	7.8	33.8	58.5
	無回答	8	-	50.0	12.5	37.5	-	50.0	50.0

### 51. 市議会が発信している情報を得ている媒体(問 69)

● 市議会が発信している情報を得ている媒体は「太宰府市議会だより」が 66.9%となっている。

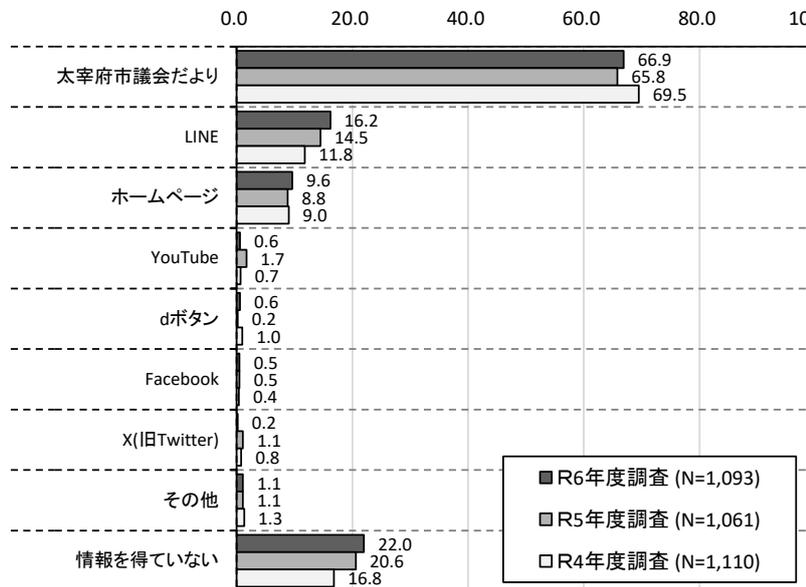
市議会が発信している情報を得ている媒体について、「太宰府市議会だより」が 66.9%で最も高く、次いで、「LINE」(16.2%)、「ホームページ」(9.6%)の順となっている。一方、「情報を得ていない」は 22.0%となっている。

性別にみると、上位3項目のうち、「太宰府市議会だより」、「LINE」は女性の方が高く、「ホームページ」は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「太宰府市議会だより」が最も高くなっている。また、「太宰府市議会だより」では70歳代以上(79.4%)、「LINE」では40歳代(20.9%)、「ホームページ」では30歳代(11.9%)がそれぞれ高くなっている。一方、「情報を得ていない」は20歳代(51.4%)が特に高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「太宰府市議会だより」が最も高くなっている。

### 問 69. あなたはどのような媒体で市議会が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



		標本数	太宰府市議会だより	LINE	ホームページ	YouTube	dボタン	Facebook	X(旧Twitter)	その他	情報を得ていない
全体		1,093	731	177	105	7	7	5	2	12	241
			66.9	16.2	9.6	0.6	0.6	0.5	0.2	1.1	22.0
性別	男性	464	65.3	15.5	10.8	0.9	0.4	0.6	0.2	0.9	24.4
	女性	603	68.3	17.2	8.6	0.5	0.8	0.3	0.2	1.2	20.1
	無回答	26	61.5	3.8	11.5	-	-	-	-	3.8	26.9
年代別	20歳代	74	29.7	17.6	8.1	-	-	-	1.4	-	51.4
	30歳代	126	44.4	15.9	11.9	-	-	0.8	-	1.6	37.3
	40歳代	187	67.9	20.9	9.1	0.5	-	1.1	0.5	-	22.5
	50歳代	228	68.0	18.4	10.5	0.9	-	0.4	-	0.9	21.1
	60歳代	193	74.6	13.0	10.4	0.5	0.5	-	-	1.6	13.5
	70歳代以上	282	79.4	13.5	8.2	1.1	2.1	0.4	-	1.4	14.2
	無回答	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	152	67.8	11.2	7.2	0.7	-	1.3	-	1.3	21.7
	太宰府東小学校区	123	69.9	18.7	11.4	-	0.8	-	-	-	22.8
	太宰府南小学校区	92	66.3	25.0	17.4	-	-	-	1.1	-	17.4
	水城小学校区	187	65.2	17.6	5.9	1.6	1.1	-	-	1.6	25.7
	水城西小学校区	137	69.3	15.3	10.9	0.7	-	0.7	-	0.7	19.7
	太宰府西小学校区	165	71.5	11.5	7.9	-	1.2	0.6	0.6	0.6	20.6
	国分小学校区	152	69.1	16.4	11.2	0.7	1.3	0.7	-	2.0	15.1
	わからない	77	48.1	20.8	9.1	1.3	-	-	-	1.3	37.7
	無回答	8	50.0	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5
	無回答	8	50.0	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5

## 52. 市議会情報の接触状況(問 70)

### ① 「太宰府市議会だより」の閲読状況

●「太宰府市議会だより」の閲読率は62.7%となっている。

「太宰府市議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は62.7%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は35.7%となっている。

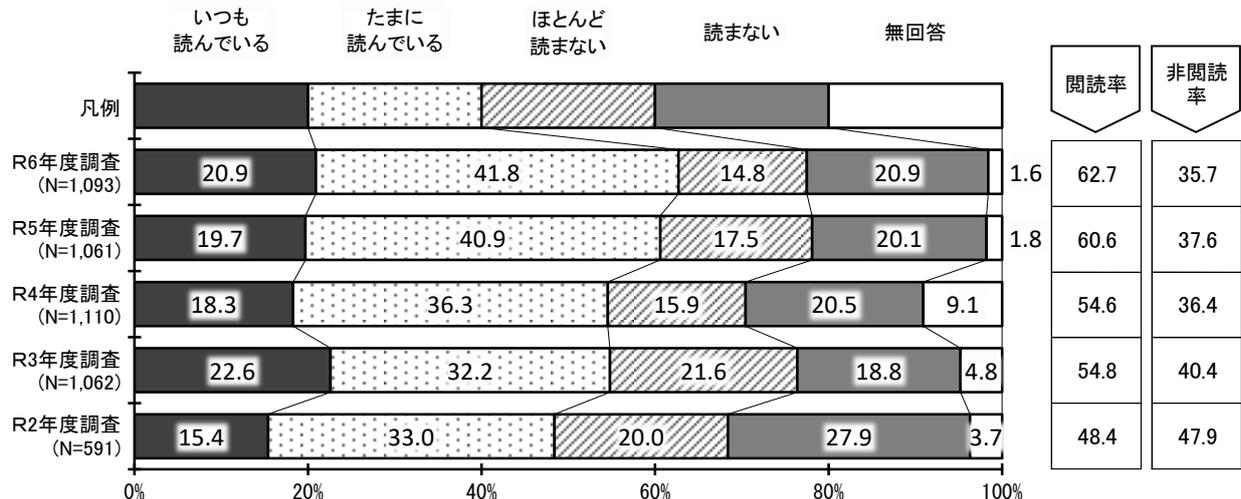
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は令和5年度調査から2.1ポイント増加している。

性別にみると、『閲読率』は女性（64.1%）の方が男性（60.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲読率』が最も高くなっているのは、70歳代以上（79.1%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、20歳代（71.6%）で、次いで、30歳代（57.2%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（70.7%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、水城小学校区（39.1%）となっている。

問 70. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつでも読める	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		1,093	228	457	162	228	18	685	390
		100.0	20.9	41.8	14.8	20.9	1.6	62.7	35.7
性別	男性	464	17.0	43.8	15.7	22.2	1.3	60.8	37.9
	女性	603	23.5	40.6	13.9	19.9	2.0	64.1	33.8
	無回答	26	26.9	34.6	19.2	19.2	-	61.5	38.4
年代別	20歳代	74	6.8	20.3	13.5	58.1	1.4	27.1	71.6
	30歳代	126	8.7	33.3	18.3	38.9	0.8	42.0	57.2
	40歳代	187	23.5	33.7	18.2	23.5	1.1	57.2	41.7
	50歳代	228	18.9	44.3	17.5	18.0	1.3	63.2	35.5
	60歳代	193	23.3	46.6	15.0	11.9	3.1	69.9	26.9
	70歳代以上	282	27.7	51.4	9.2	9.9	1.8	79.1	19.1
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	152	25.7	40.1	13.8	18.4	2.0	65.8	32.2
	太宰府東小学校区	123	27.6	43.1	9.8	19.5	-	70.7	29.3
	太宰府南小学校区	92	26.1	40.2	13.0	17.4	3.3	66.3	30.4
	水城小学校区	187	17.6	41.7	16.6	22.5	1.6	59.3	39.1
	水城西小学校区	137	17.5	46.0	13.1	21.9	1.5	63.5	35.0
	太宰府西小学校区	165	21.8	44.2	13.3	19.4	1.2	66.0	32.7
	国分小学校区	152	18.4	44.1	15.1	20.4	2.0	62.5	35.5
	わからない	77	10.4	29.9	28.6	29.9	1.3	40.3	58.5
	無回答	8	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	50.0	37.5

② 「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況

●「太宰府市議会ホームページ」の閲覧率は20.5%となっている。

「太宰府市議会ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は20.5%となっている。一方、『非閲覧率』（「見たことがない」と「ほとんど見ていない」の合計）は73.3%となっている。

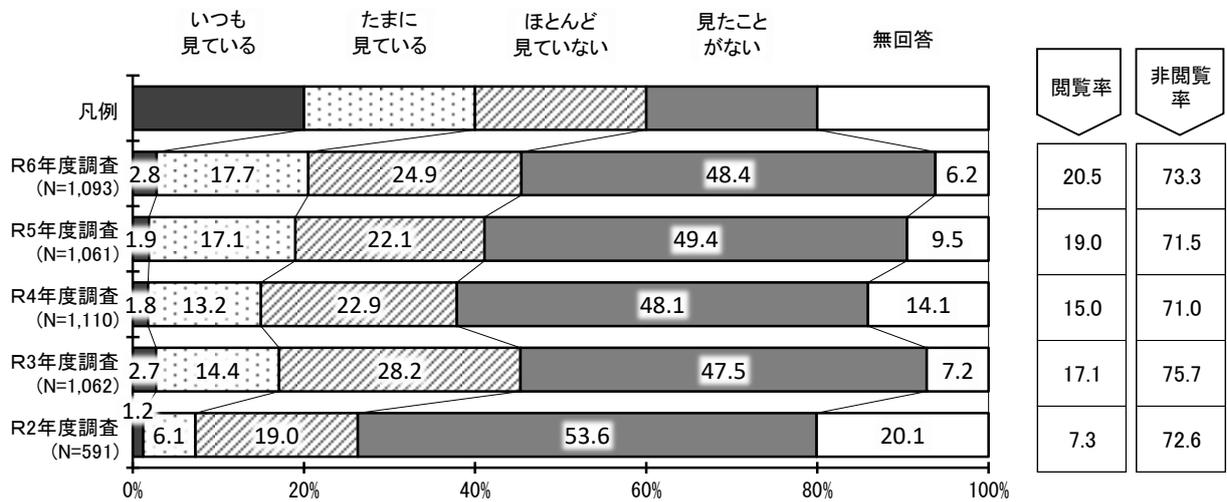
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は令和5年度調査から1.5ポイント増加している。

性別にみると、『閲覧率』は、男性（23.1%）の方が女性（18.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は70歳代以上（28.4%）が最も高くなっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは、30歳代（87.3%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府南小学校区（30.4%）、次いで、太宰府東小学校区（26.1%）となっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは水城小学校区（80.2%）となっている。

問 70. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,093	2.8	17.7	24.9	48.4	6.2	20.5	73.3
性別	男性	464	2.4	20.7	26.1	45.0	5.8	23.1	71.1
	女性	603	3.0	15.6	24.4	50.4	6.6	18.6	74.8
	無回答	26	7.7	11.5	15.4	61.5	3.8	19.2	76.9
年代別	20歳代	74	1.4	10.8	20.3	66.2	1.4	12.2	86.5
	30歳代	126	0.8	8.7	23.8	63.5	3.2	9.5	87.3
	40歳代	187	1.6	18.7	33.2	44.9	1.6	20.3	78.1
	50歳代	228	3.9	12.7	24.1	54.4	4.8	16.6	78.5
	60歳代	193	1.6	22.8	25.4	42.5	7.8	24.4	67.9
	70歳代以上	282	5.0	23.4	21.3	38.3	12.1	28.4	59.6
	無回答	3	-	-	33.3	66.7	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	152	2.6	17.1	25.0	45.4	9.9	19.7	70.4
	太宰府東小学校区	123	3.3	22.8	19.5	47.2	7.3	26.1	66.7
	太宰府南小学校区	92	4.3	26.1	23.9	40.2	5.4	30.4	64.1
	水城小学校区	187	1.6	12.8	27.3	52.9	5.3	14.4	80.2
	水城西小学校区	137	2.9	19.0	27.7	47.4	2.9	21.9	75.1
	太宰府西小学校区	165	4.2	15.8	24.2	49.7	6.1	20.0	73.9
	国分小学校区	152	2.0	17.8	24.3	49.3	6.6	19.8	73.6
	わからない	77	2.6	11.7	27.3	51.9	6.5	14.3	79.2
	無回答	8	-	-	37.5	12.5	50.0	-	62.5

# 附属資料



## 附属資料<使用した調査票>

### 太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートご協力のお願い

市民の皆様には日頃より市政運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市では「令和の都さらに羽ばたく太宰府！～課題解決先進都市を目指して～」を目標に掲げ、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きし、今後のまちづくりに反映させていただいております。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、これからのまちづくりにとって非常に重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年2月

太宰府市長 楠田 大蔵

#### 【実施概要】

- 1 調査対象：満18歳以上の市民の皆様から 2,000人 を無作為抽出
  - 2 回答方法：以下のいずれかの方法でご回答ください。
    - ①調査票にご記入いただき、2月24日（月）までに同封の返信用封筒により返送してください。（切手不要）
    - ②パソコンやスマートフォンから web ページにアクセスいただき、2月24日（月）までに回答してください。  
<https://>
- ※回答を途中で中断する場合は、保存されませんので、最後まで回答いただくか、改めて初めから回答をお願いいたします。
- 3 アンケートテーマ
    - ①あなた自身についておたずねします
    - ②まちの住みやすさについておたずねします
    - ③本市の行政運営についておたずねします
    - ④あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします



#### 【その他】

- 1 調査には無記名でお答えください。
- 2 あて名のご本人がお答えください。  
※ご本人が回答できない場合は、家族の方がお答えいただいても結構です。
- 3 ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。
- 4 お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 5 アンケート結果は数字で統計処理を行い、市ホームページや広報だざいふで公表する予定です。回答結果をそのまま公表することはありませんので、個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。

#### 【お問合せ先】

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係 電話 921-2121（内線548）

- 1 -

※Web アンケートの URL・QR コードは、アンケートが終了している為、削除しています。

《①あなた自身についておたずねします》

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。(〇は1つ)

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(〇は1つ)

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 6. 45～49 歳  | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳  | 12. 75 歳以上  |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳  |             |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳  |             |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 |             |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。(〇は1つ)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他( )

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(〇は1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員          | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業        | 7. 学生          |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職          |
| 4. 団体職員・公務員     | 9. その他( )      |
| 5. 家事専業         |                |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。(〇は1つ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 太宰府小学校区  | 5. 水城西小学校区  |
| 2. 太宰府東小学校区 | 6. 太宰府西小学校区 |
| 3. 太宰府南小学校区 | 7. 国分小学校区   |
| 4. 水城小学校区   | 8. わからない    |

問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 3年未満        | 5. 15年以上～20年未満 |
| 2. 3年以上～5年未満   | 6. 20年以上～25年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満  | 7. 25年以上       |
| 4. 10年以上～15年未満 |                |

問7. あなたが太宰府市に転入、居住を決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 生まれてからずっと太宰府市   | 9. 病院や医療施設が充実している        |
| 2. 生まれ故郷、かつて住んでいた  | 10. 都市部へのアクセスが良いため       |
| 3. 歴史的な景観、自然が豊かである | 11. 市内に就学・就職・転勤したため      |
| 4. 子育て支援が充実している    | 12. 観光地であるため             |
| 5. 教育環境が良いため       | 13. 親や子どもと同居する、家が近い      |
| 6. 交通の利便が良いため      | 14. 友人・知人がいるため           |
| 7. 公共施設が充実しているため   | 15. 住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため |
| 8. 商業施設が充実しているため   | 16. その他( )               |

《②まちの住みやすさについておたずねします》

問8. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらともいえない

問9. 【問8で「1. 住みやすい」、「2. どちらかといえば住みやすい」と答えた方におたずねします。】

住みやすいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い     | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん    |
| 2. 自宅周辺の環境がよい   | 11. 高齢者施設が充実している       |
| 3. サークル活動が盛ん    | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い            |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる   |
| 6. まちの知名度が高い    | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い     | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる   |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い      |
| 9. 商店が多く買い物が便利  | 18. その他( )             |

問 10. 【問 8 で「3. どちらかといえば住みにくい」、「4. 住みにくい」と答えた方におたずねします。】

住みにくいと思う主な理由は何ですか。(〇は 3 つまで)

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手    | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない    |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い   | 11. 高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない   | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分     |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない           |
| 5. 保険料や公共料金が安い  | 14. 教育・文化施設の整備が不十分      |
| 6. 災害対策に不安がある   | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分    |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている    |
| 8. 近所に商店が少ない    | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない      |
| 9. 就職先が少ない      | 18. その他 ( )             |

問 11. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(〇は 1 つ)

1. 住み続けたい
2. 住み続けたくない
3. わからない

### 《③本市の行政運営についておたずねします》

問 12. あなたは市政に関心はありますか。(〇は 1 つ)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえばない
4. ない

問 13. あなたは市政を信頼していますか。(〇は 1 つ)

1. 信頼している
2. どちらかといえば信頼している
3. どちらかといえば信頼していない
4. 信頼していない

問 14. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(〇は 1 つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 15. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 16. あなたは第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(通称:まちづくりビジョン)を知っていますか。(○は1つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた(見た)ことがある
4. 知らない

問 17. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の1~31の施策についておたずねします。

(A) あなたはこの施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたはこの施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 わからない	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
(A)重要度、(B)満足度のそれぞれに、○印を1つずつつけてください										
記入例	↑	②	3	4	5	1	②	3	4	5
<b>基本目標 1 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)</b>										
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進 (回遊ルートの充実、宿泊飲食施設等の滞在向け施設の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 地場みやげ産業の創出 (地域の特性を活かした特産品等の検討など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
<b>施策03 観光セールスプロモーションの促進</b> (官民一体となった観光セールスプロモーション、PRキャラクターの活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成</b> (企業誘致の実現、起業や創業支援事業の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化</b> (市内宗教法人や学校法人、九州国立博物館との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進</b> (民間企業や団体との連携、市役所組織体制の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策07 人材育成・登用</b> (外部人材との交流による市役所組織の活性化、時代に即した人材の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策08 ふるさと納税の拡充</b> (ふるさと納税返礼品の充実、企業版ふるさと納税の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>基本目標2 太宰府型全世代居場所と出番構想（移住定住戦略）</b>										
<b>施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化</b> (市民参加のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策10 子育て・教育環境の充実</b> (先進的な教育環境等の整備や充実、保育サービスの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充</b> (地域福祉の推進、福祉関係団体との連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策12 健康寿命の延伸</b> (健康を支える環境の整備、介護予防事業の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
<b>施策13 就職氷河期世代対策</b> (就職氷河期世代への社会参加支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策14 不登校、ひきこもり対策</b> (不登校やひきこもりの方の、学校復帰や社会的自立支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興</b> (市民の文化芸術への参画、歴史や文化、芸術の活用による観光コンテンツの拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策16 スポーツ振興</b> (健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりにつながる生涯スポーツの実現など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策17 空家活用の推進</b> (空家化の予防推進、空家等を流通させる仕組みづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策18 全世代交流型施設の検討</b> (全世代が交流できる居場所づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策19 人権尊重のまちづくりの推進</b> (人権教育や啓発による、市民一人ひとりの人権が真に尊重されるまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>基本目標3 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想（圏域拡大戦略）</b>										
<b>施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用</b> (大宰府関連史跡の保存や活用、整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進</b> (国や県、他市町村との連携、国際文化都市としての国外自治体との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策22 交流人口・関係人口の拡大</b> (本市にゆかりのある方やこれから関わりを持つようとする方との関係づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
<b>施策23 交通環境の向上</b> (交通の回遊促進、交通体系整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>基本目標4 1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想 (行財政改革)</b>										
<b>施策24 防災力の強化</b> (市民の防災意識の向上、災害に強いまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策25 市街地の活性化</b> (市内エリアごとの戦略に基づいたまちづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し</b> (公共施設再編、運営方法や利用料金の見直しなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革</b> (諸団体への補助金交付適正化や効率化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策28 地域コミュニティの強化、再編</b> (地域コミュニティの効率的な運営や組織づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減</b> (ごみ排出量削減や資源化率の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策30 ICTの活用推進、働き方改革</b> (オンライン手続きの拡大、SNS等を用いた情報発信・交換の促進、市役所働き方改革の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>施策31 持続可能なまちへの取組</b> (持続可能なまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 18. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。

(○は1つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた(見た)ことがある
4. 知らない

**《④あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします》**

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 19. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

【65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 20. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない

問 21. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 高齢者福祉サービスの内容を知らない

問 22. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい福祉サービスの内容を知らない

問 23. あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 24. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 25. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 26. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 27. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

1. 健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 28. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

問 29. あなたはこの一年間に、健康診査（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。（○は1つ）

1. 受けた
2. 受けなかった

問 30. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

- ① 3日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。  
1. はい                      2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。  
1. はい                      2. いいえ
- ③ 警戒レベル3 高齢者等避難などの災害情報の入手方法を知っている。  
1. はい                      2. いいえ
- ④ 家具の転落・転倒防止策をとっている。  
1. はい                      2. いいえ

問 31. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していますか。（○は1つ）

1. 安心している
2. どちらかといえば安心している
3. どちらかといえば不安である
4. 不安である

問 32. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

問 33. 【問 32 で「1. ある」と答えた方におたずねします。】

それはどのような人権侵害ですか。（○はいくつでも）

1. 同和問題
2. 性別に関する人権問題
3. 子どもの人権問題
4. 高齢者の人権問題
5. 障がいのある人の人権問題
6. 外国人の人権問題
7. HIV 感染者、ハンセン病などに関する人権問題
8. インターネットによる人権侵害問題
9. 職場における人権問題
10. 新型コロナウイルス感染症等の感染症に関連する人権問題
11. その他

- 問 34. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)
1. 尊重されている
  2. どちらかといえば尊重されている
  3. どちらかといえば尊重されていない
  4. 尊重されていない
- 問 35. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)
1. 同感する
  2. ある程度同感する
  3. あまり同感しない
  4. 同感しない
- 問 36. 配偶者（元配偶者も含む）や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ（誰）かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む] (○は1つ)
1. 相談した
  2. どこ（誰）にも相談しなかった
  3. DVを受けたことはない
- 問 37. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(○は1つ)
1. ほぼ毎日取り組んでいる
  2. 週に1回程度取り組んでいる
  3. 月に数回程度取り組んでいる
  4. 年に数回程度取り組んでいる
  5. ほとんど取り組んでいない
- 問 38. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)
1. ほぼ毎日行っている
  2. 週に3回程度行っている
  3. 週に1回程度行っている
  4. 月に数回程度行っている
  5. 年に数回程度行っている
  6. ほとんど行っていない

- 問 39. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）
1. ほぼ毎日行っている
  2. 週に1回程度行っている
  3. 月に数回程度行っている
  4. 年に数回程度行っている
  5. ほとんど行っていない
- 問 40. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）
1. 守られている
  2. ある程度守られている
  3. あまり守られていない
  4. 守られていない
- 問 41. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）
1. いつも参加している
  2. たまに参加している
  3. 参加していない
- 問 42. あなたは市内の自然は豊かと感じますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. ややそう思う
  3. あまりそう思わない
  4. そう思わない
- 問 43. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。（○は1つ）
1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
  2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
  3. 観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う
- 問 44. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）
1. 取り組んでいる
  2. ときどき取り組んでいる
  3. あまり取り組んでいない
  4. 取り組んでいない

- 問 45. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装を  
こころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）
1. 行っている
  2. ある程度行っている
  3. あまり行っていない
  4. ほとんど行っていない
- 問 46. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがあります  
か。（○は1つ）
1. 年に2回以上参加した
  2. 年に1回程度は参加した
  3. 参加したことはない
- 問 47. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
- 問 48. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
- 問 49. あなたがお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境が  
よいところだと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
- 問 50. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1  
つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない

- 問 51. あなたはインターネット等を使用したサービス（住民票発行、納税、食料品・日用品購入、預金口座残高確認・振込など）は、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
- 問 52. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
  5. バスを利用しないのでわからない
- 問 53. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。（○は1つ）
1. 週5日以上
  2. 週3～4日
  3. 週1～2日
  4. 月2～3日
  5. 年2～3日
  6. 利用しない
- 問 54. まほろば号は運行費用を運賃収入（年間約5千万円）と本市の財政負担（年間約1億5千万円）で運行しており、一律運賃100円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。（○は1つ）
1. 現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い。
  2. 運賃を値下げし、財政負担を増やす方が良い。
  3. 運賃を値上げし、財政負担を減らす方が良い。
  4. 運賃を値上げし、利便性を高める方が良い。
  5. まほろば号を利用しないのでわからない。
- 問 55. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
  5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 56. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 57. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 1. 徒歩   | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車  | 6. 路線バス            |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー            |
| 4. 鉄道   | 8. その他( )          |

問 58. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市       |
| 2. 福岡市  | 6. 那珂川市       |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町        |
| 4. 春日市  | 8. 1から7以外の市町村 |

問 59. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 60. あなたは本市の日本遺産や市民遺産についてご存知ですか。(○は1つ)

1. 両方知っている
2. 日本遺産については知っている
3. 市民遺産については知っている
4. どちらも知らない

問 61. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う

問 62. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |         |          |           |           |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 宿泊施設 | 3. 駐車場整備 | 5. 道路整備   | 7. PR     |
| 2. 飲食施設 | 4. 特産品   | 6. 市内交通機関 | 8. その他( ) |

- ブ ョ グ ン
- 問 63. あなたは本市が大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)
1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
  2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
  3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
  4. 中津市との友好都市締結は知っていた
  5. どれも知らなかった
- 問 64. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(〇は1つ)
1. 参加している
  2. どちらかといえば参加している
  3. どちらかといえば参加していない
  4. 参加していない
- 問 65. あなたは自治会活動以外(問 64 以外)のボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)
1. 参加している
  2. どちらかといえば参加している
  3. どちらかといえば参加していない
  4. 参加していない
- 問 66. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)
1. そう思う
  2. どちらかといえばそう思う
  3. どちらかといえばそう思わない
  4. そう思わない
- 問 67. あなたはどのような媒体で本市が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)
- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 広報だざいふ        | 6. YouTube      |
| 2. ホームページ        | 7. d ボタン        |
| 3. X (旧 Twitter) | 8. その他 (      ) |
| 4. Facebook      | 9. 情報を得ていない     |
| 5. LINE          |                 |

問 68. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）

広報だざいふ	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 見たことがない

問 69. あなたはどのような媒体で市議会が発信している情報を得ていますか。（○はいくつでも）

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 太宰府市議会だより    | 6. YouTube  |
| 2. ホームページ       | 7. dボタン     |
| 3. X（旧 Twitter） | 8. その他（ ）   |
| 4. Facebook     | 9. 情報を得ていない |
| 5. LINE         |             |

問 70. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）

太宰府市議会だより	太宰府市議会ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 見たことがない

問 71. 最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください。《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。  
今後も、市政へのご理解ご協力をお願いいたします。

ご記入が済みましたら、  
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、  
2月24日（月）までに投函してください。



# 太宰府まちづくり市民意識調査

## 報 告 書

---

編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課  
〒818-0198  
福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号  
TEL 092-921-2121  
FAX 092-921-1601